

令和 5 年度  
事業報告書

# 令和5年度 美作市社会福祉協議会事業報告書目次

事業名	ページ	事業種別
法人運営事業	1～9	継続
寄附金事業	10～11	継続
子ども応援夢基金	12	継続
社協会費	13～14	継続
企画広報事業	15	継続
地区社協活動の推進	16～33	継続
地区社協の概要と組織体系	16	継続
地域社協連絡会	17～18	継続
地区社協会長会	18	継続
福祉ネットワークづくり事業：地区ケア会議	19～27	継続
おたがいさまネット事業	28～29	継続
地区社協メニュー事業（地区社協別実施状況）	30	継続
地区社協メニュー事業：高齢者ミニデイサービス事業	31	継続
地区社協メニュー事業：広報紙作成支援事業	31	継続
地区社協メニュー事業：サロン新規立上げ推進事業	31	継続
地区社協メニュー事業：友愛訪問支援事業	32	継続
救急医療情報キット配付事業	33	継続
高齢者ふれあい・いきいきサロン活動の支援	34	継続
高齢者ふれあい・いきいきサロン登録名簿（年6回以上開催）	35～39	継続
地域助け合い事業（新たな社会資源の開発）	40～42	新規事業
緊急食料支援おむすび事業・フードバンク事業、就学支援ユース事業	40	継続
子どもの学習支援・居場所づくり事業	41	継続

事業名	ページ	事業種別
生活困窮者等緊急援護資金貸付事業、 電動アシスト自転車等貸出事業、福祉用具リユース事業	42	新規事業
重層的支援体制整備事業	43～50	継続
生活困窮者自立支援事業	51～52	継続
美作市内の社会福祉法人等連絡協議会（美作お助け隊）	53～58	継続
招（商）福連携による移動販売モデル事業	59～60	継続
地域包括支援センター事業	61～67	継続
つどいの広場事業	68	継続
各種団体助成事業／施設管理事業	69	継続
障害者地域活動支援センターⅠ型「なごみ」	70～74	継続
基幹相談支援センター	75～77	継続
地域活動支援センターⅢ型「むぎの会」	78	継続
福祉移送サービス事業	79	継続
ファミリー・サポート・センター事業	80～81	継続
「食」の自立支援事業	82	継続
生活管理指導員派遣事業、産前・産後ヘルパー派遣事業	83	継続
共同募金配分金事業	84	継続
ボランティア活動推進事業	85～88	継続
日常生活自立支援事業	89～90	継続
法人後見事業	91～92	継続
生活福祉資金貸付事業	93	継続
生活福祉資金特例貸付事業、相談支援体制強化推進事業	94	新規事業
障害者総合支援事業・地域支援事業	95	継続
訪問介護事業	96	継続

## 法人運営事業 ①

事業概要	<p>美作市社会福祉協議会の円滑な会務の遂行並びに効果的な事業執行を図るための基盤である理事会・評議員会の運営、さらに自主財源の確保、事業内容の整理統合を図りながら、住民参加を基本にした法人運営の管理業務を行いました。</p>	
主な活動記録	期 日	内 容
	令和5年4月1日	令和5年度美作市スポーツ医療看護専門学校入学式
	令和5年4月8日	地域福祉実践職員研修会（世代交流多目的ホール）
	令和5年4月10日	家計・介護相談会（総合相談支援センター・各社協地域ST）
	令和5年4月13日	共同募金会配分交付式・事務局長会議（岡山県共同募金会）
	令和5年4月18日	赤い羽根福祉基金2023年助成授与式（中央共同募金会）
	令和5年4月24日	日常生活自立支援事業支援員会議（世代交流多目的ホール）
	令和5年4月27日	勝英管内市町村社協夏ボラ担当者会議（世代交流多目的ホール）
	令和5年4月28日	美作市総合相談支援センター支援調整会議（美作保健センター）
	令和5年4月28日	美勝英権利擁護センター運営委員会（美作保健センター）
	令和5年4月28日	美勝英権利擁護センター支援検討委員会（美作保健センター）
	令和5年4月28日	高齢者虐待防止研修会（おかやま西川原プラザ）
	令和5年5月8日	手話奉仕員養成講座基礎課程開校式（美作市民センター）
	令和5年5月8日	SSW（スクール・ウォーカー）ブロック会議（美作市教育委員会）
	令和5年5月10日	美作市子ども・若者支援会議（世代交流多目的ホール）
	令和5年5月10日	家計・介護相談会（総合相談支援センター・各社協地域ST）
	令和5年5月13日	地域福祉実践職員研修会（世代交流多目的ホール）
	令和5年5月18日	全社協地域福祉推進委員会令和5年度総会（全社協）
	令和5年5月18日	全社協地域福祉推進委員会常任委員会（全社協）
	令和5年5月19日	市町村社協事務局長・支所長会議（岡山県社協）
	令和5年5月19日	勝英管内市町村社協事務局長会議（岡山県社協）
	令和5年5月24日	重層事業概要と支援会議の関わり方説明会（美作保健センター）
	令和5年5月25日	重層事業概要と支援会議の関わり方説明会（美作保健センター）
	令和5年5月26日	美作市地域包括ケア会議（世代交流多目的ホール）
令和5年5月26日	生活支援体制整備事業第一層協議体会議（世代交流多目的ホール）	
令和5年5月26日	美勝英権利擁護センター支援検討委員会（美作保健センター）	
令和5年5月31日	美作市総合相談支援センター支援調整会議（美作保健センター）	
令和5年6月8日	重層事業個別ケース検討会（作東長寿センター）	
令和5年6月12日	家計・介護相談会（総合相談支援センター・各社協地域ST）	

主な活動記録	期	日	内	容
		令和5年	6月14日	見えない見えにくいことでお困りの方の集い身障協会大原支部
	令和5年	6月17日	地域福祉実践職員研修会（世代交流多目的ホール）	
	令和5年	6月22日	日常生活自立支援事業支援員会議（世代交流多目的ホール）	
	令和5年	6月23日	美勝英権利擁護センター支援検討委員会（美作保健センター）	
	令和5年	6月30日	美作市総合相談支援センター支援調整会議（美作保健センター）	
			令和5年度 美作お助け隊総会（作東長寿センター）	
	令和5年	7月3日	美作市子ども・若者支援会議（世代交流多目的ホール）	
	令和5年	7月5日	岡山県都市社協事務局長会議（サン・ピーチOKAYAMA）	
	令和5年	7月8日	地域福祉実践職員研修会（世代交流多目的ホール）	
	令和5年	7月10日	社会を明るくする運動（保護司会）	
			家計・介護相談会（総合相談支援センター・各社協地域ST）	
	令和5年	7月11日	災害支援体制行政・社協合同会議（ZOOM）	
	令和5年	7月13日	障害者地域活動支援センターなごみ運営協議会（作東長寿センター）	
	令和5年	7月14日	岡山県市町村社協地域福祉推進委員会（岡山県社協）	
			美作市老人クラブ連合会囲碁ボール大会（美作アリーナ）	
	令和5年	7月19日	令和5年度市民後見人育成事業研修会（世代交流多目的ホール）	
	令和5年	7月25日	美作市要保護児童対策地域協議会代表者会議（美作保健センター）	
	令和5年	7月27日	美作市総合相談支援センター支援調整会議（美作保健センター）	
	令和5年	7月30日～31日	豊中市型CSW実践研修会（豊中市社協）	
	令和5年	8月1日	全社協地域福祉推進委員会常任委員会（ZOOM）	
	令和5年	8月4日	美作市地域包括ケア会議（世代交流多目的ホール）	
	令和5年	8月10日	家計・介護相談会（総合相談支援センター・各社協地域ST）	
	令和5年	8月19日	地域福祉実践職員研修会（世代交流多目的ホール）	
	令和5年	8月22日	日常生活自立支援事業支援員会議（世代交流多目的ホール）	
	令和5年	8月21日～9月8日	フード&ライフドライブ事業 （美作お助け隊参加法人で受入れ）	
	令和5年	8月25日	美勝英権利擁護センター事例検討部会（美作保健センター）	
	令和5年	8月29日	第1回美作市介護保険運営協議会（美作保健センター）	
	令和5年	8月30日	生活福祉資金緊急小口資金等特例貸付情報交換会（岡山県社協）	
	令和5年	8月31日	美作市総合相談支援センター支援調整会議（美作保健センター）	
	令和5年	9月6日	美作市子ども・若者支援会議（世代交流多目的ホール）	

## 法人運営事業 ③

	期 日	内 容
主な活動記録	令和5年9月8日	地域福祉実践研修会基礎編（岡山県社協）
	令和5年9月11日	BCP策定研修会（津山市総合福祉会館）
		家計・介護相談会（総合相談支援センター・各社協地域ST）
	令和5年9月13日	市民後見人養成事業事前説明会（世代交流多目的ホール）
		美作市介護支援専門員研修会（かつた市民センター）
	令和5年9月14日	重層事業個別ケース検討会（作東長寿センター）
	令和5年9月21日	SSW（スクール・ソーシャル・カ）ブロック会議（美作市教育委員会）
		ボランティア講演会（かつた市民センター）
		令和5年度市民後見人育成事業研修会（世代交流多目的ホール）
	令和5年9月22日	市民後見人養成事業事前説明会（世代交流多目的ホール）
	令和5年9月26日	美作オレンジウォーク（英田地域）
	令和5年9月27日	岡山県市町村社協地域福祉推進委員会（岡山県社協）
	令和5年9月28日	美作市総合相談支援センター支援調整会議（美作保健センター）
	令和5年 10月2日～3日	令和5年度地域福祉コーディネーターリーダー研修会（全社協）
	令和5年10月3日	地域福祉実践研修会基礎編（岡山県社協）
	令和5年10月5日	美作市地域福祉計画策定委員会／美作市障がい福祉計画・障がい児福祉計画策定委員会（美作保健センター）
	令和5年10月6日	岡山県運営適正化委員会日援事業実施状況調査（作東長寿センター）
	令和5年10月10日	子ども応援夢基金貸付審査会（作東長寿センター）
		家計・介護相談会（総合相談支援センター・各社協地域ST）
	令和5年10月12日	全社協地域福祉推進委員会常任委員会（全社協）
		美作市老人クラブ連合会グランドゴルフ大会（大芦高原GG場）
	令和5年10月13日	岡山県総合社会福祉大会（岡山市民センター）
	令和5年 10月16日～17日	家計改善支援事業従事者養成研修（岡山県社協）
	令和5年10月23日	日常生活自立支援事業支援員会議（世代交流多目的ホール）
	令和5年10月24日	紀北町（三重県）民生委員児童委員協議会視察研修受入
		美作市身障協会グランドゴルフ大会（武蔵の里GG場）
	令和5年10月27日	美勝英権利擁護センター支援検討委員会（美作保健センター）
		美作市総合相談支援センター支援調整会議（美作保健センター）
令和5年10月28日	美勝英権利擁護センターフォーラム（美作文化センター）	
令和5年10月30日	岡山県共同募金会事務局長会議（岡山県共同募金会）	

	期 日	内 容
主な活動記録	令和5年10月31日	介護サービス経営委員会第1回オンラインサロン（ZOOM）
	令和5年11月1日	第2回美作市介護保険運営協議会（美作保健センター）
	令和5年11月2日	令和5年度市町村社協経営基盤強化セミナー（岡山県社協）
	令和5年11月6日	美作市子ども・若者支援会議（世代交流多目的ホール）
	令和5年 11月7日～8日	令和5年度市町村社協法制化40周年記念 社会福祉協議会活動全国会議（全社協・灘尾ホール）
	令和5年11月9日	高齢者虐待対応現任研修（岡山県社協）
	令和5年11月10日	美作市地域包括ケア会議（世代交流多目的ホール）
		家計・介護相談会（総合相談支援センター・各社協地域ST）
	令和5年11月11日	美作市防災訓練（勝田総合運動公園）
	令和5年11月14日	地域福祉実践研修会基礎編（岡山県社協）
		ファシリテーター研修会（美作保健センター）
		美作市要保護児童対策地域協議会実務者会議（美作保健センター）
	令和5年11月20日	松江市社協視察（高齢者安心サポート事業について）
	令和5年11月22日	SSW（スクール・ウォーカー）ブロック会議（美作市教育委員会）
		依存症専門研修会（ZOOM）
		令和5年度市民後見人育成事業研修会（世代交流多目的ホール）
	令和5年11月28日	高次脳機能障害支援研修会（ZOOM）
		BCP策定研修会（津山市総合福祉会館）
	令和5年11月29日	多職種研修会（美作保健センター）
	令和5年11月30日	美作市総合相談支援センター支援調整会議（美作保健センター）
	令和5年12月1日	生活困窮者自立支援関係機関研修会（おかやま西川原プラザ）
	令和5年12月5日	市民後見人養成事業研修会（施設見学）
	令和5年12月6日	岡山県市町村社協地域福祉推進委員会（岡山県社協）
	令和5年12月7日	難病患者支援講座（岡山県社協）
		おかやま矯正施設見学ツアー（岡山刑務所）
	令和5年12月8日	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた研修会（おかやま西川原プラザ）
手話奉仕員養成講座基礎課程修了式（美作市民センター）		
令和5年12月9日	元気になろうやフェスタ（湯郷地域交流センター）	
令和5年12月11日	家計・介護相談会（総合相談支援センター・各社協地域ST）	
令和5年12月18日	全社協地域福祉推進委員会常任委員会（全社協）	

## 法人運営事業 ⑤

	期 日	内 容
主な活動記録	令和5年12月20日	生活困窮者自立支援制度人材養成研修（ZOOM）
		生活福祉資金担当者研修会（岡山県社協）
	令和5年12月21日	美作市地域福祉計画策定委員会／美作市障がい福祉計画 ・障がい児福祉計画策定委員会（美作保健センター）
	令和5年12月22日	美勝英権利擁護センター成年後見部会（美作保健センター）
		日常生活自立支援事業支援員会議（世代交流多目的ホール）
		市民後見人養成事業研修会（日援事業生活支援員との同行訪問）
	令和5年12月25日	美作市総合相談支援センター支援調整会議（美作保健センター）
	令和6年1月10日	家計・介護相談会（総合相談支援センター・各社協地域ST）
	令和6年 1月10日～1月19日	フード＆ライフドライブ事業 （美作お助け隊参加法人で受入れ）
	令和6年1月11日	第3回美作市介護保険運営協議会（美作保健センター）
	令和6年1月14日	美作市子ども・若者支援会議（世代交流多目的ホール）
	令和6年1月16日	令和5年度市民後見人育成事業研修会（世代交流多目的ホール）
	令和6年1月17日	地域と福祉のコミュニティフォーラム（岡山県社協）
	令和6年1月22日	SSW（スクール・ソーシャル・ワーカー）ブロック会議（美作市教育委員会）
	令和6年1月25日	美作市地域福祉計画策定委員会（美作保健センター）
	令和6年1月26日	美勝英権利擁護センター支援検討委員会（美作保健センター）
		美勝英権利擁護センター成年後見部会（美作保健センター）
		市民後見人養成事業バンク登録面接（世代交流多目的ホール）
	令和6年1月29日	虐待防止適正委員会（美作保健センター）
	令和6年1月30日	高次脳障害支援研修会（ZOOM）
		浅口市社協視察（常務理事の設置について）
	令和6年1月31日	美作市総合相談支援センター支援調整会議（美作保健センター）
	令和6年2月1日	おかやま矯正施設見学ツアー（岡山少年院）
	令和6年2月2日	美作市地域包括ケア会議（世代交流多目的ホール）
		ケアマネジメント実践報告研修会（学び館エスタ）
	令和6年2月6日	招（商）福連携による移動販売事業事業者会議（作東長寿センター）
	令和6年2月8日	美作市地域福祉計画策定委員会（美作保健センター）
	令和6年2月13日	家計・介護相談会（総合相談支援センター・各社協地域ST）
	令和6年2月14日	美作市介護支援専門員研修会（かつた市民センター）
	令和6年2月15日	全社協地域福祉推進委員会常任委員会（ZOOM）

主な活動記録	期 日	内 容
	令和6年2月15日	生活福祉資金緊急小口資金等特例貸付情報交換会（岡山県社協）
	令和6年2月16日	岡山県都市社協事務局長会議
	令和6年2月20日	介護支援専門員勝英支部研修会（湯郷地域交流センター）
		相談援助研修会（岡山県地域包括協議会）
		要保護児童対策地域協議会実務者会議（美作保健センター）
	令和6年2月21日	岡山県市町村社協会長・事務局長会議（岡山県社協）
	令和6年2月22日	日常生活自立支援事業支援員会議（世代交流多目的ホール）
		美作市地域福祉計画策定委員会（美作保健センター）
	令和6年2月28日	美作市総合相談支援センター支援調整会議（美作保健センター）
	令和6年3月1日	中四国都市社協研修会（サンロード吉備路）
	令和6年3月5日	令和5年度美作市スポーツ医療看護専門学校卒業式
	令和6年3月6日	全社協地域福祉推進委員会第2回総会（ZOOM）
	令和6年3月8日	岡山県市町村社協地域福祉推進委員会（岡山県社協）
	令和6年3月11日	家計・介護相談会（総合相談支援センター・各社協地域ST）
	令和6年3月13日	日本地域福祉学会中国部会セミナー（岡山県社協）
		美作市子ども・若者支援会議（世代交流多目的ホール）
	令和6年3月21日	重層事業令和5年度振り返り会（世代交流多目的ホール）
	令和6年3月22日	美勝英権利擁護センター支援検討委員会（美作保健センター）
	令和6年3月26日	障害者地域活動支援センターなごみ運営協議会（作東長寿センター）
令和6年3月27日	美作市総合相談支援センター支援調整会議（美作保健センター）	
令和6年3月29日	岡山県共同募金会評議員会（岡山県社協）	
	チームオレンジ研修会（美作保健センター）	

	期 日	報 告 事 項 ・ 議 案
令和5年度の 理事会の 開催状況	第1回 理事会 令和5年5月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・副会長の選任について</li> <li>・役員候補者の推薦について</li> <li>・評議員候補者の推薦について (理事8名・監事2名出席、表決書提出者2名)</li> </ul>
	第2回 理事会 令和5年6月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度 一般会計第1次補正予算について</li> <li>・令和4年度 事業報告について</li> <li>・令和4年度 一般会計収入支出決算報告について</li> <li>・令和5年度 定時評議員会の開催について (理事9名・監事2名出席、表決書提出者1名)</li> </ul>
	第3回 理事会 令和5年6月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会長、副会長の選任について (理事9名・監事2名出席、表決書提出者1名)</li> </ul>
	第4回 理事会 令和5年9月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1期 福祉のまちづくり行動計画評価表について</li> <li>・第2期 福祉のまちづくり行動計画について</li> <li>・令和5年度 第2回評議員会の開催について (理事8名・監事2名出席、表決書提出者2名)</li> </ul>
	第5回 理事会 令和6年2月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専決処分の報告について</li> <li>・美作市社会福祉協議会の使命、経営理念、基本方針の制定について</li> <li>・評議員候補者の推薦について</li> <li>・令和5年度 第3回評議員会の開催について</li> <li>・役員研修「第2期 福祉のまちづくり行動計画実践報告」 (理事8名・監事2名出席、表決書提出者2名)</li> </ul>
	第6回 理事会 令和6年3月12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度 一般会計第2次補正予算について</li> <li>・令和6年度 事業計画について</li> <li>・令和6年度 一般会計収支予算について</li> <li>・令和5年度 第4回評議員会の開催について (理事7名・監事2名出席、表決書提出者1名)</li> </ul>
役員名簿	<p>■美作市社会福祉協議会役員名簿(令和6年3月31日現在)</p>	
	<p>会 長 山本眞澄 副会長 松本 基 理 事 坂元秀明 // 春名信義 // 小松美之 // 内海八千代 // 山本 勉 // 森 博明 // 岡田 真 // 遠藤義孝 監 事 遠藤 清 // 浅尾善郎</p>	<p>(学識経験を有する者) (民生委員児童委員協議会の代表者) (勝田地域社協の代表者) (大原地域社協の代表者) (東粟倉地域社協の代表者) (美作地域社協の代表者) (作東地域社協の代表者) (英田地域社協の代表者) (社会福祉事業の経営に関する見識を有する者) (保健医療関係者) (財務諸表等を監査し得る者) (社会福祉事業に学識を有する者)</p>

	期 日	報 告 事 項 ・ 議 案							
令和5年度の 評議員会の 開催状況	第1回 評議員会 令和5年6月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度 一般会計第1次補正予算について</li> <li>令和4年度 事業報告について</li> <li>令和4年度 一般会計収入支出決算報告について</li> <li>任期満了に伴う役員の選任について (評議員13名・監事1名出席、欠席者3名)</li> </ul>							
	第2回 評議員会 令和5年9月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1期 福祉のまちづくり行動計画評価表について</li> <li>第2期 福祉のまちづくり行動計画について (評議員11名出席、欠席者5名)</li> </ul>							
	第3回 評議員会 令和6年2月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>専決処分の報告について</li> <li>評議員候補者の推薦について</li> <li>美作市社会福祉協議会の使命、経営理念、基本方針の制定について</li> <li>評議員研修「第2期 福祉のまちづくり行動計画実践報告」 (評議員13名出席、欠席者3名)</li> </ul>							
	第4回 評議員会 令和6年3月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度 一般会計第2次補正予算について</li> <li>令和6年度 事業計画について</li> <li>令和6年度 一般会計収支予算について</li> <li>理事の選任について (評議員14名出席、欠席者2名)</li> </ul>							
評議員名簿	<p>■美作市社会福祉協議会評議員名簿(令和6年3月31日現在)</p> <p>評議員 東 芳郎 (勝田地域自治振興協議会の代表者)                  // 森岩 厚 (大原地域自治振興協議会の代表者)                  // 井上 豪 (東栗倉地域自治振興協議会の代表者)                  // 廣瀬 勝 (美作地域自治振興協議会の代表者)                  // 原 知行 (作東地域自治振興協議会の代表者)                  // 青山博文 (英田地域自治振興協議会の代表者)                  // 井上正子 (愛育委員会の代表者)                  // 山下幸子 (栄養委員会の代表者)                  // 宿茂 悟 (老人クラブ連合会の代表者)                  // 安川豊海 (身体障害者福祉協会の代表者)                  // 福田洋江 (ボランティア活動団体の代表者)                  // 鳥越尚美 (保護司会の代表者)                  // 丸尾克己 (精神障害者家族会の代表者)                  // 山本敏子 (知的障害者家族会の代表者)                  // 赤堀桂子 (主任児童委員の代表者)                  // 大佛裕彦 (行政関係者：美作市保健福祉部長)</p>								
	監査開催状況	<table border="1"> <tr> <td>令和5年5月25日</td> <td>令和4年度 決算監査</td> </tr> <tr> <td>令和5年10月6日</td> <td>令和5年度 岡山県運営適正化委員会日援事業実施状況調査</td> </tr> <tr> <td>令和5年11月16日</td> <td>令和5年度 中間監査</td> </tr> <tr> <td>令和5年 10月24・25・30日</td> <td>令和5年度 内部監査 (5地域ステーションの監査)</td> </tr> </table>	令和5年5月25日	令和4年度 決算監査	令和5年10月6日	令和5年度 岡山県運営適正化委員会日援事業実施状況調査	令和5年11月16日	令和5年度 中間監査	令和5年 10月24・25・30日
令和5年5月25日	令和4年度 決算監査								
令和5年10月6日	令和5年度 岡山県運営適正化委員会日援事業実施状況調査								
令和5年11月16日	令和5年度 中間監査								
令和5年 10月24・25・30日	令和5年度 内部監査 (5地域ステーションの監査)								

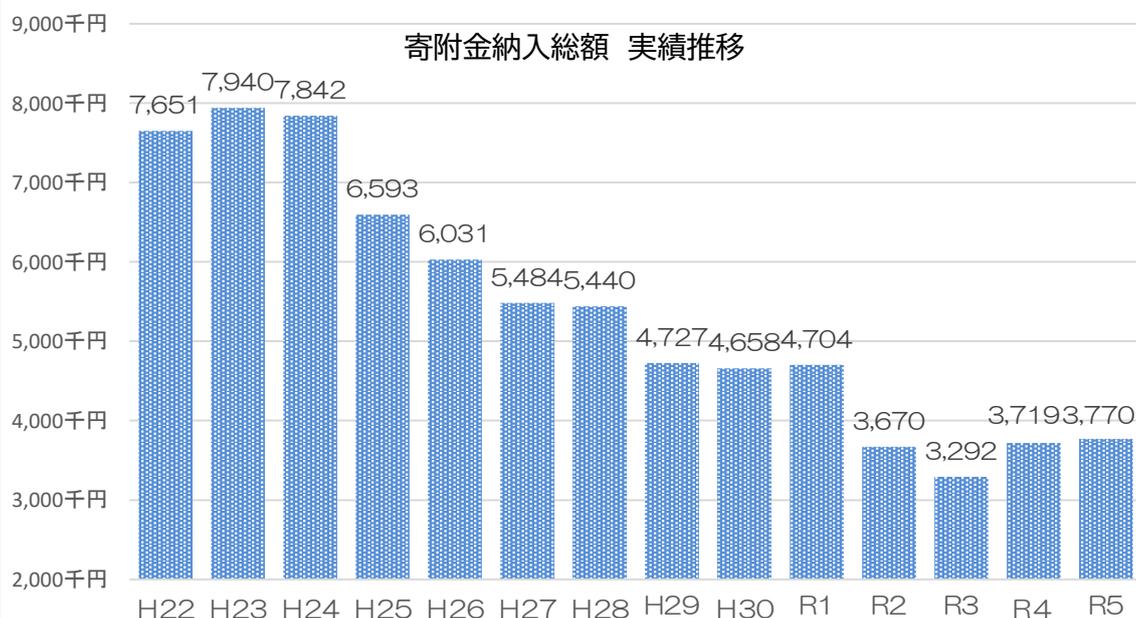
## 法人運営事業 ⑨

講演依頼及び 実践発表等	令和5年9月19日	美作JC三役合同座談会 災害ボランティアセンターの役割について 発表者：松本 陽	
	令和5年11月2日	令和5年度市町村社協経営基盤強化セミナー 「社協中期経営計画の策定と経営基盤強化の取組みについて」 発表者：春名正敏	
	令和6年2月9日	令和5年度第2回市町村域における社会福祉法人ネットワーク 連携・協働推進会議「美作お助け隊わーくわーく事業について」 発表者：松本 陽	
相談援助実習	相談援助実習の受け入れ：2名 （内訳）美作大学：2名		
外部委員等の 就任状況	関連委員等		担当
	岡山県共同募金会 評議員	美作市介護保険運営協議会 委員	山本会長
	美作市介護保険運営協議会 委員		
	全国社会福祉協議会 地域福祉推進委員会岡山県市町村社協代表委員	春名事務局長	
	全国社会福祉協議会 常任委員中国ブロック代表委員		
	岡山県市町村社協地域福祉推進委員会委員		
	美作市障がい福祉計画・障がい児福祉計画策定委員	内田事務局次長	
	美作市地域福祉計画策定委員		

事業概要

市民の皆様からお寄せ頂いた香典返しや見舞い返し等の寄附金は、美作市社協が推進する地域福祉事業の浄財として活用させて頂いております。  
 令和4年度より、寄附金事業の在り方を見直しし、寄附金収入は当該年度末に福祉基金に積立し、翌年度に地区社協・サロン等の地域福祉事業と市社協の権利擁護事業・広報事業等に活用させて頂くことになりました。

寄付金収入状況推移



	一般寄付金		見舞い返し		香典返し		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
平成22年度	19件	341,706円	48件	597,810円	323件	6,712,175円	390件	7,651,691円
平成23年度	19件	302,415円	47件	619,000円	338件	7,019,000円	404件	7,940,415円
平成24年度	20件	264,292円	52件	751,000円	309件	6,827,500円	381件	7,842,792円
平成25年度	19件	1,090,666円	22件	315,000円	269件	5,187,500円	310件	6,593,166円
平成26年度	20件	298,553円	25件	292,000円	310件	5,440,500円	355件	6,031,053円
平成27年度	19件	190,848円	28件	286,526円	322件	5,007,500円	369件	5,484,874円
平成28年度	18件	170,152円	21件	163,765円	286件	5,107,000円	325件	5,440,917円
平成29年度	23件	209,132円	18件	149,000円	259件	4,369,000円	300件	4,727,132円
平成30年度	22件	221,669円	19件	155,000円	248件	4,282,000円	289件	4,658,669円
令和元年度	21件	325,926円	10件	118,000円	257件	4,260,500円	288件	4,704,426円
令和2年度	24件	480,856円	7件	65,000円	207件	3,125,000円	238件	3,670,856円
令和3年度	18件	693,951円	6件	80,000円	192件	2,518,000円	216件	3,291,951円
令和4年度	12件	209,384円	1件	10,000円	206件	3,500,500円	219件	3,719,884円
令和5年度	20件	777,746円	3件	40,000円	201件	2,953,000円	224件	3,770,746円

## 寄附金事業 ②

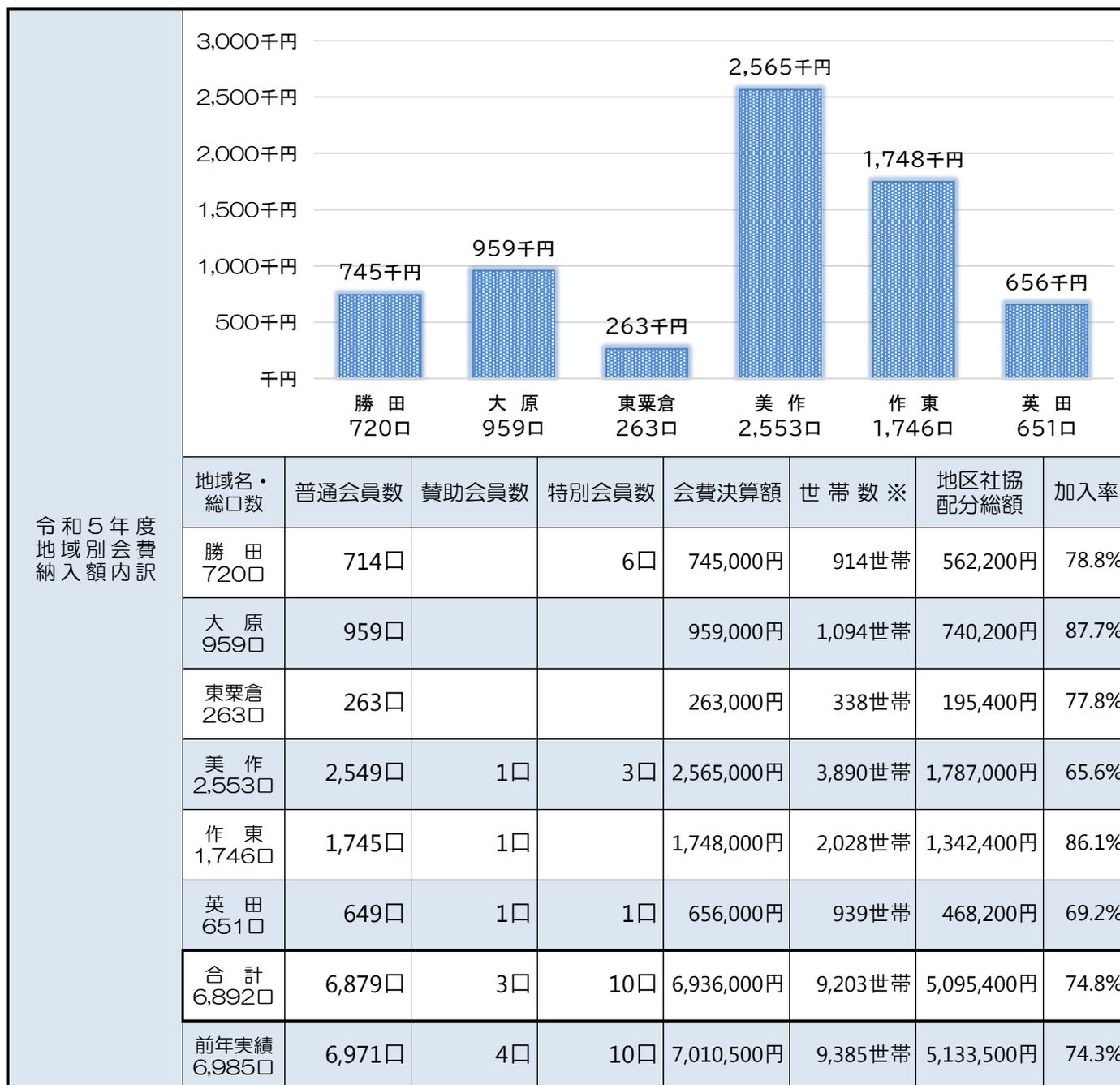
寄附金科目内訳		地 域 別 内 訳						合 計
		勝 田	大 原	東粟倉	美 作	作 東	英 田	
地域ステーション 寄附金納入 実績内訳	千円	750千円	330千円	190千円	1,271千円	972千円	258千円	
		勝 田	大 原	東粟倉	美 作	作 東	英 田	
一般寄附金	件数	—	2件	—	3件	14件	1件	20件
	金額	—	20,291円	—	315,500円	440,000円	1,955円	777,746円
見舞い返し	件数	—	—	3件	—	—	—	3件
	金額	—	—	40,000円	—	—	—	40,000円
香典返し	件数	28件	21件	10件	75件	47件	20件	201件
	金額	750,000円	310,000円	150,000円	955,000円	532,000円	256,000円	2,953,000円
令和5年度 合計	件数	28件	23件	13件	78件	61件	21件	224件
	金額	750,000円	330,291円	190,000円	1,270,500円	972,000円	257,955円	3,770,746円
令和4年度 合計	件数	26件	20件	9件	78件	63件	23件	219件
	金額	355,000円	352,598円	155,000円	1,699,000円	733,286円	425,000円	3,719,884円
寄附金事業 支出内訳	区分	事 業 名						事 業 費
	地区 社協	①見守り会議地区社協助成金						280,000円
		②友愛訪問支援事業						93,500円
	サロン	③高齢者ふれあい・いきいきサロン助成金事業						1,660,500円
	市社協	④コミュニティ・スペース「コラーレ」事業						106,838円
		⑤権利擁護支援事業						1,500,000円
		⑥「社協だより」広報事業						830,680円
		⑦緊急食糧支援おむすび事業						19,566円
		⑧子どもの学習支援居場所づくり事業						54,305円
		合 計						4,545,389円
財源 内訳	令和4年度寄附金3,719,884円と社協会費事務費825,505円を財源充当 ※令和5年度寄附金3,770,746円は福祉基金に積立し、次年度の地域福祉事業に充当							

<p>事業概要</p>	<p>「子ども応援夢基金」は、美作市社協が令和2年8月1日に創設した生活困窮世帯の子どもの支援に特化した寄附金を財源とする基金です。                  制度の狭間で支援が行き届かない生活困窮世帯の子どもの実態を市民や市内企業、団体等に伝え、寄附を通じて社会貢献や地域貢献の機会をファンドレイジングにより提供し、集まった寄附金を財源に、義務教育の中で行われている就学援助制度の支援から外れる就学や就職に必要な経費の一部を無利子で貸付けをすることにより、親から子への「貧困の連鎖」を断ち切る、生活困窮世帯の子どもたちを支援する新たな仕組みです。                  寄附金は令和5年4月25日に当初の目標額である500万円を達成し、寄附金募集を終了しました。資金貸付は令和2年度より実施し、現在8件の貸付があり、（内2件は償還済み）生活困窮世帯の子どもとその世帯及び保護者を含めた支援も併せて行っています。</p>	
<p>基金の内容</p>	<p>基金目標額</p>	<p>500万円</p>
	<p>寄附金募集期間</p>	<p>令和2年8月1日～令和7年3月31日</p>
	<p>寄附金受付方法</p>	<p>社協本所及び各支所で現金納付又は銀行振込、郵便振替</p>
	<p>貸付対象者</p>	<p>美作市に居住する子ども（満18歳に達する年度末までの子）の保護者で、経済的な理由等で家計に課題を抱え、本会が行う生活困窮者自立支援事業の「家計改善支援プラン」の作成を受けた世帯</p>
	<p>貸付金額</p>	<p>子ども一人に対し1回20万円以内を貸付</p>
	<p>貸付の種類</p>	<p>現行の制度やサービスではカバーできない、生活困窮世帯の子どもの進学や就職のために必要な以下の経費を貸付するとともに、その世帯及び保護者も含めた支援を実施                  ① 入学時に必要な経費（通学費用・教材費・制服代等）                  ② 小・中・高校の修学旅行費                  ③ 普通自動車及び原動機付自転車運転免許取得に必要な経費                  ④ 就職に必要な経費</p>
	<p>償還方法等</p>	<p>① 貸付利息は無利子、償還は3年以内、据置期間は6カ月以内。                  ② 償還は本会窓口において現金納付又はゆうちょ銀行の払込取扱票</p>
	<p>貸付審査会</p>	<p>貸付は、子ども応援夢基金貸付審査会に諮り決定する</p>
<p>寄附金実績額</p>	<p>寄附金実績額：5,054,072円                  （募集期間：令和2年8月1日～令和5年4月25日終了）                  ■個人等：54件（1,385,752円）                  ■法人・企業：35件（3,668,320円）</p>	
<p>貸付け実績</p>	<p>貸付延件数</p>	<p>8件（令和5年度1件）</p>
	<p>貸付延金額</p>	<p>1,491,300円                  （令和5年度200,000円）</p>
	<p>貸付目的</p>	<p>・普通自動車免許取得費用：2件                  ・中学、高校進学費用：6件</p>
<p>貸付審査会開催状況</p>	<p>子ども応援夢基金貸付審査会（現任役員より選出）                  委員長：松本 基、委員：坂元秀明、遠藤 清                  令和5年度第1回貸付審査会                  期日：令和5年10月10日（火）                  場所：作東長寿センター 件数：1件</p>	



# 社協会費 ①

<p>事業概要</p>	<p>社協の活動は、美作市や県社協からの受託金、補助金その他、市民や団体、企業の皆様からの社協会費や寄附金等を財源としています。 社協会費は、福祉のまちづくりをすすめるための貴重な自主財源で、納入いただいた会費から、地区社協実態調査の世帯数に200円を乗じた額を差し引いた額を、各地区社協の活動費として配分しています。</p>																															
<p>社協会費内</p>	<p>普通会費 1,000円      賛助会費 3,000円      特別会費 5,000円</p>																															
<p>社協会費納入額推移</p>	<div style="text-align: center;"> <p>社協会費納入額・配分額推移</p> <p>Legend: ■ 収入額 ■ 配分額</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年</th> <th>令和元年</th> <th>令和2年</th> <th>令和3年</th> <th>令和4年</th> <th>令和5年</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入額</td> <td>7,516,000円</td> <td>7,241,000円</td> <td>7,191,000円</td> <td>7,113,000円</td> <td>7,010,500円</td> <td>6,936,000円</td> <td>98.9%</td> </tr> <tr> <td>配分額</td> <td>5,565,200円</td> <td>5,308,800円</td> <td>5,284,400円</td> <td>5,217,400円</td> <td>5,133,500円</td> <td>5,096,400円</td> <td>99.2%</td> </tr> </tbody> </table>									平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	前年比	収入額	7,516,000円	7,241,000円	7,191,000円	7,113,000円	7,010,500円	6,936,000円	98.9%	配分額	5,565,200円	5,308,800円	5,284,400円	5,217,400円	5,133,500円	5,096,400円	99.2%
	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	前年比																									
収入額	7,516,000円	7,241,000円	7,191,000円	7,113,000円	7,010,500円	6,936,000円	98.9%																									
配分額	5,565,200円	5,308,800円	5,284,400円	5,217,400円	5,133,500円	5,096,400円	99.2%																									
<p>地域別会費納入額推移</p>		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	前年比																								
	勝田	837,000円	809,000円	782,000円	771,000円	771,000円	745,000円	96.6%																								
	大原	1,000,000円	980,000円	988,000円	956,000円	961,000円	959,000円	99.8%																								
	東粟倉	299,000円	296,000円	285,000円	274,000円	269,000円	263,000円	97.8%																								
	美作	2,774,000円	2,611,000円	2,626,000円	2,634,000円	2,556,500円	2,565,000円	100.3%																								
	作東	1,895,000円	1,847,000円	1,827,000円	1,793,000円	1,780,000円	1,748,000円	98.2%																								
	英田	711,000円	698,000円	683,000円	685,000円	673,000円	656,000円	97.6%																								
	合計	7,516,000円	7,241,000円	7,191,000円	7,113,000円	7,010,500円	6,936,000円	98.9%																								



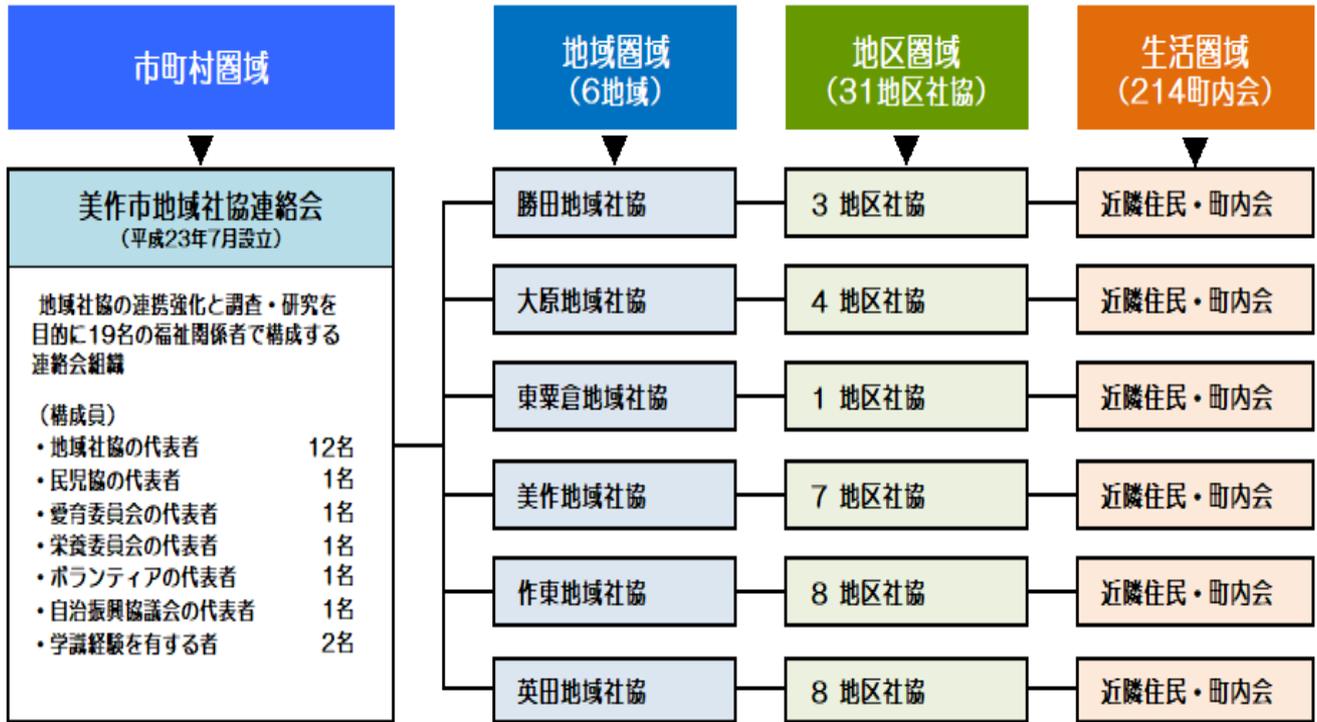
※世帯数は、令和5年4月1日現在の地区社協実態調査表による地域別の総世帯数

## 企画広報事業

<p>事業の概要</p>	<p>市民の皆様からいただいた社協会費及び寄附金を財源に、社協が実施する諸事業・活動の紹介、福祉サービス・ボランティア活動に関する情報等を掲載した広報紙「はい！社協です」を発行し、地域福祉活動の啓発を図っています。広報紙は平成23年11月号から有料広告を掲載し市内全戸に配布しています。</p> <p>また、インターネットを活用したホームページやFacebook、Instagram、公式ラインで、本会事業の取組みや地域福祉情報を発信しています。</p>			
<p>広報紙の仕様</p>	<p>A4：12ページ 表1・表4カラー 中面2色</p>			
<p>発行回数</p>	<p>隔月発行（平成29年5月号～）</p>	<p>発行部数</p>	<p>12,400部</p>	
<p>配布方法</p>	<p>美作市広報紙に挟みこみ</p>	<p>発行財源</p>	<p>社協会費・福祉基金</p>	
<p>有料広告</p>	<p>1枠：10,000円、2枠：20,000円</p>	<p>協賛事業者</p>	<p>8事業者</p>	
<p>掲 載 記 事</p>				
<p>令和5年5月号</p>	<p>令和5年度事業計画・予算が決定、組織機構図、家計・介護相談会、介護者の集い、赤い羽根福祉基金2023年助成事業、トマトでつながるスマイルプロジェクト、招（商）福連携による移動販売事業通信、輝くボランティア、「ひきこもり」支援の現場から、介護保険Q&amp;A、新入職員紹介、人事異動、子ども応援夢基金実績報告他</p>			
<p>令和5年7月号</p>	<p>子ども応援夢基金目標額達成、トマトでつながるスマイルプロジェクト、英田地域ステーションの移転について、令和5年度社協会員加入のお願い、美作市ファミリー・サポートセンターのご案内、福祉用具リユース事業の報告とお礼について、子育て用品・車椅子の貸出について、家計・介護相談会、介護者の集い、輝くボランティア他</p>			
<p>令和5年9月号</p>	<p>令和4年度事業報告・決算報告、子ども応援夢基金寄附金最終報告、令和4年度社協会費実績報告、美作お助け隊フード＆ライフドライブ、家計・介護相談会、介護者のつどい、輝くボランティア、ひきこもり支援の現場から、令和5年度市民後見人等養成研修受講生募集、救急医療情報キット、新役員紹介、会長再任のご挨拶他</p>			
<p>令和5年11月号</p>	<p>第2期福祉のまちづくり行動計画について、2023夏のボランティア体験事業、赤い羽根共同募金運動について、家計・介護相談会、介護者の集い、美作お助け隊フード＆ライフドライブお礼と報告、ボランティア講演会を開催、勝田中学校で福祉教育を開催、輝くボランティア、ひきこもり支援の現場から他</p>			
<p>令和6年1月号</p>	<p>美作市社協理事の新春メッセージ、美作お助け隊フード＆ドライブについて、榎原地区で福祉の集いを開催、大原中学校で福祉教育を開催、家計・介護相談会、介護者の集い、輝くボランティア、ひきこもり支援の現場から、年末年始のお知らせ、子ども応援夢基金貸付利用のご案内、令和6年度採用嘱託職員の募集、訪問介護員（臨時職員）の募集他</p>			
<p>令和6年3月号</p>	<p>令和5年度共同募金実績報告、美作お助け隊フード＆ライフドライブのお礼と報告、家計・介護相談会、日常生活自立支援事業について、輝くボランティア、手話奉仕員養成講座入門課程について、招（商）福連携による移動販売事業通信、就学支援リユース事業、ひきこもり支援の現場から、子ども応援夢基金貸付利用のご案内他</p>			
<p>ホームページ フェイスブック Instagramの更新</p>	<p>美作市社会福祉協議会ホームページ <a href="http://www.mimasakasyakyo.jp">http://www.mimasakasyakyo.jp</a> 美作市社会福祉協議会フェイスブック <a href="https://www.facebook.com/mimasakasyakyo">Facebook.com/mimasakasyakyo</a> 美作市社会福祉協議会Instagram、公式ライン</p>			

# 地区社協活動の推進：①地区社協の概要と組織体系

地区社協組織体系図(令和6年3月末現在)



事業概要	<p>平成23年度より、地区社協の組織確立・強化に向け、市レベルの31地区社協の連合会組織である「地域社協連絡会」を設立し、地域福祉基礎組織としての位置づけと役割の徹底や連携・情報交換の強化を図っています。</p> <p>地区社協活動の活性化を図るために市社協が事業化した「福祉ネットワークづくり事業」や「地区社協メニュー事業」「おたがいさまネット事業」は殆どの地区社協が実施しており、住民主体による地区ケア会議や見守り会議、友愛訪問等の福祉活動が行われています。</p> <p>令和5年度は、地区社協の地区ケア会議が、地域包括ケアシステムの中核を担うケア会議として機能するよう、救急医療情報キットを題材に各会議で協議し、地区から地域、市へ循環し解決につながる流れを体感した1年になりました。</p> <p>また、地区社協実態調査票や友愛訪問支援事業の様式変更についても協議し、令和6年度からの方針が決まりました。令和6年度は、地域社協連絡会の役員構成や会議のあり方について検討します。</p>	
地区社協の組織体系	地区社協数と活動形態	<p>市内で活動する地区社協数は31あり、小地域福祉活動を担う基礎組織として、自治振興協議会単位の設立になっています。</p> <p>地区社協の活動形態は大きく分けて、自治振興協議会の福祉部会として活動しているものと、自治振興協議会から独立して活動が行われているものとに分かれます。</p>
	地区社協の構成員内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員、愛育委員、栄養委員、ボランティア代表 (30地区)</li> <li>・区長 (29地区) ・福祉委員 (15地区)</li> <li>・老人クラブ役員 (24地区) ・身障協会役員 (7地区)</li> <li>・その他 (19地区)</li> </ul>
地域社協の組織体系	地域社協	<p>平成の合併前の旧町村内で設置した、各地区社協の代表者で構成する地区社協連絡会を「地域社協」としており、6つの「地域社協」があります。</p>

## 地区社協活動の推進:②地域社協連絡会

<p>事業概要</p>	<p>31地区社協の市レベルの連合体である地域社協連絡会は、地区社協活動の推進組織として平成23年度に設立し、地域社協や地区社協会長会等の機関を持ち地区社協事業の計画の決定や地区社協間の連携強化を図っています。</p>																																																							
<p>役員名簿 (19名)</p>	<p>■ 美作市地域社会福祉協議会連絡会役員名簿(令和6年3月31日現在)</p> <table border="0"> <tr> <td>会長</td> <td>春名信義</td> <td>(大原地域社協の代表者)</td> </tr> <tr> <td>副会長</td> <td>坂元秀明</td> <td>(勝田地域社協の代表者)</td> </tr> <tr> <td>役員</td> <td>本郷賢次</td> <td>(勝田地域社協の代表者)</td> </tr> <tr> <td>//</td> <td>鈴木悦子</td> <td>(大原地域社協の代表者)</td> </tr> <tr> <td>//</td> <td>小松美之</td> <td>(東粟倉地域社協の代表者)</td> </tr> <tr> <td>//</td> <td>朽山公人</td> <td>(東粟倉地域社協の代表者)</td> </tr> <tr> <td>//</td> <td>内海八千代</td> <td>(美作地域社協の代表者)</td> </tr> <tr> <td>//</td> <td>水島睦夫</td> <td>(美作地域社協の代表者)</td> </tr> <tr> <td>//</td> <td>山本 勉</td> <td>(作東地域社協の代表者)</td> </tr> <tr> <td>//</td> <td>祐延邦資</td> <td>(作東地域社協の代表者)</td> </tr> <tr> <td>//</td> <td>青山 功</td> <td>(英田地域社協の代表者)</td> </tr> <tr> <td>//</td> <td>奥西道浩</td> <td>(英田地域社協の代表者)</td> </tr> <tr> <td>//</td> <td>松本 基</td> <td>(美作市民生委員・児童委員協議会の代表者)</td> </tr> <tr> <td>//</td> <td>井上正子</td> <td>(愛育委員の代表者)</td> </tr> <tr> <td>//</td> <td>山下幸子</td> <td>(栄養委員の代表者)</td> </tr> <tr> <td>//</td> <td>新免増枝</td> <td>(ボランティアグループの代表者)</td> </tr> <tr> <td>//</td> <td>原 知行</td> <td>(自治振興協議会の代表者)</td> </tr> <tr> <td>//</td> <td>山本 壽</td> <td>(学識経験を有する者)</td> </tr> </table>		会長	春名信義	(大原地域社協の代表者)	副会長	坂元秀明	(勝田地域社協の代表者)	役員	本郷賢次	(勝田地域社協の代表者)	//	鈴木悦子	(大原地域社協の代表者)	//	小松美之	(東粟倉地域社協の代表者)	//	朽山公人	(東粟倉地域社協の代表者)	//	内海八千代	(美作地域社協の代表者)	//	水島睦夫	(美作地域社協の代表者)	//	山本 勉	(作東地域社協の代表者)	//	祐延邦資	(作東地域社協の代表者)	//	青山 功	(英田地域社協の代表者)	//	奥西道浩	(英田地域社協の代表者)	//	松本 基	(美作市民生委員・児童委員協議会の代表者)	//	井上正子	(愛育委員の代表者)	//	山下幸子	(栄養委員の代表者)	//	新免増枝	(ボランティアグループの代表者)	//	原 知行	(自治振興協議会の代表者)	//	山本 壽	(学識経験を有する者)
会長	春名信義	(大原地域社協の代表者)																																																						
副会長	坂元秀明	(勝田地域社協の代表者)																																																						
役員	本郷賢次	(勝田地域社協の代表者)																																																						
//	鈴木悦子	(大原地域社協の代表者)																																																						
//	小松美之	(東粟倉地域社協の代表者)																																																						
//	朽山公人	(東粟倉地域社協の代表者)																																																						
//	内海八千代	(美作地域社協の代表者)																																																						
//	水島睦夫	(美作地域社協の代表者)																																																						
//	山本 勉	(作東地域社協の代表者)																																																						
//	祐延邦資	(作東地域社協の代表者)																																																						
//	青山 功	(英田地域社協の代表者)																																																						
//	奥西道浩	(英田地域社協の代表者)																																																						
//	松本 基	(美作市民生委員・児童委員協議会の代表者)																																																						
//	井上正子	(愛育委員の代表者)																																																						
//	山下幸子	(栄養委員の代表者)																																																						
//	新免増枝	(ボランティアグループの代表者)																																																						
//	原 知行	(自治振興協議会の代表者)																																																						
//	山本 壽	(学識経験を有する者)																																																						
<p>活動内容</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>期 日 等</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="323 1122 635 1688"> <p>第1回 役員会 令和5年6月2日 (出席者:11名)</p> </td> <td data-bbox="635 1122 1490 1688"> <ol style="list-style-type: none"> <li>行政報告 美作市地域包括ケアシステムについて 美作市保健福祉部健康政策課 主事 神田貴衣</li> <li>協議事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>会長 副会長の選任について</li> <li>令和5年度 地区ケア会議・地域ケア会議について</li> <li>令和5年度 事業計画(案)について</li> <li>おたがいさまネット事業の「ご近所会議」について 通常開催の「見守り会議」とは別に、緊急を要する事例に速やかに対応できるよう、必要に応じて大字単位で地元住民と専門職が、困り事を抱える当事者の支援方法を協議する「ご近所会議」の、各地域の取組みを意見聴取した結果を報告。「ご近所会議」同様の取組みを行っている地区社協が多く、新たな機能として加えることはせず、現在の取組みを継続していくことになった。</li> </ul> </li> </ol> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="323 1688 635 2092"> <p>第2回 役員会 令和4年7月8日 (出席者:15名)</p> </td> <td data-bbox="635 1688 1490 2092"> <ol style="list-style-type: none"> <li>報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度 事業報告について</li> <li>令和4年度 福祉ネットワークづくり事業について</li> <li>令和4年度 地区社協メニュー事業について</li> <li>令和4年度 おたがいさまネット事業について</li> <li>令和4年度 社協会費・寄附金事業について</li> </ul> </li> <li>協議事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>地区社協実態調査票の様式変更について 様式の変更は承認されたが、各地区社協の意見を聴取し再度協議することになった。</li> </ul> </li> </ol> </td> </tr> </tbody> </table>	期 日 等	内 容	<p>第1回 役員会 令和5年6月2日 (出席者:11名)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>行政報告 美作市地域包括ケアシステムについて 美作市保健福祉部健康政策課 主事 神田貴衣</li> <li>協議事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>会長 副会長の選任について</li> <li>令和5年度 地区ケア会議・地域ケア会議について</li> <li>令和5年度 事業計画(案)について</li> <li>おたがいさまネット事業の「ご近所会議」について 通常開催の「見守り会議」とは別に、緊急を要する事例に速やかに対応できるよう、必要に応じて大字単位で地元住民と専門職が、困り事を抱える当事者の支援方法を協議する「ご近所会議」の、各地域の取組みを意見聴取した結果を報告。「ご近所会議」同様の取組みを行っている地区社協が多く、新たな機能として加えることはせず、現在の取組みを継続していくことになった。</li> </ul> </li> </ol>	<p>第2回 役員会 令和4年7月8日 (出席者:15名)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度 事業報告について</li> <li>令和4年度 福祉ネットワークづくり事業について</li> <li>令和4年度 地区社協メニュー事業について</li> <li>令和4年度 おたがいさまネット事業について</li> <li>令和4年度 社協会費・寄附金事業について</li> </ul> </li> <li>協議事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>地区社協実態調査票の様式変更について 様式の変更は承認されたが、各地区社協の意見を聴取し再度協議することになった。</li> </ul> </li> </ol>																																																	
期 日 等	内 容																																																							
<p>第1回 役員会 令和5年6月2日 (出席者:11名)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>行政報告 美作市地域包括ケアシステムについて 美作市保健福祉部健康政策課 主事 神田貴衣</li> <li>協議事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>会長 副会長の選任について</li> <li>令和5年度 地区ケア会議・地域ケア会議について</li> <li>令和5年度 事業計画(案)について</li> <li>おたがいさまネット事業の「ご近所会議」について 通常開催の「見守り会議」とは別に、緊急を要する事例に速やかに対応できるよう、必要に応じて大字単位で地元住民と専門職が、困り事を抱える当事者の支援方法を協議する「ご近所会議」の、各地域の取組みを意見聴取した結果を報告。「ご近所会議」同様の取組みを行っている地区社協が多く、新たな機能として加えることはせず、現在の取組みを継続していくことになった。</li> </ul> </li> </ol>																																																							
<p>第2回 役員会 令和4年7月8日 (出席者:15名)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度 事業報告について</li> <li>令和4年度 福祉ネットワークづくり事業について</li> <li>令和4年度 地区社協メニュー事業について</li> <li>令和4年度 おたがいさまネット事業について</li> <li>令和4年度 社協会費・寄附金事業について</li> </ul> </li> <li>協議事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>地区社協実態調査票の様式変更について 様式の変更は承認されたが、各地区社協の意見を聴取し再度協議することになった。</li> </ul> </li> </ol>																																																							

## 地区社協活動の推進:②地域社協連絡会

	期 日 等	内 容
活 動 内 容	第3回 役員会 令和6年1月18日 (出席者:13名)	<p>1. 協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 地区社協実態調査票の様式変更について各地区社協より意見聴取した結果を報告。次年度より新様式に変更で決定。</li> <li>• 救急医療情報キット配付事業の見直しについて 事業開始から13年が経過しており、救急医療情報キットを見守りのツールとして、幅広く活用できるよう事業内容の見直し案を提案し承認を得た。事業の見直し案は、美作市社協の事業方針として、美作市地域包括ケア会議で報告し、令和6年度より各地区社協で実施することになる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 救急医療情報キット配布対象者(100円)について <ul style="list-style-type: none"> <li>• 75歳以上の独居高齢者世帯</li> <li>• 障害者世帯</li> <li>• 見守りの観点(高齢者世帯、体調に不安のある方等)から地区社協が必要と認めた方</li> </ul> </li> <li>② 設置者名簿の作成と管理について 地区社協の判断において行う</li> <li>③ 救急医療情報シートの更新について <ul style="list-style-type: none"> <li>• 友愛訪問の様式を更新が確認出来る様式に変更し、友愛訪問時にシートの更新ができるよう務める</li> <li>• 更新の声掛けがしやすいよう、友愛訪問の際に救急医療情報キットのチラシを配布する</li> </ul> </li> <li>④ 毎年、美作市広報誌9月号に緊急医療情報シートを、折込み配付し、更新の呼び掛けを啓発する。</li> </ul> </li> <li>• 救急医療情報キット実施要綱の変更案について</li> <li>• 地区社協友愛訪問支援事業の報告様式の変更について</li> </ul>

## 地区社協活動の推進:③地区社協会長会

事 業 概 要	市社協並びに地域社協連絡会、関係機関等からの情報提供の場として、また各地区社協相互の情報交換・意見交換の場として地区社協会長会を開催しています。 なお、令和元年度からは、地区社協会長会を地域単位で開催しています。	
地域社協名	期 日 等	内 容
勝田地域社協	令和5年8月29日(出席者9名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 令和4年度 事業報告について</li> <li>• 令和4年度 福祉ネットワークづくり事業について</li> <li>• 令和4年度 地区社協メニュー事業について</li> <li>• 令和4年度 おたがいさまネット事業について</li> <li>• 令和4年度 社協会費・寄附金事業について</li> </ul>
大原地域社協	令和5年8月29日(出席者14名)	
東栗倉地域社協	令和5年8月3日(出席者19名)	
美作地域社協	令和5年9月8日(出席者12名)	
作東地域社協	令和5年8月29日(出席者12名)	
英田地域社協	令和5年9月12日(出席者8名)	

## 地区社協活動の推進:④-1 地区ケア会議

### 事業概要

福祉ネットワークづくり事業は、地区社協の組織運営の強化を図るために、地区社協構成員に民生委員・愛育委員・栄養委員・ボランティア団体の代表者等の参画による組織の再編と地域の福祉課題や生活課題の把握と課題解決に向けた活動（年3回の地区ケア会議開催）に対し、美作市社協が平成24年度より寄附金等を財源に活動費を助成する事業として提唱しました。

本事業は、地区社協基盤強化事業（単年事業）と地区ケア会議事業（継続事業）の2つのメニュー事業で構成しており、令和5年度は地区ケア会議事業に30地区社協が事業申請しました。自分達の住む地域の福祉課題を把握し、その課題について共に考え活動していく協議が行われ、地区ケア会議の開催数は延べ100回（前年度72回）、地区社協関係者や住民1,616人（前年度1,210人）が参加しました。

令和5年度は、地区ケア会議が地域課題が早期に発見され、適切な支援に繋がるよう地域包括ケアシステムの中核を担うケア会議として位置づけ、会議の名称も「福祉会議」から「地区ケア会議」に変更しました。

また、地区ケア会議の出席者が、地域包括ケアシステムの実践を体感できるよう、「救急医療情報キット」を地区ケア会議の共通のテーマとして取り上げ協議を行いました。地区ケア会議で拾い出した住民の福祉ニーズが、地区から地域、市へ循環し解決につながる流れを理解するとともに、地域の見守りや繋がりを見直すきっかけになりました。全ての地区ケア会議には美作市職員も出席し、市社協と行政が連携・協働し、迅速に個別ケースの検討と地域課題の把握が行える体制を整えました。

また、地区社協単位で、地区における福祉活動を関係者で共有し課題解決に向けた基礎資料となる「地区社協情報共有シート」や「地区アセスメントシート」の作成を住民に働きかけ、令和6年度から活用することになりました。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、多くの地区社協で地区ケア会議が再開され、年3回以上会議を実施した地区社協は28地区社協（前年度20地区社協）となりました。

### 助成金額と申請状況

①基盤強化事業 （単年事業）	助成金額	50,000円	
	令和5年度申請状況	なし（平成26年度で30地区社協が実施済）	
	②地区ケア会議 事業 （継続事業）	助成金額	30,000円
		令和5年度申請状況	30地区社協
		令和5年度実施状況	28地区社協（年3回以上地区ケア会議を実施）

### 財源

基金運営事業、赤い羽根まちづくり福祉活動助成金

### 福祉会議の様子



讃甘地区社協の地区ケア会議の様子



榎原地区社協の地区ケア会議の様子

## 地区社協活動の推進:④-2 地区ケア会議

地区社協名	地区ケア会議の内容等	
梶並	協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域包括ケアシステムを取り入れた、救急医療情報キットの現状と課題について</li> <li>②地区のつながりを維持する活動について</li> <li>③美作市地域福祉計画の意見聴取について</li> </ul>
	決定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>①救急医療情報キットを、全戸配付する。</li> <li>②11月26日にやまゆり苑で梶並収穫祭&amp;勝田ひまわり市場を開催。地域の他団体と協働してイベントを開催した。</li> <li>③グループワークを行い、地区の現状を情報共有し、地域課題を抽出した。</li> </ul>
	開催日・参加者数	7月21日(22人)・10月20日(22人)・12月8日(18人)・3月9日(22人)
勝田	協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域包括ケアシステムを取り入れた、救急医療情報キットの現状と課題について</li> <li>②障害理解を深める活動について</li> <li>③美作市地域福祉計画の意見聴取について</li> </ul>
	決定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>①救急医療情報キットを、65歳以上の独居高齢者と75歳以上の高齢者に配付する。更新方法等は次年度継続して協議する。</li> <li>②美作市障害者地域活動支援センターなごみに視察に行き、ホール利用者との交流を通じて、地区社協関係者の障害理解の促進が図られた。</li> <li>③グループワークを行い、地区の現状を情報共有し、地域課題を抽出した。</li> </ul>
	開催日・参加者数	6月28日(17人)・8月21日(19人)・12月7日(14人)・3月27日(17人)
勝田東	協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域包括ケアシステムを取り入れた、救急医療情報キットの現状と課題について</li> <li>②男性限定の集いの場について</li> <li>③美作市地域福祉計画の意見聴取について</li> </ul>
	決定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>①救急医療情報キットを全戸配付する。75歳以上の独居高齢者は、1回目の友愛訪問支援事業時にシートを更新する。10月にチラシを全戸配付し、更新を啓発する。</li> <li>②集いの場を男性のみで企画・実施した。参加するための心理的な負担を低くすることにより多くの参加があり、次年度も内容等を検討して実施することになった。</li> <li>③グループワークを行い、地区の現状を情報共有し、地域課題を抽出した。</li> </ul>
	開催日・参加者数	6月27日(18人)・10月27日(17人)・3月13日(21人)
東栗倉	協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ふれあい喫茶について</li> <li>②ゴミ出しカレンダーの配付について</li> <li>③地域包括ケアシステムを取り入れた、救急医療情報キットの現状と課題について</li> </ul>
	決定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>①年4回の開催ができたが、参加者の減少や固定化、運営方法の課題があり、今後のふれあい喫茶の在り方について継続協議する。</li> <li>②75歳以上の独居や高齢者世帯だけでなく、必要と思われる世帯があれば配付する。</li> <li>③救急医療情報キットを全戸配付する。配布方法や救急医療情報シートの必要枚数の把握は、自治振興協議会と相談して決める。</li> </ul>
	開催日・参加者数	5月16日(19人)・8月3日(19人)・3月27日(14人)

## 地区社協活動の推進:④-3 地区ケア会議

地区社協名	地区ケア会議の内容等	
大 原	協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①75歳以上の独居高齢者等の買い物の困り事調査について</li> <li>②高齢者ミニデイサービス事業の実施について</li> <li>③地域包括ケアシステムを取り入れた、救急医療情報キットの現状と課題について</li> </ul>
	決定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>①買い物の困り事調査の内容を協議し、令和5年度に友愛訪問時に調査を行う。次年度は、調査結果をもとに、地区社協で取組める事業を検討する。</li> <li>②コロナ禍により自粛していた高齢者ミニデイサービスを再開することができた。認知症の啓発活動や参加者全員での会食もでき、次年度も継続開催する。</li> <li>③救急医療情報キットの配付対象者は75歳以上の独居高齢者と見守りの観点から地区社協が必要と認めた方に決定。配布や更新の声かけは福祉委員が実施する。</li> </ul>
	開催日・参加者数	5月22日（13人）・9月1日（13人）・3月25日（15人）
讚 甘	協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①75歳以上の独居高齢者等の買い物の困り事調査について</li> <li>②高齢者ミニデイサービス事業の実施について</li> <li>③地域包括ケアシステムを取り入れた、救急医療情報キットの現状と課題について</li> </ul>
	決定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>①買い物の困り事調査の内容を協議し、令和5年度に友愛訪問時に調査を行う。次年度は、調査結果をもとに、地区社協で取組める事業を検討する。</li> <li>②コロナ禍により自粛していた高齢者ミニデイサービスを再開することができた。参加者全員で会食もでき、次年度の秋頃開催する。</li> <li>③救急医療情報キットの配付対象者は75歳以上の独居高齢者と見守りの観点から地区社協が必要と認めた方に決定。配布や更新の声かけは福祉委員が実施する。</li> </ul>
	開催日・参加者数	5月25日（13人）・8月25日（14人）・3月13日（11人）
大 野	協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①75歳以上の独居高齢者等の買い物の困り事調査について</li> <li>②気軽に集える場の整備や世代間交流について</li> <li>③地域包括ケアシステムを取り入れた、救急医療情報キットの現状と課題について</li> </ul>
	決定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>①買い物の困り事調査の内容を協議し、令和5年度に友愛訪問時に調査を行う。次年度は、調査結果をもとに、地区社協で取組める事業を検討する。</li> <li>②世代間交流事業で「カレー調理実習」を実施する。次年度も継続開催する。</li> <li>③配布対象者や配付方法等は決定に至らず、次年度継続協議とする。</li> </ul>
	開催日・参加者数	5月26日（14人）・9月20日（18人）・3月26日（12人）
大 吉	協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①75歳以上の独居高齢者等の買い物の困り事調査について</li> <li>②地区社協広報誌の発行について</li> <li>③地域包括ケアシステムを取り入れた、救急医療情報キットの現状と課題について</li> </ul>
	決定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>①買い物の困り事調査の内容を協議し、令和5年度に友愛訪問時に調査を行う。次年度は、調査結果をもとに、地区社協で取組める事業を検討する。</li> <li>②コロナ禍により発行出来ていなかった地区社協広報紙を令和5年度発行する。次年度も内容を協議し継続して発行する。</li> <li>③救急医療情報キットを全戸配付する。配付方法等は自治振の区長にも相談して行う。</li> </ul>
	開催日・参加者数	5月30日（16人）・7月28日（14人）・11月30日（12人）・2月26日（14人）

## 地区社協活動の推進:④-4 地区ケア会議

地区社協名	地区ケア会議の内容等	
豊国	協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①サロンや地区活動等の情報共有について</li> <li>②福祉委員研修について</li> <li>③地域包括ケアシステムを取り入れた、救急医療情報キットの現状と課題について</li> </ul>
	決定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地区内の組織や字の活動について情報共有を行い、各組織で行っている友愛訪問の時期が重ならないように調整する。次年度も継続して情報共有を行う。</li> <li>②福祉委員活動の先進地視察研修を実施。次年度も福祉委員活動の充実を図るために、研修を行い、見守りが必要な世帯の把握と支援を強化する。</li> <li>③福祉推進委員を中心に、救急医療情報キットの周知や更新の声掛けを行う。</li> </ul>
	開催日・参加者数	6月13日(14人)・10月10日(14人)・3月13日(15人)
豊田	協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①豊田小学校のカフェの開催について</li> <li>②福祉委員・福祉推進委員の活動について</li> <li>③地域包括ケアシステムを取り入れた、救急医療情報キットの現状と課題について</li> </ul>
	決定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>①旧豊田小学校のカフェは、会場の都合等により開催できなかった。カフェの開催が出来るよう、引き続き次年度協議を進めていく。</li> <li>②福祉委員制度について理解を深められるよう、他地区の実態調査等を行う。</li> <li>③各字で救急医療情報キットの管理・引継ぎが行えるよう地区社協から働きかける。</li> </ul>
	開催日・参加者数	5月20日(20人)・9月9日(22人)・12月9日(18人)・3月9日(23人)
樽原	協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「福祉の集い」の開催について</li> <li>②地域包括ケアシステムを取り入れた、救急医療情報キットの現状と課題について</li> </ul>
	決定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「福祉の集い」の開催にあたり、より参加しやすくなるようアンケート調査を実施する。</li> <li>②民生委員を中心に、チラシを活用して救急医療情報キットの周知や啓発を行い、見守りのツールとして活用できるようにする。</li> </ul>
	開催日・参加者数	5月19日(15人)・9月22日(16人)・12月8日(15人)・3月29日(15人)
湯郷	協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①見守り会議の再開について</li> <li>②組織間の情報共有や引継ぎについて</li> <li>③地域包括ケアシステムを取り入れた、救急医療情報キットの現状と課題について</li> </ul>
	決定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>①見守り会議は湯郷地区全体で開催が難しいため、今後は民生委員の担当地区単位で開催する。</li> <li>②各組織の後任者への引継ぎがスムーズに出来るよう、情報共有シートを活用する。</li> <li>③救急医療情報キットの管理ができていない地区の内容を参考に、各字で管理用のモデルを作成する。</li> </ul>
	開催日・参加者数	5月18日(18人)・7月20日(20人)・9月14日(18人)・11月16日(16人)・1月18日(16人)・3月21日(16人)

## 地区社協活動の推進:④-5 地区ケア会議

地区社協名	地区ケア会議の内容等	
巨勢	協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①各団体の活動の情報共有について</li> <li>②地域包括ケアシステムを取り入れた、救急医療情報キットの現状と課題について</li> </ul>
	決定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地区内の団体や字の活動予定等について情報共有を行い、活動の効率化を図るため、友愛訪問の時期が重ならないように調整する。</li> <li>②各字で救急医療情報キットの管理や引継ぎができるよう、定期的に地区社協が広報チラシを活用し啓発活動を行う。</li> </ul>
	開催日・参加者数	5月14日（16人）・10月29日（17人）・3月24日（14人）
田殿	協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①高齢者向け交通安全事故防止講座の実施について</li> <li>②友愛訪問事業実施に向けた役員間の情報共有について</li> <li>③地域包括ケアシステムを取り入れた、救急医療情報キットの現状と課題について</li> </ul>
	決定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>①高齢者向け交通安全事故防止講座の役割分担や内容を協議し開催。次年度も継続開催する。</li> <li>②友愛訪問対象者の確認や調整、配付品について協議し実施。</li> <li>③区長を中心に、救急医療情報キットの周知やシートの更新を行う。</li> </ul>
	開催日・参加者数	5月18日（10人）・10月18日（8人）・3月30日（15人）
江見中部	協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地区社協活動の住民理解を深める取り組みについて</li> <li>②地域包括ケアシステムを取り入れた、救急医療情報キットの現状と課題について</li> <li>③地区内で行われてる地域福祉活動の情報共有について</li> </ul>
	決定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地区社協活動の重要性を役員で再確認し、地区ケア会議を年3回、友愛訪問を年2回実施し、コロナ以前の活動に取組む。</li> <li>②全戸配布を基本に設置確認を行い、未設置の世帯に配付する。</li> <li>③地区内で行われている見守り活動や集いの場の情報交換を行い、次年度の地区社協活動の検討に活用する。</li> </ul>
	開催日・参加者数	7月20日（9人）・12月5日（16人）・2月29日（14人）
江見西部	協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地区社協活動の再開と地域包括ケアシステムについて</li> <li>②地域包括ケアシステムを取り入れた、救急医療情報キットの現状と課題について</li> <li>③地区内で行われてる地域福祉活動の情報共有について</li> </ul>
	決定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>①コロナ禍により自粛していた地区ケア会議を年3回、友愛訪問を年2回開催し、地区社協広報誌の発行など地区社協活動を再開させる。</li> <li>②友愛訪問時に更新確認を徹底すると共に、未設置の世帯の確認や新規世帯の拾い出しを行う。</li> <li>③地区内で行われている見守り活動や集いの場の情報交換を行い、次年度の地区社協活動の検討に活用する。</li> </ul>
	開催日・参加者数	7月1日（11人）・10月7日（15人）・12月1日（7人）

## 地区社協活動の推進:④-6 地区ケア会議

地区社協名	地区ケア会議の内容等	
江見東部	協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地区社協活動の再開と地域包括ケアシステムについて</li> <li>②地域包括ケアシステムを取り入れた、救急医療情報キットの現状と課題について</li> <li>③地区内で行われてる地域福祉活動の情報共有について</li> </ul>
	決定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地区社協活動の重要性を役員で再確認し、地区ケア会議を年3回、友愛訪問を年2回実施し、コロナ以前の活動に取組む。</li> <li>②救急医療情報キットの設置確認を行い、未設置の世帯に配付する。</li> <li>③地区内で行われている見守り活動や集いの場の情報交換を行い、次年度の地区社協活動の検討に活用する。</li> </ul>
	開催日・参加者数	11月30日（13人）・2月8日（18人）・3月28日（14人）
福山	協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域包括ケアシステムを取り入れた、救急医療情報キットの現状と課題について</li> <li>②交通の課題について</li> <li>③地区内で行われてる地域福祉活動の情報共有について</li> <li>④生きづらさを抱えた人が利用できる制度・サービスについて</li> </ul>
	決定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>①75歳以上独居高齢者への配付を基本とした活動と更新確認を継続する。</li> <li>②交通に課題を抱えた高齢者の現状を把握。次年度以降に自治振興協議会等とも協働しながら、必要に応じたニーズ調査等を検討する。</li> <li>③地区内で行われている地域福祉活動の一覧を次年度に作成する。</li> <li>④「なごみ」や「むぎの会」などの障害福祉サービスに加え、ひきこもり支援の居場所「コラーレ」について研修を行い、ひきこもり支援の理解を深めた。</li> </ul>
	開催日・参加者数	7月21日（34人）・1月27日（23人）
豊野	協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地区社協活動の再開と地域包括ケアシステムについて</li> <li>②地域包括ケアシステムを取り入れた、救急医療情報キットの現状と課題について</li> <li>③地区内で行われてる地域福祉活動の情報共有について</li> </ul>
	決定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>①コロナ禍で停滞していた地区社協活動を再開し、地区ケア会議を年3回開催、地区社協広報誌を発行する。会長より、美作市包括ケア会議と地域ケア会議の位置づけと地域包括ケアシステムの意義とその役割について情報提供があり理解を深めた。</li> <li>②民生委員と協働し、75歳以上独居高齢者と80歳以上高齢者世帯の設置と更新確認を徹底する。</li> </ul>
	開催日・参加者数	8月23日（13人）・12月2日（12人）・3月29日（14人）
吉野	協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域包括ケアシステムを取り入れた、救急医療情報キットの現状と課題について</li> <li>②地区内で行われてる地域福祉活動の情報共有について</li> </ul>
	決定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>①配布対象は地区によって違いがあるが、統一はせず現状の方針を継続する。救急医療情報シートの色を5年ごとに変更し毎年更新確認を行う。</li> <li>②見守り活動や集いの場の情報共有を行い。次年度の地区社協活動の検討に活用する。</li> </ul>
	開催日・参加者数	7月22日（23人）・11月18日（25人）・3月23日（26人）

## 地区社協活動の推進:④-7 地区ケア会議

地区社協名	地区ケア会議の内容等	
栗井	協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ふれあいの集いの開催について</li> <li>②地区内の高齢化の影響について</li> <li>③地域包括ケアシステムを取り入れた、救急医療情報キットの現状と課題について</li> <li>④地区内で行われてる地域福祉活動の情報共有について</li> </ul>
	決定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>①高齢者を中心に、地区全体の集いの場としてふれあいの集いを開催する。</li> <li>②高齢化率等のデータを参照し、地区内の担い手不足の課題等を継続して協議。昨年引き続き「認知症について」の研修を開催し、認知症理解の促進を図った。</li> <li>③栗井福祉ボランティアの会と協働し、75歳以上独居高齢者と80歳以上高齢者世帯への設置と更新確認に取り組む。</li> <li>④見守り活動とサロン活動等の集いの場の開催状況について情報共有し、地区活動を維持するために役員間の連携と負担を強いることのない体制づくりを目指す。</li> </ul>
	開催日・参加者数	5月12日(15人)・11月11日(15人)・3月7日(13人)
土居	協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地区社協活動の再開と地域包括ケアシステムについて</li> <li>②地域包括ケアシステムを取り入れた、救急医療情報キットの現状と課題について</li> </ul>
	決定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>①コロナ禍で停滞していた地区社協活動を徐々に再開し、年2回の友愛訪問と地区社協広報誌を発行する。また、友愛訪問時の具体的な注意点等を役員間で共有した。</li> <li>②普及啓発のため、地区社協の敬老会で救急医療情報キットのDVD上映等を実施する。</li> </ul>
	開催日・参加者数	8月18日(11人)
奥	協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域包括ケアシステムを取り入れて、救急医療情報キットの現状と課題について</li> <li>②友愛訪問支援事業で配付するゴミ袋の変更について</li> <li>③各種団体情報共有シートの作成について</li> </ul>
	決定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>①配布者名簿の整理を地区社協で行い、更新は友愛訪問時に役員が声掛けをし行う。</li> <li>②次年度より現行のサイズより大きいゴミ袋を配布し、地区社協の自主財源で行う。</li> <li>③見守りや団体間の協力体制が構築出来るよう、情報共有シートを作成する。毎年更新し、引継ぎにも活用する。</li> </ul>
	開催日・参加者数	5月25日(22人)・10月12日(22人)・3月14日(23人)
福本	協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域包括ケアシステムを取り入れて、救急医療情報キットの現状と課題について</li> <li>②各種団体情報共有シートの作成について</li> </ul>
	決定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>①75～79歳の未配付の独居高齢者に次年度より配付する。友愛訪問時に啓発チラシを活用し更新を呼びかける。</li> <li>②見守りや団体間の協力体制が構築出来るよう、情報共有シートを作成する。毎年更新し、引継ぎにも活用する。</li> </ul>
	開催日・参加者数	5月30日(23人)・10月31日(19人)・1月31日(19人)

## 地区社協活動の推進：④－8 地区ケア会議

地区社協名	地区ケア会議の内容等	
真三井	協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地区社協活動の住民理解を深めるための取組みについて</li> <li>②地域包括ケアシステムを取り入れた、救急医療情報キットの現状と課題について</li> <li>③各種団体情報共有シートの作成について</li> </ul>
	決定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地区社協広報紙の発行を継続する。 毎年総会時に役員向けの地区社協活動の研修を市社協に依頼する。</li> <li>②友愛訪問時に、チラシを活用した更新の周知・啓発を行い、住民の理解に繋げる。</li> <li>③見守りや団体間の協力体制が構築出来るよう、情報共有シートを作成する。 毎年更新し、引継ぎにも活用する。</li> </ul>
	開催日・参加者数	4月16日（21人）・5月19日（12人）・8月24日（17人）・11月3日（17人） 1月19日（11人）・3月17日（14人）
河会	協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①住民意識のアンケート調査の実施について</li> <li>②地域包括ケアシステムを取り入れた、救急医療情報キットの現状と課題について</li> <li>③各種団体情報共有シートの作成について</li> </ul>
	決定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>①アンケート調査を本年度実施する。アンケート調査結果から見てきた住民の要望について、地区社協で対応できることを協議する。</li> <li>②友愛訪問や民生委員の訪問時に、啓発チラシを配付し更新を呼びかける。</li> <li>③見守りや団体間の協力体制が構築出来るよう、情報共有シートを作成する。 毎年更新し、引継ぎにも活用する。</li> </ul>
	開催日・参加者数	5月12日（19人）・9月15日（18人）・11月10日（16人）・2月22日（15人）
上山	協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①AEDの設置場所に関する情報提供及び緊急時の対応について</li> <li>②地域包括ケアシステムを取り入れた、救急医療情報キットの現状と課題について</li> <li>③各種団体情報共有シートの作成について</li> </ul>
	決定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地区社協でAEDの使用方法等の講習会を次年度開催する。</li> <li>②友愛訪問や民生委員の個別訪問時に、啓発チラシを配付し更新を呼びかける。</li> <li>③見守りや団体間の協力体制が構築出来るよう、情報共有シートを作成する。 毎年更新し、引継ぎにも活用する。</li> </ul>
	開催日・参加者数	7月2日（9人）・11月5日（8人）・2月18日（10人）
公文	協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①友愛訪問支援事業の実施について</li> <li>②地域包括ケアシステムを取り入れた、救急医療情報キットの現状と課題について</li> <li>③各種団体情報共有シートの作成について</li> </ul>
	決定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>①友愛訪問支援事業の実施に向け、各大字で実施の意向調査する。</li> <li>②救急医療情報キット配付事業の実施に向け次年度に対象者や更新方法等を決定する。</li> <li>③見守りや団体間の協力体制が構築出来るよう、情報共有シートを作成する。 毎年更新し、引継ぎにも活用する。</li> </ul>
	開催日・参加者数	7月14日（10人）・9月13日（15人）・12月19日（10人）・3月22日（10人）

## 地区社協活動の推進：④－8 地区ケア会議

地区社協名	地区ケア会議の内容等	
公文奥	協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地区内の高齢者情報の把握について</li> <li>②地域包括ケアシステムを取り入れた、救急医療情報キットの現状と課題について</li> <li>③各種団体情報共有シートの作成について</li> </ul>
	決定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地区社協の役員にサロン代表者を加え、地区内の高齢者の情報を提供してもらい実態把握を進める。</li> <li>②次年度より、配付対象者を全世帯配付にし、更新方法等について協議する。</li> <li>③見守りや団体間の協力体制が構築出来るよう、情報共有シートを作成する。毎年更新し、引継ぎにも活用する。</li> </ul>
	開催日・参加者数	6月28日（20人）・12月6日（18人）・3月4日（13人）
尾谷・椿谷	協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域包括ケアシステムを取り入れた、救急医療情報キットの現状と課題について</li> <li>②各種団体情報共有シートの作成について</li> </ul>
	決定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>①友愛訪問時に民生委員と役員がチラシを配付し、更新の確認を行う。</li> <li>③見守りや団体間の協力体制が構築出来るよう、情報共有シートを作成する。毎年更新し、引継ぎにも活用する。</li> </ul>
	開催日・参加者数	6月9日（19人）・10月13日（17人）・3月1日（19人）

## 地区社協活動の推進:⑤-1おたがいさまネット事業

事業概要	<p>おたがいさまネット事業は、地区社協が運営主体となって、一人暮らし・高齢者・障害者世帯など、日常的に見守りが必要な世帯の拾い出しを行う「見守り会議」を開催し、見守りが必要な人のお宅に、地区住民が定期的に訪問し、安否確認やちょっとした困りごとをお手伝いする住民の自主活動による見守りネットワークを構築する事業です。</p> <p>令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、28地区社協で見守り会議が行われました（前年度21地区社協）。その結果、おたがいさまネット事業の世帯実施率は前年度に比べ増加し、82.1%となりました（前年度実施率61.1%）。ふれあい訪問の利用者は23名で、延べ訪問回数は211回、支援内容は主に安否確認、話し相手でした。</p>			
支援対象者	一人暮らし高齢者、認知症高齢者、高齢者世帯、身体・精神・知的障害者等 地域から孤立する恐れがあり定期的な生活援助が必要な者			
支援内容	安否確認	無事に暮らしているか、その他状態の変化がないか		
	消費者被害防止	振り込め詐欺や訪問販売等の被害はないか		
	生活情報の支援	サロンや公的情報、地域行事等の情報提供		
	話し相手	定期訪問による見守りなど		
	買い物宅配支援	業者発注の手続きや店舗への電話取り次ぎ等		
	オプション	手紙文書の整理、ゴミの分別、ゴミだし、電球交換、買物代行 ※オプションは、月2回以上の訪問に適用		
見守り会議	<p>見守り会議は、地区社協単位で開催し、自治会代表者・民生委員・老人会役員などが大字ごとに一つのテーブルを囲んで、見守りが必要な世帯や訪問員の選定を行うもので、抜け漏れのない地域の実態把握と住民同士の情報共有が行われています。会議は、事業開始3年間は年2回以上実施、4年経過後は年1回以上実施することになっています。</p> <p>令和5年度は、28地区社協が見守り会議を開催しました。中には3年ぶりの開催となった地区社協もあり、地域状況が大きく変わっていることが分かったとの声が聞かれました。</p>			
実施状況		令和3年度	令和4年度	令和5年度
	実施地区社協数	14地区社協	21地区社協	28地区社協
	実施集落（大字）数	70集落	113集落	167集落
	利用世帯数	16世帯	23世帯	23世帯
	延訪問回数	259回	270回	211回
	見守り会議開催数	19回	31回	36回
	見守り会議参加人数	342人	530人	638人
	市社協職員参加人数	40人	71人	70人
利用者実態	利用世帯数：23世帯（新規利用：4世帯）			
	世帯状況：独居高齢者21世帯、高齢者世帯2世帯			
訪問員実態	訪問員登録人数：55人（平均年齢76歳）		実働人数：25人	
訪問状況	月1回訪問：23世帯			
利用者の支援ニーズ	安否確認：23件　話し相手：22件　生活情報支援：2件　消費者被害防止：1件 ※支援プランより抽出（重複含む）			

## 地区社協活動の推進：⑤－２おたがいさまネット事業

地区社協名	大字の実施状況			世帯の実施状況			利用状況			
	大字 総数	実施 大字	実施率 (%)	世帯 総数	実施 世帯	実施率 (%)	継続利用 世帯数	新規利用 世帯数	実利用 世帯数	延訪問 回数
梶 並	6	6	100%	237	237	100%	0	0	0	0
勝 田	10	0	0%	509	0	0%	0	0	0	0
勝 田 東	4	4	100%	168	168	100%	0	0	0	0
大 原	5	5	100%	429	429	100%	0	0	0	0
讚 甘	5	5	100%	219	219	100%	0	0	0	0
大 野	6	6	100%	224	224	100%	0	0	0	0
大 吉	7	7	100%	222	222	100%	0	0	0	0
東 栗 倉	7	0	0%	338	0	0%	0	0	0	0
豊 国	11	9	82%	1179	1092	93%	0	0	0	0
湯 郷	27	25	93%	838	823	98%	0	0	0	0
林 野	19	—	—	582	—	—	—	—	—	—
豊 田	9	9	100%	278	278	100%	0	0	0	0
檜 原	5	5	100%	612	612	100%	1	0	1	10
巨 勢	10	10	100%	296	296	100%	1	0	1	12
田 殿	3	3	100%	110	110	100%	0	0	0	0
江見中部	12	8	67%	231	171	74%	0	0	0	0
江見西部	8	8	100%	337	337	100%	0	0	0	0
江見東部	8	7	88%	156	132	85%	0	0	0	0
豊 野	6	5	83%	126	114	90%	1	0	1	5
土 居	5	5	100%	482	482	100%	0	0	0	0
福 山	5	5	100%	152	152	100%	9	0	9	86
栗 井	5	5	100%	318	318	100%	4	2	6	59
吉 野	8	7	88%	250	222	89%	3	2	5	39
奥	1	1	100%	118	118	100%	0	0	0	0
福 本	1	1	100%	200	200	100%	0	0	0	0
真 三 井	5	5	100%	136	136	100%	0	0	0	0
上 山	3	3	100%	135	135	100%	0	0	0	0
河 会	3	3	100%	59	59	100%	0	0	0	0
公 文 奥	4	4	100%	78	78	100%	0	0	0	0
公 文	4	4	100%	119	119	100%	0	0	0	0
尾 谷・椿 谷	2	2	100%	93	93	100%	0	0	0	0
合 計	214	167	78.0%	9,231	7,576	82.1%	19	4	23	211

## 地区社協活動の推進:⑥-1 地区社協メニュー事業

事業概要	地区社協メニュー事業は、美作市社協が地区社協活動を支援する事業をメニュー化したもので、地区の実情に沿った様々な取り組みが行われています。令和5年度はコロナ禍によって自粛していた地区社協活動が再開され、減少していたメニュー事業への取り組みが増加に転じました。
------	--

令和5年度地区社協メニュー事業の実施状況

地区社協名		高齢者ミニデイサービス事業	サロン新規立上推進事業	友愛訪問支援事業		広報紙作成支援	
				1回訪問	2回訪問	1回発行	2回発行
勝田	梶 並			46	47	●	
	勝 田	●		66	63		
	勝 田 東	●		9	10		
大原	大 原	●		53	50		
	讃 甘	●		27	26		
	大 野			22	—	●	●
	大 吉			28	25	●	
東栗倉	東 栗 倉	●		41	40		
美作	豊 国	●		66	60	●	●
	湯 郷	●		70	71	●	●
	林 野	●		89	84		
	豊 田			35	35		
	櫛 原			39	39		
	巨 勢			40	41		
	田 殿			13	15		
作東	江見中部			31	28		
	江見西部			30	26	●	
	江見東部			18	17		
	豊 野			—	—	●	
	土 居	●		66	67	●	
	福 山	●		19	19	●	●
	栗 井	●		26	25		
	吉 野	●		41	39		
英田	奥			10	9		
	福 本			14	14		
	真 三 井			11	12	●	
	上 山			21	21		
	河 会			—	—		
	公 文			—	—		
	公 文 奥			8	8		
	尾 谷 椿 谷			9	9	●	
令和5年度合計		12カ所		948	900	11カ所	4カ所
令和4年度合計		8カ所		907	858	6カ所	4カ所

## 地区社協活動の推進:⑥-2 地区社協メニュー事業

### ① 高齢者ミニデイサービス事業

事業概要	地区社協が自主運営する65歳以上の高齢者や一人暮らし高齢者等を対象にしたミニデイサービスについて、市社協所有のマイクロバスの配車や体操指導員の派遣を行い（年間8回までを上限）、地域住民の生きがいづくりや交流活動を支援する。コロナ禍により中止していたマイクロバスの貸し出しを再開したため、開催回数、人数ともに増加しました。			
財源	美作市地域住民グループ支援事業（市受託事業）		実施地区社協	12地区社協
実施状況	地区社協名	実施回数	参加人数	会場名
	勝田地区社協	1回	22人	勝田保健センター
	勝田東地区社協	4回	66人	やまゆり苑・勝田保健センター
	大原地区社協	1回	47人	大原公民館
	讃甘地区社協	1回	43人	讃甘交流館
	東栗倉地区社協	4回	71人	東栗倉ふれあいセンター
	豊国地区社協	7回	299人	世代交流多目的ホール
	湯郷地区社協	6回	32人	湯郷地域交流センター
	林野地区社協	8回	52人	世代交流多目的ホール・林野公民館
	土居地区社協	1回	50人	土居小学校
	福山地区社協	1回	44人	福山多目的集会所
	栗井地区社協	1回	63人	旧栗井小学校
	吉野地区社協	1回	124人	吉野地区センター
	合計	36回	913人	

### ② 広報紙作成支援事業

事業概要	地域住民に身近な福祉に関する情報を提供し、地区社協活動への理解と協力を得るために、地区社協が発行する広報紙の作成費の一部を助成し、各地区社協で広報紙が作成できるよう支援する。		
助成金	地区社協が発行する広報紙1回につき 基本額10,000円＋（地区社協実態調査表の世帯数×10円）を年2回を上限に助成。 助成金の交付は3年間とし、4年目以降は年度内2回を上限に印刷代を無料とした。		
助成金総額	なし	実施地区社協	11地区社協

### ③ サロン新規立上げ推進事業

事業概要	地区内の大字又は小字単位に、5人以上で登録する「高齢者ふれあい・いきいきサロン」を新たに立ち上げた地区社協に対し、助成金を交付しサロンの普及推進を支援する。令和5年度は実施地区社協はありませんでした。		
助成金	新規サロンを立ち上げ活動支援をする地区社協に対し1サロンにつき30,000円を助成		
助成金総額	なし	申請数	なし

## 地区社協活動の推進:⑥-3 地区社協メニュー事業

### ④ 友愛訪問支援事業

事業概要	地区社協が実施する友愛訪問活動に対して、市社協より訪問時に配付するごみ袋を提供し、一人暮らし高齢者の安否確認と声掛けを行い、住み慣れた地域で自立した生活を支援する。							
対象者	美作市内に在住する75歳以上の一人暮らし高齢者							
配付品	美作市指定ごみ袋 10ℓ							
財源	福祉基金積立金・共同募金配分金							
実施地区社協	28地区社協			延実施回数	55回			
配付世帯総数	1,848世帯			配付総数	1,848			
実施状況内訳	地区社協名	実施回数	配付世帯数	配付数	地区社協名	実施回数	配付世帯数	配付数
	梶並地区社協	2回	93世帯	93	江見西部地区社協	2回	56世帯	56
	勝田地区社協	2回	129世帯	129	江見東部地区社協	2回	35世帯	35
	勝田東地区社協	2回	19世帯	19	豊野地区社協	—	—	—
	大原地区社協	2回	103世帯	103	土居地区社協	2回	133世帯	133
	讃甘地区社協	2回	53世帯	53	福山地区社協	2回	38世帯	38
	大野地区社協	1回	22世帯	22	粟井地区社協	2回	51世帯	51
	大吉地区社協	2回	53世帯	53	吉野地区社協	2回	80世帯	80
	東栗倉地区社協	2回	81世帯	81	奥地区社協	2回	19世帯	19
	豊国地区社協	2回	126世帯	126	福本地区社協	2回	28世帯	28
	湯郷地区社協	2回	141世帯	141	真三井地区社協	2回	23世帯	23
	林野地区社協	2回	173世帯	173	上山地区社協	2回	42世帯	42
	豊田地区社協	2回	70世帯	70	河会地区社協	—	—	—
	櫛原地区社協	2回	78世帯	78	公文地区社協	—	—	—
	巨勢地区社協	2回	81世帯	81	公文奥地区社協	2回	16世帯	16
	田殿地区社協	2回	28世帯	28	尾谷椿谷地区社協	2回	18世帯	18
	江見中部地区社協	2回	59世帯	59	合計	55回	1,848世帯	1,848

## 地区社協活動の推進：⑦ 救急医療情報キット配付事業

<p>事業概要</p>	<p>救急医療情報キットは、自分の氏名・年齢・緊急連絡先・かかりつけ医・持病や服薬内容等の情報を、専用の筒状の容器に入れ冷蔵庫の中に保管して置くことで、緊急時の救急隊等の迅速な救命活動を可能にするもので各市町村等で導入が進んでいます。</p> <p>美作市社協は、平成22年度より、市内に在住する概ね75歳以上の一人暮らし高齢者を対象に、救急医療情報キットを有償で配付しており、地区社協で配付の取りまとめと緊急連絡カードの更新が行われています。</p> <p>令和5年度は、美作市地域包括ケア会議や美作市地域社協連絡会で本事業の現状と課題について協議し、配付対象者、救急医療情報シートの更新、普及啓発等の事業方針を定めました。</p>										
<p>配付対象者</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内に居住する概ね75歳以上の一人暮らし高齢者世帯・障害者世帯</li> <li>・見守りの観点から地区社協が必要と認めた方（令和6年度から）</li> </ul>										
<p>購入負担金</p>	<p>100円 ※配布対象者以外で申請があれば300円で提供</p>										
<p>配付方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社協が取りまとめ購入し配付</li> <li>・障害者地域活動支援センターなごみより配付</li> </ul>										
<p>R5購入数</p>	<p>1,000本（財源：共同募金配分金）</p>					<p>令和5年度配付数</p>		<p>357本配付（対象外含む）</p>			
<p>配付状況</p>		<p>勝田</p>	<p>大原</p>	<p>東栗倉</p>	<p>美作</p>	<p>作東</p>	<p>英田</p>	<p>なごみ</p>	<p>合計</p>		
	<p>R5配布数</p>	<p>155</p>	<p>22</p>	<p>6</p>	<p>125</p>	<p>35</p>	<p>14</p>	<p>0</p>	<p>357</p>		
	<p>配布総数</p>	<p>708</p>	<p>505</p>	<p>106</p>	<p>2,414</p>	<p>1,374</p>	<p>502</p>	<p>11</p>	<p>5,620</p>		
<p>美作市消防本部からの活用事例報告</p>	<p>年 月</p>		<p>地 域</p>	<p>性 別</p>	<p>年 齢</p>	<p>事故種別</p>					
	<p>1</p>	<p>令和5年4月</p>		<p>作東</p>	<p>男性</p>	<p>80代</p>	<p>負傷</p>				
	<p>2</p>	<p>令和5年4月</p>		<p>美作</p>	<p>女性</p>	<p>90代</p>	<p>負傷</p>				
	<p>3</p>	<p>令和5年4月</p>		<p>英田</p>	<p>男性</p>	<p>90代</p>	<p>急病</p>				
	<p>4</p>	<p>令和5年5月</p>		<p>作東</p>	<p>男性</p>	<p>80代</p>	<p>急病</p>				
	<p>5</p>	<p>令和5年7月</p>		<p>作東</p>	<p>女性</p>	<p>80代</p>	<p>急病</p>				
	<p>6</p>	<p>令和5年7月</p>		<p>美作</p>	<p>男性</p>	<p>50代</p>	<p>急病</p>				
	<p>7</p>	<p>令和5年8月</p>		<p>美作</p>	<p>女性</p>	<p>80代</p>	<p>急病</p>				
	<p>8</p>	<p>令和5年8月</p>		<p>英田</p>	<p>女性</p>	<p>70代</p>	<p>急病</p>				
	<p>9</p>	<p>令和5年8月</p>		<p>美作</p>	<p>女性</p>	<p>80代</p>	<p>急病</p>				
	<p>10</p>	<p>令和5年10月</p>		<p>美作</p>	<p>女性</p>	<p>90代</p>	<p>負傷</p>				
	<p>11</p>	<p>令和5年11月</p>		<p>美作</p>	<p>女性</p>	<p>80代</p>	<p>急病</p>				
	<p>12</p>	<p>令和5年12月</p>		<p>美作</p>	<p>男性</p>	<p>80代</p>	<p>急病</p>				
	<p>13</p>	<p>令和5年12月</p>		<p>美作</p>	<p>男性</p>	<p>70代</p>	<p>急病</p>				
	<p>14</p>	<p>令和5年12月</p>		<p>作東</p>	<p>男性</p>	<p>80代</p>	<p>急病</p>				
	<p>15</p>	<p>令和5年12月</p>		<p>美作</p>	<p>女性</p>	<p>80代</p>	<p>急病</p>				
	<p>16</p>	<p>令和6年1月</p>		<p>美作</p>	<p>女性</p>	<p>80代</p>	<p>急病</p>				
	<p>17</p>	<p>令和6年1月</p>		<p>大原</p>	<p>女性</p>	<p>80代</p>	<p>急病</p>				
	<p>18</p>	<p>令和6年3月</p>		<p>美作</p>	<p>男性</p>	<p>90代</p>	<p>急病</p>				
<p>シートの更新普及啓発</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友愛訪問の報告書を更新確認が出来る様式に変更し、訪問時等に更新を呼びかける。</li> <li>・令和6年度から、美作市広報誌9月号に新しい救急医療情報シートを折り込み全戸配付する。</li> </ul>										
<p>■ 令和5年度の活用事例</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①活用件数 18件（令和4年度15件）</li> <li>②地域内訳 大原1件、美作11件、作東4件、英田2件</li> <li>③性別内訳 男性8件、女性10件</li> <li>④年齢内訳 50代：1人、70代：2人 80代：11人、90代：4人</li> <li>⑤その他 死後発見された人：3人</li> </ol>											

## 高齢者ふれあい・いきいきサロン活動の支援

事業概要	地域住民と地区社協、民生委員、栄養委員、ボランティア等が主体となって、公民館や集会場などを活用して、定期的に会食やおしゃべり、レクリエーションなどを行う、地域の集いの場である、高齢者ふれあい・いきいきサロンの開設や運営を支援します。						
食材費助成	サロンで行う調理実習に対し、65歳以上の参加者一人当たり300円を乗じた金額を上限に食材費を助成します。また、食材費が上限に満たない場合は実費を助成します。						
戸外活動	高齢者の外出支援や社会参加を目的に、勝英管内で施設見学や買い物、研修等の戸外活動を企画したサロンに対し、市社協のマイクロバスの貸出しと運転員の派遣を年1回実施します（令和5年度：35件）。戸外活動を利用できるサロンは、年6回以上開催が条件としています。 令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、マイクロバスの貸し出しを再開しました。						
レク用品の無料貸出し	美作市社協所有のレクリエーション用品等の無料貸出しを随時実施。						
サロン活動助成金	年6回以上開催するサロンに対し、65歳以上の高齢者の登録人数に応じて、1サロンにつき年額5,000円から20,000円の活動費を助成。助成金の財源は福祉基金を充当。令和5年度はコロナ禍によりサロンの年間計画が立てられなかったサロンがあり、回数に応じて活動費を助成しました。令和5年度助成サロン数：135（令和4年度助成サロン135）						
	サロン登録人数		10人以下	30人以下	60人以下	61人以上	
	助成金額（年額）		5,000円	10,000円	15,000円	20,000円	
		勝田	大原	東栗倉	美作	作東	英田
申請数	7カ所	23カ所	6カ所	36カ所	43カ所	20カ所	135カ所
助成金額	79,000円	293,000円	95,000円	505,000円	466,500円	222,000円	1,660,500円
サロン代表者会議の開催	地域ステーション		開催日時		場所		参加サロン数
	勝田		令和5年5月26日		勝田総合支所		9サロン
			令和6年3月6日		勝田総合支所		8サロン
	大原・東栗倉		令和6年3月1日		大原保健センター		18サロン
	美作		令和6年3月5日		世代交流多目的ホール		32サロン
	作東		令和6年3月6日		作東長寿センター		30サロン
	英田		令和6年3月4日		英田総合支所		18サロン
トマトでつながるスマイルプロジェクト 	美作市社協は令和4年度に、コロナ禍でも人とつながり続けるために、高齢者にトマトの苗とプランターを提供し、玄関先でトマトを育てることで、ご近所同士の声掛けのきっかけにしたり、つながりの再構築を目的に「プランターでつながるスマイルプロジェクト」を実施しました。 令和5年度も昨年に引き続き事業を実施し、トマトの苗と共に市内の小中学生が作成したメッセージカードを配付しました。子どもたちが描いた絵をきっかけに、高齢者への声掛けや地域の見守り活動につながりました。プロジェクトには84サロン1,226人が参加し市内全域で世代を超えた声掛けが行われました。						
	参加サロン数	勝田	大原	東栗倉	美作	作東	英田
	7カ所	16カ所	3カ所	22カ所	24カ所	12カ所	84カ所



# 高齢者ふれあい・いきいきサロン登録名簿 ①

地 域	サロン名		開催場所	登録者数	実施回数
勝 田 (7)	1	こぶしの会	木地山公会堂	26人	6回
	2	サロン立木	立木公会堂	9人	6回
	3	真殿地区サロン	真殿コミュニティハウス	31人	12回
	4	梶並サロン	梶並公会堂	7人	4回
	5	真加部なかよし会	真加部老人憩いの家	15人	10回
	6	南町いきいきサロン	南町集会所	70人	7回
	7	ニコニコ会	西町上集会所	41人	48回
地 域	サロン名		開催場所	登録者数	実施回数
大 原 (23)	1	古町中サロン	古町集会所	60人	6回
	2	古町下サロン	大原コミュニティー	94人	6回
	3	江ノ原サロン	江ノ原集会所	61人	6回
	4	中町西サロン	中町西公会堂	53人	7回
	5	下町サロン	下町公会堂	61人	7回
	6	大塔サロン	大塔公会堂	16人	12回
	7	しましょう会	下庄上公会堂	18人	6回
	8	半坂サロン	半坂公会堂	26人	3回
	9	わきあいあいサロン	日面公会堂	33人	6回
	10	淀・入野サロン	淀・入野公会堂	15人	2回
	11	宮本下いきいきサロン	宮本下土居公会堂	29人	7回
	12	いきいきサロン中西町	中西町公会堂	29人	5回
	13	高岡サロン	高岡公会堂	13人	1回
	14	今岡いきいきふれあいサロン	今岡公会堂	62人	8回
	15	川上上サロン	大野コミュニティ	54人	8回
	16	美土呂ふれあいサロン	大野コミュニティ	43人	9回
	17	滝ふれあい・いきいきサロン	滝第2集会所	62人	8回
	18	笹岡ふれあいサロン	笹岡公会堂	20人	3回
	19	赤田いきいきサロン	赤田公会堂	32人	7回
	20	田井サロン	田井コミュニティハウス	32人	6回
	21	川戸いきいきサロン	川戸公会堂	27人	5回
	22	沢田サロン	沢田公民館	23人	7回
	23	立石サロン	立石公会堂	35人	4回

## 高齢者ふれあい・いきいきサロン登録名簿 ②

地 域	サロン名		開催場所	登録者数	実施回数
東栗倉 (6)	1	入谷ふれあいの会	入谷コミュニティー	50人	6回
	2	後山元気会	後山公民館	36人	6回
	3	中谷いきいき会	中谷集会所	32人	8回
	4	東青野あかがね会	東青野コミュニティー	38人	7回
	5	東吉田大空会	東吉田集落センター	61人	12回
	6	川東ごじろ会	川東コミュニティー	40人	13回
地 域	サロン名		開催場所	登録者数	実施回数
美 作 (36)	1	北山コスモス会	豊国公民館・北山コミュニティハウス・北山地内	114人	9回
	2	下香山サロン	下香山公会堂	43人	19回
	3	上相健康福祉教室	上相地内	61人	6回
	4	中尾ひまわり会	中尾コミュニティハウス・中尾地内	125人	7回
	5	豊国原健康広場	豊国原公会堂	40人	11回
	6	明見サロン	明見コミュニティハウス・明見地内	62人	6回
	7	林尾楽友会	湯郷上コミュニティハウス	10人	11回
	8	位田上サロンなごみの会	位田研修センター・位田上地内	27人	5回
	9	下位田五日サロン	下位田コミュニティセンター	12人	9回
	10	金原・稲穂・則平健康広場	稲穂コミュニティハウス・金原・稲穂・則平地内	65人	6回
	11	中筋いきいきサロン	中筋集会所・中筋地内	50人	7回
	12	長内やすらぎサロン	農村広場・旧農村公園広場	40人	6回
	13	岩見田サロン	岩見田公会堂・代表者宅・岩見田地内	40人	53回
	14	湯郷みずほサロン	町内山下宅・町内ふれあい広場	15人	3回
	15	湯の四サロン	湯郷地域交流センター・湯の四地内	10人	10回
	16	えびす会	林野公民館	13人	10回
	17	青空会(栄町)	アルコ広場	5人	7回
	18	ひまわりサロン	長大寺集会所	15人	7回
	19	朽木サロン	朽木コミュニティー	92人	62回
	20	友野健康広場	友野コミュニティー	16人	7回
	21	山口サロン	山口公民館・山口地内	15人	26回
	22	山外野遊友サロン	山外野コミュニティー	32人	93回
	23	大原健康クラブ	大原改善センター	58人	7回
	24	猪臥どっこいクラブ	猪臥公会堂・猪臥地内	45人	6回

## 高齢者ふれあい・いきいきサロン登録名簿 ③

地 域	サロン名		開催場所	登録者数	実施回数
美 作 (36)	25	なかよしサロン平田	平田コミュニティー	12人	15回
	26	北原サロン	北原地内	31人	7回
	27	檜原上福祉ネットワーク	檜原上コミュニティハウス・檜原上地内	80人	4回
	28	檜原中	檜原中多目的集会所	80人	24回
	29	檜原下福祉委員会	檜原下地内	91人	8回
	30	さくら会	桜川コミュニティハウス・桜川地内	18人	9回
	31	平福いきいきサロン	平福公民館	131人	7回
	32	檜村サロンきずな	旧巨勢小学校・巨勢生活改善センター	27人	62回
	33	中村健康サロン	中村公会堂	13人	6回
	34	榎サロン	榎公会堂	31人	7回
	35	サロン安蘇	安蘇公会堂	75人	69回
	36	田殿サロン	田殿公民館	148人	6回
地 域	サロン名		開催場所	登録者数	実施回数
作 東 (43)	1	能登香小房サロン	小房コミュニティー	33人	6回
	2	小野ひだまりサロン	小野集会所	36人	12回
	3	横田いきいきふれあいサロン	横田集会所	23人	6回
	4	栗井中サロン	栗井中教育集会所	20人	6回
	5	鷺巣サロン「ほほえみ」	本谷・土師コミュニティ	27人	6回
	6	梶原ほっこりサロン	梶原集会所	28人	4回
	7	西河内ふれあいサロン	西河内集会所	22人	18回
	8	藤生サロン	藤生公会堂	30人	6回
	9	今在家・駅前ふれあいサロン	今在家・駅前集会所	56人	6回
	10	川北さくらサロン	川北コミュニティハウス	13人	7回
	11	原久保木サロン	原久保木集会所	16人	7回
	12	あすなろ会	川崎集会所	34人	19回
	13	原元気クラブ	原公民館	14人	9回
	14	さつきの会	作東公民館	17人	12回
	15	別所”若葉会”	別所集会所	17人	8回
	16	角南ふれあいサロン	角南コミュニティーハウス	38人	24回
	17	札の内サロン	札の内集会所	11人	10回
	18	土居地区サロンほほえみ	土居老人作業所	13人	10回

## 高齢者ふれあい・いきいきサロン登録名簿 ④

地 域	サロン名	開催場所	登録者数	実施回数	
作 東 (43)	19	新町おしゃべり会	新町会館	15人	7回
	20	渡田サロン	渡田公民館	12人	10回
	21	蓮花寺健康サロン	蓮花寺公民館	25人	26回
	22	片伏日向サロン	片伏日向集会所	16人	49回
	23	黒藪笑年・笑女ふれあいサロン	黒藪コミュニティーハウス	17人	7回
	24	毘沙門クラブ	日指公民館	15人	14回
	25	ゆったりたんぽぽ会	仁ノ坂公会堂	14人	7回
	26	岩辺いきいきサロン	岩辺公民館	35人	20回
	27	豊野ふれあいサロン	豊野公民館	21人	12回
	28	鯨はつらつサロン	鯨公会堂	37人	6回
	29	松脇サロン	松脇隣保館	19人	7回
	30	瀬戸ふれ愛サロン	瀬戸コミュニティーハウス	23人	4回
	31	国貞サロン	国貞集会所	13人	50回
	32	万善親和会サロン	万善集会所	18人	8回
	33	柿ヶ原サロン	柿ヶ原コミュニティー	31人	7回
	34	田淵ひまわり会	殿敷コミュニティー	6人	2回
	35	鈴家サロン	鈴家集会所	12人	7回
	36	西五名サロン	吉野地区センター	37人	5回
	37	中西サロン	中西コミュニティー	13人	6回
	38	小滝ふれあいサロン	小滝公会堂	14人	8回
39	豆田サロン	豆田老人作業所	25人	3回	
40	東五名ふれあいサロン	殿河内コミュニティー	32人	6回	
41	金子いきいきサロン	金子集会所	46人	4回	
42	大聖寺サロン	大聖寺地区公会堂	16人	6回	
43	山手いきいきサロン	山手コミュニティーハウス	39人	7回	
地 域	サロン名	開催場所	登録者数	実施回数	
英 田 (20)	1	奥地区ふれあいいきいきサロン	奥コミュニティー	77人	7回
	2	小原高齢者ふれあいクラブ	小原公会堂	26人	10回
	3	山崎ふれあい会	山崎コミュニティー	20人	7回
	4	アカシア会	赤坂コミュニティー	21人	6回
	5	北香合ふれあい会	北香合コミュニティー	24人	10回

## 高齢者ふれあい・いきいきサロン登録名簿 ⑤

地 域	サロン名		開催場所	登録者数	実施回数	
英 田 (20)	6	南香合むつみの里ひまわりサロン	南香合集会所	20人	6回	
	7	井口ふれあいサロン	井口コミュニティハウス	24人	8回	
	8	神田あすなろ会	神田コミュニティー	37人	9回	
	15	中磯サロン	中磯公会堂	19人	5回	
	10	芦谷サロン会	芦谷コミュニティー	15人	12回	
	11	わたげガンバル会	渡瀬コミュニティー	16人	6回	
	12	小長ふれあいサロン	小長コミュニティー	27人	6回	
	13	上山あじさいの会	上山公会堂	62人	7回	
	14	大西ふれあい会	大西ディサービスホーム	11人	1回	
	15	英田青野元気会	青野コミュニティハウス	21人	6回	
	16	鳥淵ふれあい会	鳥淵コミュニティハウス	16人	7回	
	17	城田ひまわり会	城田公会堂	20人	7回	
	18	名杭ふれあい会	名杭コミュニティー	33人	7回	
	19	中河内わいわいわくわくサロン	中河内公会堂	30人	12回	
	20	樺谷地区ふれあいサロン	樺谷コミュニティハウス	19人	6回	
	令和5年度登録サロン数（年6回以下も含む）：135サロン（前年比増減なし）				4,573人	1,510回

令和4年度登録サロン数：135サロン      登録人数：4,632人      実施回数：1,398回

過去5年間のふれあい・いきいきサロン活動状況の推移



	登録数	開催数
平成30年	158	2,152
令和元年	155	1,711
令和2年	143	1,271
令和3年	132	1,177
令和4年	135	1,398
令和5年	135	1,510

## 地域助け合い事業(新たな社会資源の開発) ①

事業概要	<p>美作市社協が取り組むコミュニティソーシャルワークの実践には、既存の制度やサービスでは対応できない住民の福祉ニーズに対して、地域全体で考え、地域住民や福祉関係者、様々な団体等の協力を得ながら、その人らしい生活を支援していくために、必要な社会資源を創出していく働きかけが重要です。</p> <p>「地域助け合い事業」は、困った時はお互いさまの精神で、出来ることを出来る人で支えあう、住民参加による新たな社会資源の開発に向けた取り組みです。</p> <p>地域の特性を踏まえ、創意工夫をこらした様々な社会資源の開発に取り組んでいます。</p>
------	---

### 1. 緊急食料支援おむすび事業・フードバンク事業

事業概要	<p>美作市内に在住し、生活困窮状態にある世帯に対して、生活の立て直しの一時的な支援をするために、市民や企業等から食料品や生活用品の寄附を募り、寄附物品を給付します。</p> <p>給付対象者の相談に応じ、自立支援機関で長期的な生活の立て直しを図り、寄り添いながら自立に向けた支援を行います。</p> <p>市民に広く寄附を呼びかけるとともに、生活困窮者支援の実態を周知啓発します。</p>		
支援対象者	<p>現に経済的に困窮し、最低限の生活を維持することが困難な次の世帯</p> <p>①美作市社協で相談を受付けた世帯      ②美作市保健福祉部で相談を受付けた世帯</p>		
給付物品	玄米、その他長期保存が可能な食料品		
給付内容	<p>①米の給付は、一人一日2合で原則2週間分とし、家族構成により上限10kgまで</p> <p>②美作市の支援機関等からの要請があった場合は、状況により対応</p>		
寄附・給付状況	玄米	寄附物品総重量	2,461kg (令和4年度4,724kg) (延べ19,076kg)
		寄附者実人数	30人 (令和4年度: 63人)
		給付物品総重量	2,120kg (令和4年度: 1,868kg) (延べ12,521kg)
		給付実世帯数	58世帯 (令和4年度: 72世帯)
		その他給付	美作市社協「子どもの学習支援・居場所づくり事業」に充当
	食料品	寄附物品総重量	380kg (令和元年度から延べ2,998kg)
		寄附者実人数	5人    マックスバリュマルナカ美作店・美作お助け隊・幸輝会他
		給付物品総重量	616kg (令和元年度から延べ2,764kg)
		給付実世帯数	78世帯 (令和4年度81世帯)
		その他給付	子どもの学習支援・居場所づくり事業

### 2. 就学支援リユース事業

事業概要	<p>不要になった制服などを市民から寄附を募り、必要とする家庭に渡し、生活困窮世帯等の子供への就学支援として、美作市保健福祉部と協働し実施しています。</p> <p>寄附の募集は、美作市保健福祉部、美作市総合相談支援センター、社協地域ステーション等に寄せられた内容を社協広報紙により随時掲載しています。</p> <p>また令和5年度からは社協の公式LINEで提供を呼びかけています。</p>
支援対象者	美作市保健福祉部、美作市総合相談支援センター、社協地域ステーションに相談が寄せられた方
支援実績	4件 (勝間田高校・美作中学校・第一小学校)

3. 子どもの学習支援・居場所づくり事業



<p>事業概要</p>	<p>平成29年度より、生活困窮世帯やひとり親世帯等の小中学生の子どもに対して、学習支援や居場所の提供等を行い、学習意欲の向上や日常生活習慣・社会性・自己肯定感を育めるよう、市社協本所及び地域ステーションで「子どもの学習支援・居場所づくり事業」を実施しています。</p> <p>本事業は、主に作東地域の中高校の児童・生徒を対象に、主任児童委員や地区社協関係者、大学実習生の協力を得て、放課後、夏・冬・春休み、テスト期間等に行いました。</p> <p>また、令和5年度は勝田総合支所内図書室を新たな居場所として開設し、計画的に学習する習慣を身につけることができるよう環境を整えました。</p> <p>本事業は子どもや保護者、世帯全体の貧困の連鎖を防止するために、中学校・教育委員会・美作市保健福祉部と定期的な協議を行い、事業を進めています。</p>																																																																																						
<p>支援対象者</p>	<p>美作市内の中・高校生で、中学校や美作市保健福祉部が支援対象としている生徒とその兄弟姉妹</p>																																																																																						
<p>支援内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 学習支援：授業の予習・復習、日々の勉強の習慣づけ（学生ボランティアが協力）</li> <li>② 居場所の提供：ボランティア活動をしながら過ごせる居場所の提供</li> <li>③ 日常生活習慣：掃除・片付け、調理実習</li> <li>④ 昼食の提供（無料）</li> <li>⑤ ボランティア活動保険の加入（市社協負担）</li> <li>⑥ 子どもや保護者の相談援助</li> </ul>																																																																																						
<p>利用状況</p>	<p>■ 利用状況内訳</p> <table border="1" data-bbox="347 1227 1465 1346"> <thead> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受入日数</td> <td>9日</td> <td>5日</td> <td>7日</td> <td>13日</td> <td>20日</td> <td>13日</td> <td>5日</td> <td>8日</td> <td>5日</td> <td>4日</td> <td>3日</td> <td>14日</td> <td>106日</td> </tr> <tr> <td>利用者延べ人数</td> <td>16人</td> <td>5人</td> <td>8人</td> <td>24人</td> <td>44人</td> <td>16人</td> <td>6人</td> <td>10人</td> <td>8人</td> <td>6人</td> <td>4人</td> <td>22人</td> <td>169人</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 利用者状況内訳</p> <table border="1" data-bbox="347 1420 1465 1771"> <thead> <tr> <th></th> <th>学年</th> <th>性別</th> <th>延利用数</th> <th>関係機関による各世帯への支援内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>高校2年</td> <td>女</td> <td>0人</td> <td>市社協（日常生活自立支援事業・おむすび事業・フードバンク事業）</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>高校3年</td> <td>女</td> <td>5人</td> <td rowspan="2">市社協（日常生活自立支援事業・特定相談支援事・ヘルパー派遣） 生活保護受給者</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>中学3年</td> <td>女</td> <td>63人</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>高校1年</td> <td>女</td> <td>51人</td> <td>相談支援（なごみ）</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>中学1年</td> <td>女</td> <td>24人</td> <td>市社協（家計改善事業・おむすび事業・フードバンク事業）</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>高校2年</td> <td>女</td> <td>13人</td> <td>市社協（生活困窮事業）・相談支援（ほのか美作）・児童発達支援事業所（めばえ）</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>高校1年</td> <td>女</td> <td>13人</td> <td>市社協（参加支援事業）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td></td> <td>169人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	受入日数	9日	5日	7日	13日	20日	13日	5日	8日	5日	4日	3日	14日	106日	利用者延べ人数	16人	5人	8人	24人	44人	16人	6人	10人	8人	6人	4人	22人	169人		学年	性別	延利用数	関係機関による各世帯への支援内容	1	高校2年	女	0人	市社協（日常生活自立支援事業・おむすび事業・フードバンク事業）	2	高校3年	女	5人	市社協（日常生活自立支援事業・特定相談支援事・ヘルパー派遣） 生活保護受給者	3	中学3年	女	63人	4	高校1年	女	51人	相談支援（なごみ）	5	中学1年	女	24人	市社協（家計改善事業・おむすび事業・フードバンク事業）	6	高校2年	女	13人	市社協（生活困窮事業）・相談支援（ほのか美作）・児童発達支援事業所（めばえ）	7	高校1年	女	13人	市社協（参加支援事業）		合計		169人	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																																																																										
受入日数	9日	5日	7日	13日	20日	13日	5日	8日	5日	4日	3日	14日	106日																																																																										
利用者延べ人数	16人	5人	8人	24人	44人	16人	6人	10人	8人	6人	4人	22人	169人																																																																										
	学年	性別	延利用数	関係機関による各世帯への支援内容																																																																																			
1	高校2年	女	0人	市社協（日常生活自立支援事業・おむすび事業・フードバンク事業）																																																																																			
2	高校3年	女	5人	市社協（日常生活自立支援事業・特定相談支援事・ヘルパー派遣） 生活保護受給者																																																																																			
3	中学3年	女	63人																																																																																				
4	高校1年	女	51人	相談支援（なごみ）																																																																																			
5	中学1年	女	24人	市社協（家計改善事業・おむすび事業・フードバンク事業）																																																																																			
6	高校2年	女	13人	市社協（生活困窮事業）・相談支援（ほのか美作）・児童発達支援事業所（めばえ）																																																																																			
7	高校1年	女	13人	市社協（参加支援事業）																																																																																			
	合計		169人																																																																																				
<p>受入れ場所</p>	<p>美作市社会福祉協議会本所及び勝田地域ステーション（勝田総合支所図書室）</p>																																																																																						
<p>実施日</p>	<p>放課後・夏休み・冬休み・春休み・中間・期末テスト期間中等の延べ 106日間</p>																																																																																						
<p>受入れ人数</p>	<p>実人数：7人（女子7人） 受入れ延べ人数：169人</p>																																																																																						
<p>学校内訳</p>	<p>作東中学校、勝間田高校、誕生寺支援学校・ルネサンス高校</p>																																																																																						
<p>協力団体等</p>	<p>主任児童委員・作東地域社協・美作大学実習生・大学生ボランティア</p>																																																																																						

#### 4. 生活困窮者等緊急援護資金貸付事業

事業概要	緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった生活困窮者等に対し、小口の資金（5万円上限）を貸し付けることで自立更生を図ります。
貸付対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 生活困窮者自立支援法に基づき自立支援計画を策定されている世帯</li> <li>② 生活保護を申請し、生活保護費の支給開始までの世帯</li> <li>③ 日常生活自立支援事業利用者で会長が必要と認めた世帯</li> </ul>
貸付件数	4件（令和4年度：3件）
貸付金額	150,000円 ※ 貸付4件の内の3件は令和5年度中に償還済み。 残りの1件と令和2年度の2件は、令和6年度中に償還予定。

#### 5. 電動アシスト自転車等貸出事業

事業概要	<p>障害や生活困窮等の理由により、交通手段が制限され就労や通院等に支障をきたしている方に対して、美作市社協が所有する電動アシスト自転車等を無料で貸出し、生活支援と移動手段の確保を行っています。</p> <p>貸出車両等は、寄附金による購入と市民からの寄附物品を活用しています。</p>	
貸出対象者	<p>美作市に在住する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 美作市社協の各種相談事業を利用している方</li> <li>② 直ちに自ら自転車等が購入できない方</li> <li>③ 貸出により、本人の自立や生活の質の改善が図られる可能性がある方。</li> </ul>	
貸出期間	3カ月間（必要に応じて3カ月の延長あり）	
貸出状況	令和4年度：貸出件数4件、利用実人数2名      令和5年度：貸出件数11件、利用実人数7名	

#### 6. 福祉用具リユース事業

事業概要	<p>高齢による身体機能の衰えを理由に運転免許証を返納したり、運転を控えたりする人が増える中、地区社協などから移動が困難な人の足の確保を求める要望が上がり、家庭で不用になったシニアカー等の福祉用具を譲りたい人（提供者）と福祉用具を譲って欲しい人（譲受希望者）との橋渡しを行い、平成30年から福祉用具の有効活用に取り組んでいます。</p>	
対象用具	シニアカー（高齢者用の三輪または四輪の一人乗り電動車両）他	
譲渡希望者	 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 美作市に住所を有する方</li> <li>② 転貸・転売等営利を目的としない方</li> <li>③ 現に高齢や障害などにより福祉用具を必要としており、福祉用具を譲り受け、すぐに利用する予定のある方</li> </ul>	
料金等	<p>譲渡する福祉用具は無料 使用に関する整備、修理及び清掃等の費用は、譲受者の負担</p>	
譲渡状況等	譲渡件数：10件      譲渡希望者：28名	

## 重層的支援体制整備事業 ①

### 事業概要

重層的支援体制整備事業（以下「重層事業」という。）は、社会福祉法の改正により令和3年4月に創設された市町村の手あげに基づく任意事業です。

重層事業は、市町村において、従来の分野別（子ども・高齢者・障害者・生活困窮）の対象となりにくいケースやひきこもり、8050、孤独死、老々介護、ヤングケアラー、社会的孤立等、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、①相談支援（属性を問わない相談支援、多機関協働による支援、アウトリーチ等を通じた継続的支援）、②参加支援、③地域づくりに向けた支援を一体的に実施し、包括的な支援体制の構築に取組むものです。

美作市社協は、これまで国庫補助事業である「地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業」及び「重層的支援体制整備事業への移行準備事業」での取組みを生かすべく、令和4年度から重層事業を美作市より受託し、行政や支援機関、地域住民との連携・協働により、既存の支援体制の狭間にある問題などの解決に向けた取組みを行います。

### 重層事業の枠組み内容

重層事業における各事業の内容については、以下のように社会福祉法第106条の4第2項に規定されています。それぞれの事業は個々に独立して機能するものではなく、一体的に展開することで一層の効果が出るとされています。

支援区分	事業内容
I. 相談支援	①包括的相談支援事業（社福法第106条の4第2項第1号）
	②多機関協働事業（社会福祉法106条の4第2項第2号）
	③アウトリーチ事業（社会福祉法106条の4第2項第3号）
II. 参加支援	④参加支援事業（社会福祉法106条の4第2項第4号）
III. 地域づくりに向けた支援	⑤地域づくり事業（社会福祉法第106条の4第2項5号）

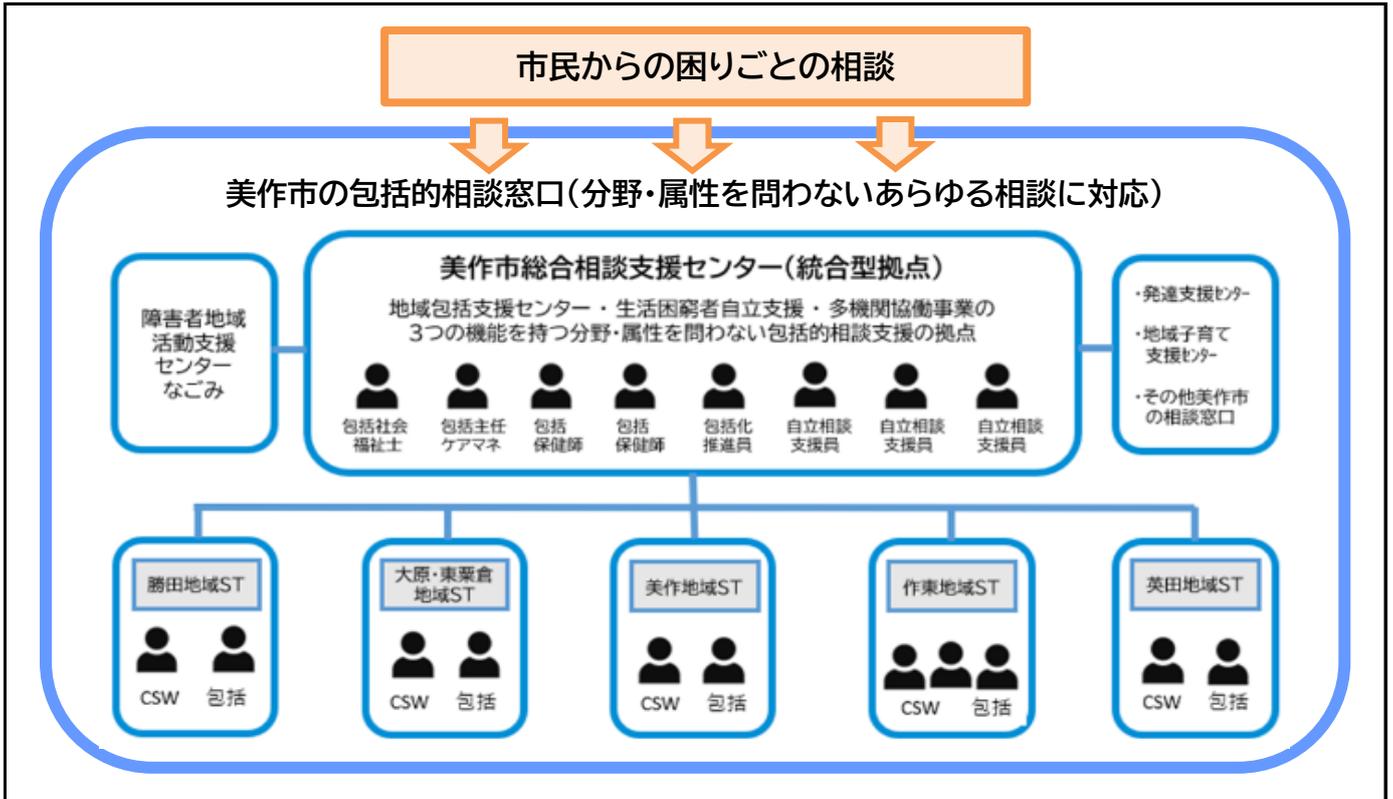
**I. 相談支援** は、包括的相談支援事業、多機関協働事業、アウトリーチを通じた継続的支援事業の3つの事業で構成しています。

「包括的相談支援事業」は、全世代包括的総合相談窓口である美作市総合相談支援センター及び社協地域ステーション、障害者地域活動支援センターなごみ、既存の行政等の相談窓口が、本人や世帯の属性に関係なく相談を受け止め、必要なサービスや支援につなぐ包括的な相談支援体制を構築します。

「多機関協働事業」は、包括的相談支援事業で受け止めた相談のうち、課題が複合化・複雑化しており、支援機関間の役割分担整理や全体調整が必要な場合、各支援機関の調整役を担う包括化推進員が支援会議や重層的支援会議を開催し、支援の方向性を定め、チームアプローチによる支援体制に取組めます。包括化推進員は、美作市総合相談支援センターに配置し、支援会議や重層的支援会議の事務局を担い、支援機関等との連携を図ります。「アウトリーチを通じた継続的支援事業」は、美作市総合相談支援センターや社協地域ステーションの専門職が、複合化・複雑化した課題を抱える世帯やSOSを発信できないひきこもり当事者やその家族、支援が届いていない人を訪問し、本人との信頼関係を構築しつつ必要な支援につなげられるよう働きかけを行います。

**II. 参加支援(参加支援事業)**は、生活困窮者や引きこもり、障害者等の社会的孤立者の中で、社会や地域との関わりに意欲が出てきた人を地域につなぎ戻していくための支援になります。仕事をしたり、地域行事に参加したり、本人に合った場を探して、そこで役割を見出せるよう働きかけを行います。本人のニーズと地域資源（就労や居場所、社会参加に向けた機会）を有効活用して社会とのつながりを回復できるよう支援会議や重層的支援会議で支援調整をし、プラン作成を行います。

**III. 地域づくりに向けた支援(地域づくり事業)**は、このような取組みを進めていく土台になる地域に対して、「サロン」「居場所づくり」「通いの場」「カフェ」等の既存の活動に、生活課題を抱える人が地域とつながりを持てるような機能を加えたり、社会的孤立の発生や深刻化防止のために、住民同士の関係性を育み、地域のつながりの再構築に向けた学びや交流、活動の場を整備し、地域づくりを併せて推進します。



I 相談支援

1. 包括的相談支援事業

包括的相談支援事業は、重層的支援体制整備事業の機能の一つで、分野・属性を問わないあらゆる相談を包括的に受け止め、必要な支援を行うものです。総合相談支援センターと社協地域ステーションを拠点に、高齢・障害・子ども・生活困窮など今までは各分野において実施されていた相談を、一体的に地域住民から幅広く受け止め、相談者の属性、世代、相談内容等に関わらず、本人に寄り添い、抱える課題の解きほぐしや整理を行いました。

包括的相談支援事業における令和5年度の実人数は272人で、令和4年度238人と比べ大きな変化はありませんが、相談延べ回数の月平均は130件弱で、令和4年度の約80件に比べ大幅に増加しています。コロナ禍からの経済活動は回復が進みましたが、予定していたほど収入が増えなかったり、物価上昇の影響で困窮状態が継続し、繰り返しの相談が増えていると思われます。家計相談、就労支援やフード&ライフドライブなど、社会福祉協議会の持つ様々な社会資源を活かしながら、早期に課題解決できるよう引き続き伴走支援を行います。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
総合相談支援センター	72	106	97	85	94	71	74	93	83	86	108	106	1075	640
勝田地域ST	17	12	20	10	13	6	4	7	10	7	15	14	135	72
大原・東地域ST	9	9	12	8	10	8	3	5	9	10	2	5	90	70
美作地域ST	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	0	10	20
作東地域ST	12	11	14	10	9	4	12	11	15	9	13	25	145	145
英田地域ST	1	6	17	4	6	5	7	6	9	8	12	3	84	33
合計	112	145	161	118	133	95	101	122	127	121	151	153	1539	980

■相談対応件数

包括的相談支援事業における延べ相談件数は1,539件になりました。全世代包括的相談窓口として設置した美作市総合相談支援センター及び社協各地域ステーションの広報活動を行った結果、総合相談支援センターだけでなく社協地域ステーションにおいても、継続的に相談が入っており、住民の生活圏域の身近な相談窓口として定着しつつあります。相談窓口として周知されたため、住民だけでなく関係機関からの相談も増え相談件数全体が増加しています。

## 重層的支援体制整備事業 ③

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間実人数	前年度
新規	19	14	13	8	11	12	17	14	9	13	11	21	162	171
継続	40	48	48	43	56	39	37	47	51	49	53	46	109	67
合計	59	62	61	51	67	51	54	61	60	62	64	67	271	238

### ■利用実人数

包括的相談支援事業における令和5年度の利用実人数は271人で、月平均60名の相談者があります。そのうち約30%は新規相談者で、伴走支援を継続しながら、新規の相談に対応しています。年間の相談実人数は令和4年度の238人と比べ大差はありませんが、相談延べ回数の月平均は130件弱で、令和4年度の約80件に比べ大幅に増加しています。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
相談 対応件数	面談	30	43	30	26	29	21	31	26	22	30	36	40	364	411
	訪問・同行	47	40	51	41	53	36	32	42	55	23	37	44	501	341
	電話	35	62	80	51	51	38	38	54	50	68	78	69	674	228
	合計	112	145	161	118	133	95	101	122	127	121	151	153	1539	980
相談経路	本人	90	107	111	87	97	71	69	72	96	71	96	95	1062	780
	家族	7	13	19	9	16	12	17	23	18	14	24	12	184	81
	関係者	15	25	31	22	20	12	15	27	13	36	31	46	293	119
	合計	112	145	161	118	133	95	101	122	127	121	151	153	1539	980
相談内容	高齢・介護	8	20	28	4	20	16	17	17	18	21	18	17	204	37
	障害	23	52	35	15	21	19	16	20	21	22	32	27	303	148
	子育て	1	1	0	9	6	0	0	1	2	2	6	3	31	8
	生活困窮	69	66	84	84	77	53	64	79	83	70	88	97	914	677
	多機関協働	4	1	6	6	3	6	3	5	3	3	1	5	46	39
	アウトリーチ	0	2	2	0	4	1	1	0	0	0	0	0	10	6
	参加支援	5	3	6	0	2	0	0	0	0	3	6	4	29	23
	その他	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	42
合計	112	145	161	118	133	95	101	122	127	121	151	153	1539	980	

### ■相談対応件数

相談対応の内訳は、来所の相談が24%、訪問による相談が32%、電話での相談が44%になります。電話相談が増えており、総合相談支援センターや社協地域ステーションが気軽な相談窓口として定着してきたものと思われます。半数は、来所や訪問による対面での相談で、課題の整理のために、相談者との関係性の構築や丁寧な課題の解きほぐしを行います。その人らしい自立した生活が送れるよう、専門職として本人に寄添った支援に重点を置いて支援を行っています。

### ■相談経路

相談経路の内訳は、課題を抱える本人からの相談が62%を占めています。本人からの相談が最も多いですが、昨年に比べ家族との相談が2倍、関係機関との相談が3倍弱と大幅に増加しています。

本人からの相談に対応するだけでなく本人を取り巻く家族へのアプローチや、関係者との連携・協働が増加しており、課題を抱える本人との関係だけではなく家族や関係者との良好なネットワークが構築されていると思われます。

### ■相談内容

経済状況は改善しつつありますが、ぎりぎりの生活のため、何かしらのつまづきで大きく生活が崩れ相談に来所されるケースもあり、突然の生活困窮の相談は相変わらず多いと思われます。また、長期に渡り家計の不安定さがストレスとなり、精神的に不安定になったりうつ症状を発症し保健師や、障害者地域活動支援センターなごみとの連携が必要な相談も多く、生活困窮、障害の相談が、全体の79%を占めています。

I 相談支援

2. 多機関協働事業

多機関協働事業は、既存の支援機関をサポートするとともに、支援に関わる関係者の連携の円滑化を図るなど、重層的支援体制整備事業の中核を担う事業です。美作市総合相談支援センターや各社協地域ステーション、既存の行政の相談窓口に寄せられた事例の中から、一つの世帯で介護や生活困窮、ひきこもり、ゴミ屋敷等の従来の分野別の支援方法では解決できない複雑化・複合化した事例について、多機関協働事業を実施します。

それぞれの課題に関わる支援機関を総合的にコーディネートする包括化推進員が「重層的支援会議」を開催し、支援機関等の連携による役割分担や支援の方向性の決定、参加支援事業やアウトリーチ事業などを組み合わせた支援プランを作成して適切な支援につなげます。地域や支援機関等が課題を把握してしながらも、本人の同意を得られない方（ひきこもり等）に対しては、「支援会議」の開催により、支援機関等の情報共有や必要な支援につなげるための検討を行います。必要に応じて、支援機関と連携しながら相談者本人に直接会ってアセスメントを行うなど、直接的な支援を行うこともあります。また、支援機関との連携を強化し、地域における地域生活課題等の共有を図り、新たな福祉サービスや社会参加に関する取組みについても検討を行います。

・重層的支援会議

支援機関等との情報共有にかかる本人同意を得たケースに関して、支援機関等の連携やプランの適切さ、支援の終結、資源の把握や創出等について検討するための会議

・支援会議

社会福祉法第 106 条の 6 に規定された会議であり、市町村が実施し守秘義務を設けることで、潜在的な相談者に支援を届けられるよう、本人の同意がない場合にも情報共有に基づく支援の検討等が可能な会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
相談受付件数	8	5	11	4	7	6	7	12	10	9	11	9	99	89
プラン作成件数	1	2	3	4	3	3	3	2	3	2	2	3	31	50
新規プラン作成件数	0	2	2	1	1	2	1	1	1	1	1	0	13	36
再プラン作成件数	1	0	1	3	2	1	2	1	2	1	1	3	18	14
終結件数	1	1	1	0	1	1	1	1	0	1	1	1	10	2
重層的支援会議の開催回数	0	1	1	0	1	1	1	1	1	1	2	2	12	18
社会福祉法に基づく支援会議の開催回数	2	2	3	4	3	3	3	2	2	2	1	2	29	34

■支援会議・重層的支援会議の開催、プラン作成件数

単独の支援機関では対応が難しい複合化・複雑化した事例に対して必要な支援を提供するため、アセスメントをもとに、支援機関の役割分担や支援の目標・方向性を決めるための支援会議や重層的支援会議を延べ41回開催しました。

重層的支援会議は、支援関係機関の調整、役割分担や方向性を整理し、チームアプローチによる支援体制の構築を図るために、必要に応じて構成メンバーを変更することで、より複層的な課題に焦点をあてた会議進行を行うことができました。会議のなかで支援の足りない部分に対して新たに支援者の追加を計画し、支援方針の見直しをその都度行い、プラン作成件数は延べ31件になりました。令和5年度は毎月3～4回の支援会議を開催しており、そのうち18回は支援方針の見直しのための会議であり、プランの見直しや、終結検討の件数は増加しており、プランの適正化や終結時の評価のための会議としてきちんと機能していると言えます。

■社会資源の充足状況の把握と開発に向けた検討

支援会議・重層的支援会議を開催したケースの中で、個別課題が地域課題でもあると感じられる場合、地域が課題解決のために何かできないか地区ケア会議や地域ケア会議の中で検討することも必要です。個別課題の分析等を積み重ねることにより、地域に共通した課題を明確化し、解決に必要な資源開発や地域づくりへとつなげるための取組みが今後求められます。

I 相談支援

3. アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

本事業は、長期に渡り「ひきこもりの状態にある」など、複雑化・複合化した支援ニーズを抱えながらも必要な支援が届いていない人や、支援につながることに拒否的な人に支援を届けるもので、本人と関わるための信頼関係の構築や、つながりの形成に向けた支援を行うこととされています。多くの事案は、本人から利用申込（本人同意）を得ることができない状態であることが想定されるため、総合相談支援センターや社協地域ステーションのCSW等の丁寧な働きかけや訪問等を行うことで、本人や家族との信頼関係を構築し、継続的な支援を通じたつながりづくりを目的に、以下の支援に取組みました。

- ① 支援機関や地域住民等の地域の関係者との連携を通じた情報収集
- ② 支援機関や関係者との事前調整
- ③ 支援対象者との関係性構築に向けた支援  
(手紙を置いたり、メール、支援情報等をチラシやリーフレット等で情報提供)
- ④ 家庭訪問及び同行支援  
(自宅への訪問等や他の相談窓口や職業体験ボランティア等に同行するなどして、本人やその世帯を取り巻く人間関係の拡充をサポート)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
プラン作成件数		0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	3	3
新規作成件数		0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	3
再プラン作成件数		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
最終結件数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実人数内訳 (単位：人)	新規	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	3
	継続	2	3	3	2	3	3	3	4	4	4	3	1	35	20
	合計	2	3	3	2	3	4	3	4	5	4	3	1	37	23
相談 対応件数	面談	3	4	3	1	2	2	2	1	3	1	2	1	25	22
	訪問・同行	1	0	1	1	1	2	1	2	4	3	2	0	18	7
	電話	0	0	0	1	2	2	2	2	0	0	0	2	11	4
	合計	4	4	4	3	5	6	5	5	7	4	4	3	54	33
相談経路	本人	0	0	0	0	0	2	1	2	2	2	1	0	10	0
	家族	3	3	4	3	4	4	2	2	3	2	2	1	33	27
	関係者	1	1	0	0	1	0	2	1	2	0	1	2	11	6
	合計	4	4	4	3	5	6	5	5	7	4	4	3	54	33
相談内容	引きこもり	1	2	2	1	2	3	1	3	5	3	2	0	25	33
	自殺企図	3	2	2	2	3	3	4	2	2	1	2	3	29	0
	生活習慣乱れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	家族関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	不登校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	4	4	4	3	5	6	5	5	7	4	4	3	54	33

■相談対応件数

相談対応件数は54件で、面談が25件、訪問・同行が18件、電話対応が11件となっており、相談を受け付けた後は、本人と関わるためのきっかけや方法の検討、本人に会う前の事前調整を行い、関係構築に向けた継続的な働きかけを行いました。直接本人と対面できないことも多く、家族から状況を把握したり、体調に配慮した手紙を渡したり情報を提供することで粘り強い間接的な支援を行いました。

■相談内容・支援プランの作成

令和5年度はひきこもり支援3ケースに対応し、新規プラン2件、再プランを1件作成しました。内訳は民生委員からの相談、家族からの相談、岡山県ひきこもり支援センターからの紹介によるものです。ひきこもり状態にある本人からの訴えがないため、支援に対する意思確認が難しく、家族もどう対応してよいかかわからず、家族自身も精神状態が不安定となり、本人と家族の両方の支援が必要となりになります。家族状況が改善しない苛立ちから、支援を拒否する場合もあり、医師、保健師と連携しながら今後も併走的な支援に取組みます。

II 参加支援

4. 参加支援事業

参加支援事業は、既存の制度では社会とのつながりを持つことが困難な個人や世帯に向けて、本人やその世帯のニーズや抱える課題などを総合相談支援センターや社協地域ステーションのCSWが丁寧に把握し、地域の社会資源や支援メニューとのコーディネートをしなが、必要な参加支援の場を提供するものです。

また、既存の社会資源への働きかけや拡充を図り、本人やその世帯の支援ニーズや状態に合った支援プランを作成し、マッチングした後は本人の状態や希望に沿った支援が実施できているかフォローアップ等をし、本人やその世帯と社会とのつながりづくりに向けた支援を行います。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
プラン作成件数	新規作成件数	0	0	2	0	1	1	1	0	0	1	0	0	6	8
	再プラン作成件数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
	合計	0	0	2	0	1	1	2	0	0	1	0	0	7	10
最終件数		0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
実人数内訳 (単位：人)	新規	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0	1	0	5	6
	継続	4	4	1	3	5	7	6	8	7	7	5	9	66	35
	合計	4	4	3	3	6	8	6	8	7	7	6	9	71	41
相談 対応件数	面談	1	2	2	0	4	3	3	0	2	1	2	5	25	20
	訪問・同行	2	4	1	2	5	12	8	6	6	3	3	5	57	52
	電話	2	1	2	2	5	3	4	7	5	5	2	2	40	9
	合計	5	7	5	4	14	18	15	13	13	9	7	12	122	81

■相談対応件数とプラン作成件数

本人のニーズと社会とのつながりを作るために、地域における社会資源との調整、社会参加に向けた機会を提供できるよう、個々のニーズに合わせた6件の参加支援プランを作成しました。社会参加を希望し参加支援事業となった新規のプランは5件、プランの見直し1件、社会との繋がりから最終したケースが2件でした。ケース数自体は前年度と大差ありませんが、相談対応件数は1.5倍と増加しており、それぞれのケースに対して丁寧に対応していることが窺われます。

社会との繋がりにつまづき孤立していたケースの背景を見ると、はっきりとした原因のないケースが5割であり社会生活へのつまづきは、誰にでも起こる可能性があります。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
相談経路	本人	3	5	3	4	11	17	9	6	10	9	6	11	94	64
	家族	1	0	0	0	0	0	1	3	3	0	0	0	8	7
	関係者	1	2	2	0	3	1	5	4	0	0	1	1	20	10
	合計	5	7	5	4	14	18	15	13	13	9	7	12	122	81
相談内容	病気・けが	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	障害	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	2	3	9	0
	自殺企図	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	生活困窮	1	2	0	0	7	5	3	2	2	1	2	2	27	29
	就職活動	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	5	7
	生活習慣の乱れ	0	0	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0	6	0
	ニート引きこもり	2	4	5	4	5	9	8	6	7	5	2	4	61	39
	家族関係	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3	0
	介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	子育て	0	0	0	0	0	0	0	3	3	2	1	0	11	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	合計	5	7	5	4	14	18	15	13	13	9	7	12	122	81

■社会参加への支援

相談当初は、家族よりも本人の方が積極的に就労や社会参加を希望していますが、生活習慣が整っていなかったり、引きこもり期間が長くなると、集団の中に入ることを躊躇したり、地域の視線が気になり自宅から出かけることが困難である等の理由から、社会参加に向けたマッチングを行っても、一般就労や既存の集いの場（サロンや認知症カフェ、コミュニティカフェ等）に参加することに抵抗を感じているケースが多くなっています。

<p>Ⅱ 参加支援</p>	<p><b>■ 社会参加に向けた多様な支援メニューや社会資源の開発</b></p> <p>ひきこもり支援には段階的な支援が必要とされており、美作市社協も以前から美作お助け隊のわーく・わーく事業の中で中間就労を実施してきましたが、わーく・わーく事業を終了しても次のステップに繋がらず、再度ひきこもってしまうケースもあり段階的な支援が難しいのが現状です。</p> <p>その背景には アルコール依存やうつ症状など社会参加を阻害するような課題を抱えるケースもあり、保健師や医療との連携も必要です。これまで美作市社協や美作お助け隊で行ってきた中間就労だけではひきこもりの方への段階的な支援が難しいことから、当事者が家から出ていける場所として、美作市社協本所がある作東長寿センター1階の集団検診室を利用し、コミュニティスペース「コラーレ」を「何をしても、しなくてもいい居場所」をコンセプトとして外に出ることや対人関係に不安がある方の居場所となるよう週1回定期開催しました。</p> <p>また、社協勝田ステーションでは、勝田総合支所内の空き部屋を子どもの学習支援や不登校の児の居場所として活用しています。</p>
<p>Ⅲ 地域づくり</p>	<p><b>5. 地域づくり事業</b></p> <p>地域づくり事業は、これまで地区社協活動等で行われてきた住民相互の支え合いによる共助の取組みの活性化を図りながら、「サロン」や「居場所づくり」「通いの場」「カフェ」等の既存の活動に、生活福祉課題を抱えた人が地域とつながりを持てるような機能を加え、住民同士の関係性を育み、地域のつながりの再構築に向けた学びや交流、活動の場を整備し、その土台となる地域づくりを推進する事業です。地域づくりを進めていくために、5つの取組みを重点的に取組めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①世代や属性を超えて交流できる場や居場所の整備</li> <li>②引きこもりや障害者等が、地域で活躍できる機会の創出</li> <li>③住民が主体的に地域課題を把握し解決を試みることができる体制づくり (地区社協の「地区ケア会議事業」や「おたがいさまネット事業」の活動支援。)</li> <li>④市内の小中高校生に向けた福祉教育や、地域のつながりの再構築に向けた住民の学びや交流の場の整備</li> <li>⑤住民が主体的に地域づくりに参加できるような広報・啓発活動の支援</li> </ol> <p><b>■ 世代や属性を超えて交流できる場や居場所の整備</b></p> <p>ひきこもりや様々な課題を抱えた人が、家族以外の第三者との交流ができる状態になるよう、安心して過ごせる居場所の運営を行いました。</p> <p>当事者が家から出て行ける場所として、コミュニティスペース「コラーレ」を作東長寿センターの集団検診室を利用し、毎週木曜日に定期開催しました。当事者には、LINEやInstagramで告知することにより若年層の参加が増えました。</p> <p>令和5年度は、開催回数47回、参加実人数13人、参加延人数は121人となりました。</p> <p><b>■ ひきこもりや障害者等が、地域で活躍できる機会の創出</b></p> <p>美作市社協が令和3年7月から取組んでいる「招(商)福連携による移動販売事業」を活用し、障害者やひきこもり等の社会参加の機会を提供しました。</p> <p>民間の移動販売事業者や就労継続支援事業所等が、高齢者や買い物難民の多い地域へ、食料品や日用品、事業所で収穫した野菜・加工品等を移動販売により届けるとともに、障害者やひきこもり等が販売員や補助員として参加し、社会参加や就労体験の場を提供しました。</p> <p>令和5年度は、ひきこもり24人、障害者7人の延べ189人が本事業に参加しました。これまで、支えられる立場であった人たちが、移動販売を通じて地域の高齢者を支える側になることで、誰もが地域の中で何らかの役割を持って共に暮らせる「地域共生社会」の実現に向けた地域づくりを推進しました。</p> <p>令和6年度は、出前相談から拾い上げた住民の困りごとを解決するために、障害者やひきこもり当事者が何らかの役割を持てるようコーディネートし、地域の担い手として役割を作ったり、移動販売を通じて地域住民と交流するなど、社会資源として幅広く活用していきます。</p>

Ⅲ 地域づくり

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
対応内容 (重複有)	打ち合わせ	10	20	17	14	11	14	12	21	4	9	16	18	166	135
	訪問・同行	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	6
	電話	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	4	12
	支援調整	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	16
	会議等の出席	7	19	11	18	17	14	19	21	15	11	18	30	200	115
	合計	17	39	31	33	31	28	32	42	19	20	34	48	374	284
具体的な 取組	交流の場/居場所整備	5	4	4	5	5	4	7	8	4	4	6	5	61	15
	活躍の機会の創出	0	1	1	1	4	0	0	0	0	0	0	0	7	43
	福祉会議	3	24	12	17	12	13	13	18	12	6	15	28	173	84
	見守り会議	0	6	0	2	2	4	2	4	0	3	5	6	34	31
	福祉教育	1	1	3	0	3	3	6	11	3	1	2	0	34	17
	地域福祉講座	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	4	12
	地区社協広報誌	2	0	0	2	1	1	1	2	2	1	3	0	15	7
	その他	0	1	1	0	1	0	2	0	1	1	0	1	8	1
	合計	11	37	21	27	28	25	31	43	22	17	32	42	336	210

■住民が主体的に地域課題を把握し解決を試みることができる体制づくり

住民の身近な圏域で、住民が主体的に地域課題を把握し、解決を試みる体制を支援するために、地区社協の「地区ケア会議事業」や「おたがいさまネット事業」の活動支援に取り組みました。地区ケア会議と見守り会議には、各社協地域ステーションのCSWと包括のステーション相談員が延べ198人出席しました。また、全ての地区ケア会議に美作市職員も出席し、市社協と行政が連携、協働し迅速に個別ケースの検討と地域課題の把握が行える体制を整えました。CSWは地区ケア会議の事前協議から参加し、住民の新たな気づきが具体的な活動に繋がるよう専門的なアドバイスをしたり、地区社協で策定した課題解決実施計画書に沿って活動が行われるよう側面的な支援を行いました。令和5年度は、地区ケア会議を美作市の地域包括ケアシステムの中核を担うケア会議として機能するよう、地区ケア会議の共通のテーマとして「救急医療情報キット」を取り上げ、現状と課題について協議を行いました。それにより、地区ケア会議で拾い出した住民の福祉ニーズが地区から地域、市へ循環し解決につながる流れを理解するとともに地域での見守りや繋がりを見直すきっかけとなりました。

※各地区社協の福祉会議の取組みは、本事業報告書19～27ページに掲載

■市内の小中高校生に向けた福祉教育と地域のつながりの再構築に向けた住民の学びや交流の場の整備

市内の小中高校生に向けた福祉教育では、障害のある当事者や障害理解を広めるために、本年度結成したボランティアグループ「美作えがお広め隊」や、介護施設職員と協働で福祉教育を行いました。生徒からは「障害があってもなくても困っている人がいたら声をかけたい。」「地域の人と良い関係を築き、お互いに意見や考えを出し合えれば良い地域になると思う。」などの感想が寄せられ、誰もが暮らしやすい地域を作るためにはどうしたらよいか考える機会となりました。地域共生社会とは日常的なつながりであったり、誰もが何らかの役割を持っていきいきと暮らししていくことを、生徒、教員ともに実感出来る授業となりました。社協職員だけでなく地域住民のボランティアや介護施設職員から話を聞くことで、地域にある施設のことも理解でき地域コミュニティの一員としての意識が芽生えました。

令和6年度も、教育関係者や福祉関係団体等と協働し、地域を基盤とした学習・体験・交流など様々な福祉教育を実践し、共生の地域づくりを推進してまいります。

■住民が主体的に地域づくりに参加できるような広報・啓発活動の支援

住民が主体的に地域づくりに取り組む地区社協の広報活動を支援するために、地区社協の広報誌作成を支援しました。広報誌の発行は、地区社協活動や行事、イベントを紹介することで、地域住民の福祉意識を高め地域福祉活動への参加協力を促進することにつながることから、広報誌発行の際には社協地域ステーションのCSWが情報提供や紙面についてアドバイスをし、啓発活動の支援を行いました。

令和5年度は、11地区社協で広報誌の発行が行われています。

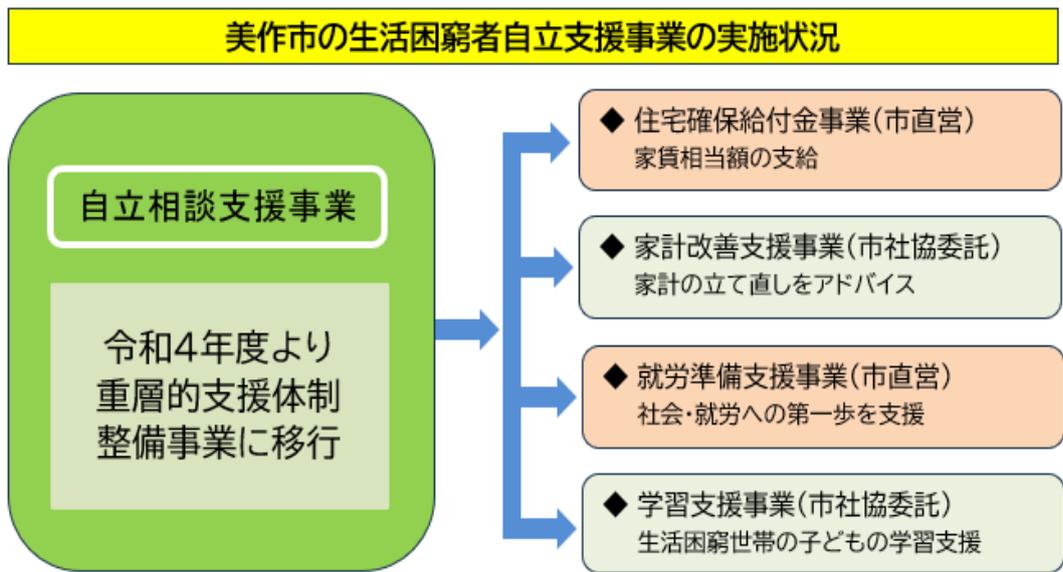
# 生活困窮者自立支援事業①

平成27年4月1日から施行された生活困窮者自立支援事業は、全国の福祉事務所を置く自治体の実施主体となり、失業や就職活動の行き詰まり等の事情で経済的な困窮状態に陥っている方（生活困窮者）を対象に、自立に関する相談支援や就労に関する支援を実施し、生活困窮者の「自立の促進」を図っていく制度です。支援内容は、現金給付ではなく、自立に向けた人的な支援を有期に提供することを基本としています。

美作市においても北山の福祉事務所を拠点に、生活困窮者自立支援法に基づく各事業が行われ、令和3年度からは、美作市社協が自立相談支援事業と家計改善支援事業、学習支援事業を美作市より受託し、美作市保健センター内に設置した「美作市総合相談支援センター」を拠点に、分野や属性にとらわれない包括的な相談支援を各社協地域ステーションとの連携を図りながら、生活困窮者の自立に向けた支援を行いました。

令和4年度からは、美作市が重層的支援体制整備事業を実施することになり、自立相談支援事業は重層的支援体制整備事業に編成され、美作市社協は生活困窮者自立支援事業の「家計改善支援事業」と「学習相談支援事業」を引き続き受託することになりました。

## 事業概要



## 事業内容

名称	美作市総合相談支援センター
設置場所	美作保健センター（美作市北山390-2）
開所日	毎週月～金曜日（土曜日及び日曜日、祝祭日、年末年始を除く）
事業内容	<p>①家計改善支援事業（市内全域を対象） 家計収支のバランスが取れていないなど家計に課題を抱えている方に、家計表やキャッシュフロー表等を用いて、自らの力で家計管理ができるようになるよう相談支援を行います。</p> <p>②学習相談支援事業（市内全域を対象） 生活困窮世帯の子どもの対象に、勉強の基礎づくりと居場所・仲間づくりを目的に、学習支援を行います。</p>
職員配置	美作市総合相談支援センター：家計改善支援員3名（社会福祉士） 社協各地域ステーション：家計改善支援員6名（社会福祉士） 美作市社会福祉協議会本所：学習相談支援員2名（社会福祉士）

家計改善支援の事業概要

総合相談支援センター及び社協各地域ステーションで、全世代包括的な相談窓口として幅広く市民の相談に対応し、家計改善支援事業申込者に対する相談支援を実施しました。  
 令和5年度の相談延べ件数は969件（令和4年度：577件）で、コロナ禍による経済・社会活動が回復傾向にある一方、未だその影響から抜け出す事が出来ない世帯や、急激な物価高騰の影響を受けている世帯などから家計に関する相談を受けました。  
 令和5年度の実人数は113人（令和4年度：128人）、新規利用者は12人（令和4年度：19人）で、新規相談者に対しては、信頼関係構築や課題整理に時間を要するため、短期間に複数回の相談を実施し、早期の課題解決に向け対応しました。  
 課題解決に向け実行に移す能力に困難さがある相談者や、複数の課題を抱える世帯に対しては伴走支援を行うとともに、本人のみならず、家族や住民、各機関など周囲へもアプローチし、生活再建に向けた支援を行っています。生活困窮状態にある相談者に対し、家計状況の把握や家計改善の意欲が高まるよう家計表を活用し、相談者を含む世帯全体の家計収支に関する課題の評価、分析を行い、状態に合わせた家計改善プランを69件作成しました。和5年度の終結件数は47件（令和4年度：37件）で、経済活動の回復とともに、数年にわたる伴走支援により当初目標を達成し終結となった世帯が増えました。

家計改善支援の実績

1) 支援実績

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
相談者実人数	11	36	40	40	39	32	26	28	35	33	31	43	
①面談	16	24	26	31	22	25	25	13	32	21	18	24	277
②訪問・同行支援	15	32	27	34	24	17	32	37	39	22	26	41	346
③電話相談・連絡	11	37	39	23	26	23	21	24	31	44	22	45	346
合計（①～③）	42	93	92	88	72	65	78	74	102	87	66	110	969

2) 相談内容

家計の相談	503件
生活困窮	187件
学費	19件
多重債務	71件
就労支援	45件
資金貸付	5件
医療費	22件
その他	117件
合計	969件

3) 家計改善プラン作成件数と終結件数

家計改善プラン作成件数	69件
新規作成件数	12件
再プラン作成件数	57件
終結件数	47件

学習支援事業の概要と実績

経済的な問題など、さまざまな家庭の事情により、十分な学習環境が不足していたり、学校や家庭以外での居場所を必要としている子どもを対象にした、学習教室と居場所を提供する事業です。令和5年度は、7名の中高生が登録。美作市社協本所に加え、勝田ステーションでも生徒を受け入れ、延べ169人の利用がありました。（41ページに再掲）

支援調整会議

生活困窮者自立支援事業は、生活困窮者の相談に対応し、本人の状態にあった支援プランの作成、評価を行い、関係事業との連携を含めた包括的な支援を行うものとされています。支援調整会議は、毎月1回主任自立相談員を中心に福祉政策課職員及び美作市社協職員等で支援プラン及び評価について調整を行いました。  
 令和5年度実績/ケース検討件数：145件 新規ケース件数：15件 終結件数：47件

# 美作市内の社会福祉法人等連絡協議会 ①

## 事業概要

平成28年の社会福祉法の改正により、全ての社会福祉法人に「地域における公益的な取組を実施する責務」として、日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者に対して、無料もしくは低料金で新たな福祉サービスを積極的に提供するように努めなければならないことが規定されました。

美作市社協は、法改正を受け、一つの社会福祉法人ではできない制度の狭間にある新たな福祉ニーズを市内の社会福祉法人等が連携・協働し、地域の公益的な取組を進めるための協議会設立を市内の社会福祉法人等に働きかけ、平成29年6月1日に12法人14事業所で組織する「美作市内の社会福祉法人等連絡協議会」を設立しました。

令和5年度もコロナ禍により、役員会、作業部会の開催が難しい状態でしたが、活動が7年目を迎え、関係者を中心に周知が図られたことから、フード&ライフドライブ事業の寄附量と、わーくわーく事業は安定的な利用があります。

## 美作お助け隊

美作市内の  
社会福祉法人等  
連絡協議会

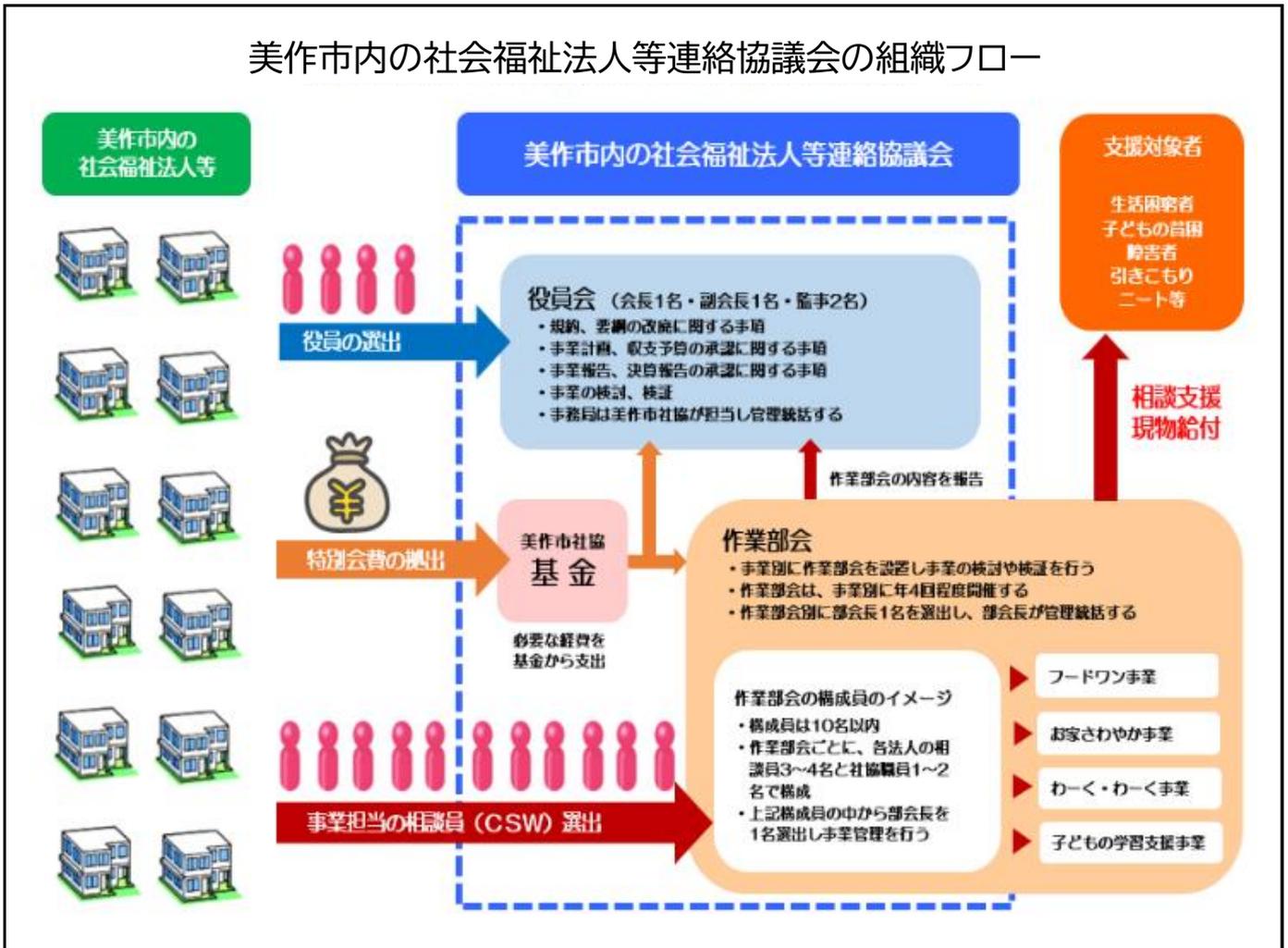
## 参加法人等

法 人 名		事 業 所 名
1	社会福祉法人 日本原荘	ケアサービスセンターかつた
2	社会福祉法人 経山会	特別養護老人ホームやすらぎ荘
3	社会福祉法人 幸輝会	特別養護老人ホームみまさか園
4	社会福祉法人 幸輝会	特別養護老人ホーム作東寮
5	社会福祉法人 光風福祉会	特別養護老人ホーム蛍流荘
6	社会福祉法人 鶯園	特別養護老人ホームロマンシティあいだ
7	社会福祉法人 鶯園	デイサービスセンター湯郷・グループホーム湯郷
8	社会福祉法人 勝明福祉会	障害者相談支援センターほのか
9	社会福祉法人 勝明福祉会	就労継続支援A型福祉の店きずな
10	社会福祉法人 津山みのり学園	児童発達支援事業所めばえ
11	特定非営利法人 ワークサポート	
12	特定非営利法人 地域生活支援センターみまさか	
13	NPO法人 美作自立支援センター	
14	特定非営利法人 むすびこぶ	
15	社会福祉法人 美作市社会福祉協議会	

## 事業概要

基本方針	参加社会福祉法人等は、相互の連携を図り、制度の狭間のニーズや複合的な課題に対して、地域が必要とする新たな福祉サービスの開発及び支援を行い、地域の社会資源として役割を果たす。
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>①社会福祉法人等が主体的になって地域のセーフティネットの役割を果たす</li> <li>②制度の狭間のニーズや複合的な課題に対して、制度の枠組みを超えて、その人に必要な支援を行う</li> <li>③各社会福祉法人等の専門性を有効活用し、複数の社会福祉法人等や地域の関係団体と連携することにより支援する</li> <li>④地域が求める福祉ニーズに応じるため、市内の社会福祉法人等がネットワークを構築し、新たな福祉サービスを開発・提供する</li> <li>⑤社会福祉法人等が、地域の福祉資源として機能するよう役割を果たす</li> </ul>
支援対象者	社会福祉法人等の利用者及びその世帯、又は地域で生活する上で困難を抱えている方

美作市内の社会福祉法人等連絡協議会の組織フロー



<p>実施事業</p>	<p>生活困窮者等に対し、次の事業を一体的に提供するため作業部会を設置し、寄添い支援を継続しながら一般就労に繋ぐ。また福祉ニーズに柔軟に対応し、新たな福祉サービスの開発に取り組む。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①フードワン事業（フード＆ライフドライブ、生活困窮者等への配食サービス事業）</li> <li>②お家さわやか事業（ゴミ屋敷清掃事業）</li> <li>③わーく・わーく事業（生活困窮者等の就労訓練事業）</li> <li>④子どもの学習支援・居場所づくり事業（生活困窮世帯の中学生の学習支援と居場所）</li> </ol>
<p>会議</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①総会：6月</li> <li>②役員会：年3回程度（役員会の事務局は美作市社協が担当） ・各法人から役員1名を選出し、会長・副会長・監事を設置</li> <li>③作業部会：随時開催 ・各法人から相談員1名がいずれかの作業部会に参加し、実施する事業の調査、検討を行う</li> </ol>
<p>参加法人費</p>	<p>参加法人から法人会費を拠出し、協議会の事業費に充当する。 法人均等割負担金10,000円 + (1,000円 × 職員数) ※職員数は、前年度の週40時間勤務の職員数</p>



## 美作市内の社会福祉法人等連絡協議会 ③

	期日・会場	内 容
役員会等 開催状況	令和5年6月29日 作東長寿センター	美作お助け隊 総会 ・令和5年度事業計画・予算について ・令和4年度事業報告・決算について ・会長・副会長・監事の選任について ・役員選出・作業部会の構成員について
	令和6年3月 書面決議	役員会（書面決議による開催） ・令和6年度事業計画（案）、収支予算（案）について ・令和6年度会費（案）について ・作業部会の報告
作業部会	作業部会は、美作お助け隊参加法人の職員で組織する事業部隊で、各法人の利用者やその世帯等から支援対象者を拾い出し、アセスメントシートを元に4つの事業に結び付けながら、衣食住の生活の自立に向けた受理調整会議や事例検討、事業検証を行っています。美作市社協からは、各作業部会に1名の職員を配置し、事務局的作用を担っています。 また、支援者ニーズに対応するための新たな福祉サービスの企画・立案についても随時協議が行われました。（延べ3回開催）	① フードワン事業作業部会（構成メンバー：4法人 5名） 随時グループラインにて情報共有
作業部会 の 開 催 状 況		② わーく・わーく事業作業部会（構成メンバー：6法人 7名） 第1回 令和5年6月29日 支援後・支援中の状況報告、新規ケース検討、報告書見直し 第2回 令和5年12月14日 支援後・支援中の状況報告、新規ケース検討 第3回 令和6年3月26日 支援後・支援中の状況報告、新規ケース検討
		③ お家さわやか事業作業部会（構成メンバー：6法人 7名） 要望がなく、部会なし
講 演	岡山県内での先進的な取組として、お助け隊の取組紹介を行いました。  令和5年度 第2回市町村域における社会福祉法人ネットワーク連携・協働促進会議 期 日：令和6年2月9日 会場：岡山県社会福祉協議会 発表者：福祉のまちづくり推進課 松本課長	
広 報 活 動	美作お助け隊の地域公益活動を広く市民に伝えるために、本会広報紙、みまちゃんネルを活用して広報活動に取り組みました。地道な広報活動を継続することにより、市民を始め地区社協や福祉関係者からの要援護者の情報提供も増えています。	



## 1. フードワン事業(生活困窮者等への配食、フード&ライフドライブ)

### ■生活困窮者等への配食

#### 1) 事業概要

各法人が行う事業の中で生活困窮者等を発見し、活力をつけてもらうための弁当を無料で配布することにより（月～金曜日）、生活の自立に向けた支援を行う。弁当は自立に向け段階的に有料とする。

#### 2) 利用料（最長6ヵ月実施）

2ヵ月までは無料。以後1ヵ月経過毎に段階的に有料とし、4ヵ月以降は400円。

- ・1日～2ヵ月：無料
- ・2ヵ月～3ヵ月：200円/食
- ・3ヵ月～4ヵ月：300円/食
- ・4ヵ月以降：400円/食

#### 3) 支援対象者

各法人が必要と認めた者、市生活困窮担当者等が必要と認めた者（生活保護申請後受給開始までの者）

#### 4) 事業実績

令和5年度：実施なし（これまでの実施数：12件）

### ■フード&ライフドライブ

#### 1) 事業概要

住民等から余剰食材等の寄附を受け、食事に困っている生活困窮世帯等に食料品を提供する。全参加法人が、食料品の受入れ場所になることで、社会福祉法人が住民にとって身近な福祉施設として認識され、地域との関わりを積極的に持つ機会に繋げ、住民と社会福祉法人の協働による生活困窮者等への支援の仕組みを作る。

#### 2) 実施状況



第1回：令和5年8月21日～9月9日 食品・日用品：1,059品、598kg



第2回：令和6年1月10日～19日 食品・日用品：782品、155.4kg

3) 給付実世帯数：78世帯 給付物品総重量：616kg



事業実施状況

2. わーく・わーく事業(生活困窮者等への就労訓練事業)

1) 事業概要

各法人の利用者や世帯等の中で就労訓練が必要な者を、美作市の生活困窮者相談窓口  
に繋ぎ、各法人が就労支援事業者として中間就労の受入れをし、一般就労に向けた支  
援を行う。

2) 支援対象者

美作市自立相談支援事業で、就労訓練事業(中間的就労)の利用が適当であると行政  
が認めた者

3) 就労支援事業所登録法人: 6法人9事業所

- |                      |                  |
|----------------------|------------------|
| ①日本原荘 ケアサービスセンターかつた  | ②特別養護老人ホームやすらぎ荘  |
| ③幸輝会 特別養護老人ホームみまさか園  | ④特別養護老人ホーム作東寮    |
| ⑤光風福祉会 特別養護老人ホーム蛍流荘  | ⑥鶯園 デイサービスセンター湯郷 |
| ⑦鶯園 特別養護老人ホームソフィアあいだ | ⑧美作市社会福祉協議会大原事業所 |
| ⑨美作市社会福祉協議会          |                  |

4) 受入れ期間及び時間

本人の状況により個別に設定(3~6か月、週2日1日2時間など)

5) 業務内容等

各法人で提供できる清掃作業、洗濯物たたみ、配膳、洗車等軽作業、  
招(商)福連携による移動販売事業他

6) 費用弁償等

費用弁償として一人当たり総額52,000円を現金支給。  
※個別プランにより、1回あたりの支給額・就労時間等を変更

7) 事業実績

- ・実人数: 7名(内訳)引きこもり3名、障害4名
- ・受入れ総日数: 96日
- ・受入れ後の状況: 一般就労: 2名、継続利用: 4名、継続支援: 1名
- ・受入れ法人: 4法人
- ・受入れ状況と事業終了後の当事者の状況

- ①美作市社会福祉協議会作東ST(4月10日~5月29日) 受入期間: 14日  
60代女性。生活困窮。約40年間専業主婦のため就労経験無。子どもが自立し、  
役割喪失によるうつ病発症。わーく・わーく実施期間中に総合支所の清掃業務  
に就労。現在も継続中。
- ②蛍流荘(6月19日~10月23日) 受入期間: 26日  
40代女性。生活困窮。就職するがすぐ退職。その後も就労できず、B型作業所  
を利用。一般就労を目指す不安感が強く本事業を利用。事業終了後蛍流荘で  
週2回程度の勤務を継続。
- ③蛍流荘(11月11日~1月25日) 受入期間: 26日  
40代男性。腰痛を理由に退職。うつ状態になり5年間無職。ブランクが長いた  
め、本事業の利用を希望。事業終了後、蛍流荘にパート雇用されるも、数日で  
退職。今後他社の面接予定。
- ④美作市社会福祉協議会作東ST(6月29日~利用中) 受入期間: 10日  
10代男性。通信制の高校に進学するも数日登校しその後引きこもり。本人はア  
ルバイトを希望したが、本人の特性等状況的に難しく、保健師が本事業を紹介。  
精神的に不安定な部分があり、来れなくなる時期もあるが、現在も利用継続中。
- ⑤みまさか園(10月19日~利用中) 受入期間: 11日  
20代女性。山村シェアハウス入居者。発達障害有。大学休学。アルバイト退職。  
本人は再度アルバイトを希望しているが、その前に本事業の利用を希望。精神的  
な浮き沈みがあり一時休止することも再会し、R6.4からは体験内容を変更する  
ため、社協で実施予定。
- ⑥美作市社会福祉協議会作東ST(2月27日~利用中) 受入期間: 8日  
20代女性。元山村シェアハウス入居者。一般就労するも、事故等により精神的  
に落ち込み退職。その後、B型作業所等へ繋がるも安定的な利用が困難。計画相  
談より紹介され事業を利用。休むこともあるが継続利用中。



事業実施  
状況

⑦やすらぎ荘（3月18日～利用中） 受入期間：1日  
60代女性。生活保護世帯。約20年就労経験無。足腰の痛みを訴え就労に不安があり、本事業の利用を希望。

わーく・わーく事業の過年度受入

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	合計
事業利用者数	2人	3人	4人	10人	7人	5人	7人	34人
生活実態	ひきこもり:2	ひきこもり:2 精神障害:1	ひきこもり:2 生保受給者:1 不登校:1	ひきこもり:5 不登校:1 精神障害:2 発達障害:2	ひきこもり:5 不登校:1 精神障害:2 発達障害:3	ひきこもり:2 発達障害:2	ひきこもり:3 精神障害:3 身体障害:1	
受入施設	高齢者施設:2	高齢者施設:2 美作市社協:1	高齢者施設:1 美作市社協:3	高齢者施設:3 障害者施設:1 美作市社協:6	高齢者施設:3 障害者施設:1 美作市社協:7	高齢者施設:3 障害者施設:1 美作市社協:2	高齢者施設:4 社協:3	
一般就労等移行者数	1人	2人	3人	5人	3人	3人	2人	19人
就労先	特養介護員	土木作業員 特養清掃作業員	警備員 特養清掃作業員 弁当配達員	警備員 特養介護員 工場作業員 GS店員 コンビニ店員	スーパー量販店 就労継続B型	特養介護員 就労継続B型 ギフトショップ	特養介護員 清掃業務	
就労率	50%	66%	100% 継続1名除く	63% 継続2名除く	43%	75% 継続1名除く	67% 翌年継続4名除	63%

3. お家さわやか事業(ゴミ屋敷清掃事業)

1) 事業概要

各法人が行う事業の中でゴミ屋敷状態にある世帯を発見し、法人職員のマンパワーを活かして清掃作業を行う。また本人の抱える生活上の課題解決に向け支援する。

2) 支援対象者

各法人が必要と認めた者（生活困窮者・障害者・認知症の者）。但し、清掃作業を通して自立を促せる可能性がある者、又は行政関係者や関係機関等の関わりが既にあり、その支援の一部として必要な者。

3) 事業実績

・R5は活動実績なし ・これまでの活動件数：12件

4. 子どもの学習支援・居場所づくり事業

1) 事業概要

健全な育成環境を維持することが困難な世帯等の子どもが、ボランティア活動に参加することで、役割を持つことや他人から感謝される経験を通じて自己肯定感を高めるとともに、基本的な生活習慣を身につけ、いじめの対象や不登校にならないよう支援する。

2) 支援対象者

美作市内の小中高校生で、学校や美作市保健福祉部が支援対象としている児童生徒

3) 事業実績

・実施場所：美作市社協本所（作東長寿センター内）、美作市立勝田図書館  
・開所日数：106日 ・利用実人数：7名 ・利用延人数：169名

4) 関係機関等との情報共有、役割共有

生徒のスムーズな受入れ、学生生活の維持、世帯全体の支援をするため下記の関係機関とケース会議、訪問、来所、電話等で情報共有、役割共有等を図った。  
作東中学校、誕生寺支援学校、美作塾、美作市保健福祉部、  
スクールソーシャルワーカー、地域活動支援センターなごみ、主任児童委員、  
地域のボランティア（行事等支援、学習支援）、大学生ボランティア

美作お助け隊

美作市内の  
社会福祉法人等  
連絡協議会

事業実施  
状況

# 招(商)福連携による移動販売モデル事業①

商業と福祉の連携による福祉のまちづくり事業

## 招(商)福連携による移動販売

美作市社会福祉協議会は、高齢者等の買い物困難者への支援と障害者等の社会参加・障害者理解、市民が気軽に困り事を相談できる環境づくりの3つの異なる課題を、「商業と福祉」が連携し、解決につなげる「招(商)福連携による移動販売事業」を令和3年7月より開始します。

この事業は、移動販売を通じて、商業の活性化と福祉の充実を図るための新しい取組みであり、事業の趣旨に賛同し、参加して頂ける民間事業者・作業所・商店の皆様を募集しております。



**高齢者の課題**

- 高齢化と高齢化の進む地域が増えています。
- 高齢者を中心に、買い物に困っている方が増えています。
- 住民同士の交流の場が減っています。

**障害者の課題**

- 障害者の困り手が、もっと必要です。
- 障害者と住民の交流の場や社会参加の場が必要で。
- 障害者への理解が、なかなか進みません。

**相談先の課題**

- 地域の福祉ニーズが複雑・多様化しています。
- 市民の困り手を早期発見・早期対応する仕組みが必要で。
- 身近に相談できる場がもっと必要で。

移動販売を通じて、3つの課題の解決を図ります。

美作市社協は、高齢者等の買い物困難者への支援と障害者等の社会参加・障害者理解、市民が気軽に困り事を相談できる環境づくりの3つの異なる課題を、移動販売を通じて「商業と福祉」が連携し解決を試みる「招(商)福連携による移動販売モデル事業」を令和3年7月13日に立ち上げました。

本事業は、民間の移動販売事業者（マルナカ美作店）や勝英管内の就労継続支援事業所等が、高齢者や買い物難民の多い地域へ、食料品や日用品、事業所で収穫した野菜・加工品等を移動販売により届けるとともに、移動販売のスタッフとして障害者や引きこもり、ニート等生活に課題を抱える人が販売員や補助員として社会参加や就労体験する機会を提供します。また、移動販売に美作市社協や地域包括支援センターの専門職員も定期的に行き、市民の様々な相談に対応する「出前相談」を行い、困りごとを抱える世帯や個人の早期発見・早期対応の環境づくりにも取組み高齢者や障害者、地域の様々な人が集まる福祉コミュニティの場を移動販売を通じて作ります。そして、これまで、サービスを受ける側（支えられる側）であった障害者等が移動販売を通じて地域の高齢者を支える側になる機会を作ること、誰もが地域の中で役割を持って共に暮らせる「地域共生社会」の実現を本事業で目指します。

また、毎月2回、美作市障害者地域活動支援センターなごみの利用者に、販売の補助業務を通じた地域住民との交流や社会参加の機会を提供しており、当事者の自立と自己実現を図りながら、長期的な視野で就労継続支援A型・B型事業所に繋ぐ活動にも取り組んでいます。

事業者名		事業種別	運行日
移動販売参加事業者	マックスバリュ西日本株式会社 マルナカ美作店	食料品販売量販店	火・水・金・土
	社会福祉法人 勝明福祉会	障害者就労継続支援事業所	不定期
	NPO法人 美作自立支援センター	障害者就労継続支援事業所	不定期
	NPO法人 ワークサポート	障害者就労継続支援事業所	不定期
	NPO法人 山村エンタープライズ	ひきこもり等のケアハウス	月2回
	障害者地域活動支援センターなごみ（社協受託）	障害者地域活動センター I 型	月2回
	社会福祉法人 美作市社会福祉協議会		
実施状況	移動販売実施地域	東粟倉地域	
	実施日	毎週4回（火・木・金・土）マルナカ美作店移動販売車に同行	
	立寄り場所	東粟倉地域の各区長から依頼された場所19カ所	
	移動販売車運行回数	206回（マルナカ美作店：令和5年4月1日～令和6年3月31日）	
	なごみ利用者活動状況	参加日数：21日 参加実人数：6人 延べ人数：34人	
	社協出前相談実施回数	10回（社協大原地域ステーションCSW・包括ステーション相談員）	
	事業者の参加状況	5事業者が延べ45回参加	
	職員・当事者参加延人数	189人	
	参加した当事者の実人数内訳	ひこもり24人、障害者7人	

赤い羽根  
福祉基金  
2023年度  
助成事業

中央共同募金会が行う「赤い羽根福祉基金2023年度助成事業」に本事業を応募したところ、「生きづらさを抱えた人をはじめ多様な主体の参画による地域共生を目指した事業として、中山間地域における課題解決に向けたモデル性が高い」と評価され、280万円の助成金を受けることになりました。  
助成金により、移動販売のコーディネーターを配置することができ、当事者の参加調整や、市内の就労継続支援事業所で生産した野菜や加工品等の販売代行の仕組みづくりが行えました。



誰もが支えたり、支えられたりする社会の実現に向けて、移動販売に参加しているひきこもり等の若者が、自分たちの得意なことを活かして、地域住民のちょっとした困りごとの解決に取り組んでいます。活動が2年目を迎え、定期開催できるようになってきています。  
参加した当事者からは「普段自分が支援を受けてお礼を言うことが多い。自分も地域の人の役に立てて、ありがとうと言ってもらえることが嬉しい」という感想があります。

①「スマートフォン相談コーナー」

年間相談件数：10件

地域の高齢者の中には、スマホの使い方がわからないといった課題を抱えている方がおり、普段からスマホを使いこなしている若者（ひきこもりの方等）が、移動販売時に、基本的な操作や機能の設定などの説明を行うスマートフォン相談コーナーを移動販売の立寄り場所に設置しています。実際に、地域の高齢者からわからないところや悩みの相談を受けて解決することができています。



②「犬の散歩代行サービス」

年間実施回数：12回

地域の高齢者の方から「犬の散歩に行くのが辛い、もう少し長く散歩をしてあげたいが難しい」などの相談を受け、移動販売に参加している若者が犬の散歩代行を行っています。依頼者からは、「散歩を頼んでよかった。散歩を依頼することで誰かの社会参加の役に立てるのならばぜひ協力したい。」と言った声も聞かれ、当事者理解にも繋がっています。



③「山椒の実取りのお手伝い」

東栗倉地域の特産品である山椒の実の収穫は手摘みで行う大変な作業です。昨年に引き続き収穫のお手伝いしました。地域の方に取方のコツを教えてもらいながら、作業を行いました。

地域の方からも「助かったわ。ありがとう。」と労いの言葉をかけていただきました。収穫した山椒の実のおすそ分けもいただき、調理実習に活用しました。



地域共生社会の実現に向けた取組

## 地域包括支援センター事業 ①

<p>事業概要</p>	<p>令和3年度から、美作市より地域包括支援センター事業及び地域支援事業の一部を受託実施しました。</p> <p>地域包括支援センター事業には、主に下記の4つの機能があり、在宅高齢者とその家族の介護、生活支援、介護予防、権利擁護など、日常生活における各種の在宅介護に関する総合相談に対応するとともに、要支援認定者の介護予防プラン作成や居宅介護支援事業者への支援、高齢者の虐待防止や権利擁護等の諸問題に取り組みました。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li><b>1. 総合相談支援</b> 介護・福祉・医療など、高齢者や家族に対する総合的な相談支援</li> <li><b>2. 権利擁護</b> 虐待や早期発見・防止、成年後見制度利用の支援、消費者被害の防止など</li> <li><b>3. 包括的・継続的ケアマネジメント支援</b> 介護支援専門員への支援・困難事例への支援、関係機関のネットワークづくり</li> <li><b>4. 介護予防ケアマネジメント</b> 指定介護予防支援事業所として、事業対象者や要支援認定者のケアマネジメント</li> </ol> <p>事業実施に当たっては、地域の高齢者等の生活を総合的に支えていくための拠点として美作保健センター内に設置した、美作市総合相談支援センターと市内5カ所の地域ステーション（社協地域ステーション）の保健師、社会福祉士、介護支援専門員等の専門職が、美作市はじめ、保健・福祉・医療等の関係機関や民生委員等の地域福祉関係者との連携を密にして、利用者それぞれのニーズに対応した適切なサービスを総合的に受けられるよう取り組みました。</p>																								
<p>受託事業区分内訳</p>	<p>1. 地域包括支援センター事業</p>	<p>(1) 総合相談支援業務 (2) 権利擁護業務 (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 (4) 介護予防ケアマネジメント</p>																							
	<p>2. 生活支援体制整備事業</p>	<p>生活支援コーディネーターの配置、協議体設置運営</p>																							
	<p>3. 地域ケア会議推進事業</p>	<p>地域ケア会議（6地域）、地域ケア個別会議</p>																							
	<p>4. 任意事業</p>	<p>家族介護支援事業（介護教室の開催） 福祉用具・住宅改修費支援事業 地域自立生活支援事業</p>																							
	<p>5. 単市地域支援事業</p>	<p>「食」の自立支援事業、生活管理指導員派遣事業 生活管理指導短期宿泊事業</p>																							
<p>事務所の位置 職員配置状況</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事務所の名称</th> <th>職員数</th> <th>所在地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>美作市地域包括支援センター</td> <td>2名</td> <td rowspan="3">美作市北山390-2 美作保健センター内</td> </tr> <tr> <td>美作地域ステーション</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>美作市介護予防支援事業所</td> <td>7名</td> </tr> <tr> <td>勝田地域ステーション</td> <td>1名</td> <td>美作市真加部1616 勝田総合支所内</td> </tr> <tr> <td>大原・東栗倉地域ステーション</td> <td>1名</td> <td>美作市古町1850-1 大原保健センター内</td> </tr> <tr> <td>作東地域ステーション</td> <td>1名</td> <td>美作市江見280 作東長寿センター内</td> </tr> <tr> <td>英田地域ステーション</td> <td>1名</td> <td>美作市福本810-2 英田総合支所内</td> </tr> </tbody> </table>	事務所の名称	職員数	所在地	美作市地域包括支援センター	2名	美作市北山390-2 美作保健センター内	美作地域ステーション	2名	美作市介護予防支援事業所	7名	勝田地域ステーション	1名	美作市真加部1616 勝田総合支所内	大原・東栗倉地域ステーション	1名	美作市古町1850-1 大原保健センター内	作東地域ステーション	1名	美作市江見280 作東長寿センター内	英田地域ステーション	1名	美作市福本810-2 英田総合支所内		
事務所の名称	職員数	所在地																							
美作市地域包括支援センター	2名	美作市北山390-2 美作保健センター内																							
美作地域ステーション	2名																								
美作市介護予防支援事業所	7名																								
勝田地域ステーション	1名	美作市真加部1616 勝田総合支所内																							
大原・東栗倉地域ステーション	1名	美作市古町1850-1 大原保健センター内																							
作東地域ステーション	1名	美作市江見280 作東長寿センター内																							
英田地域ステーション	1名	美作市福本810-2 英田総合支所内																							
<p>有資格者内訳</p>	<p>保健師：3名 主任介護支援専門員：3名 社会福祉士：3名 介護支援専門員：6名</p>																								

## 1. 地域包括支援センター事業

### (1) 総合相談支援業務

令和3年度から、地域包括支援センター事業と生活困窮者自立支援事業の機能を持つ分野・属性を問わない総合相談窓口として、美作保健センター内に設置した「美作市総合相談支援センター」を拠点に、市内5カ所にある地域ステーションとの連携を図りながら、本人や家族からの相談や地域住民や関係機関等からの情報提供により、令和5年度は、新規実人数が514件で、延べ6,063件（前年度5,976件）の相談に対応しました。

総合相談の内容は、介護サービス利用に関するものが多く占めていますが、高齢者本人のみならず、障害や生活困窮など複合的な課題を抱えた世帯に関する相談も増えており、多職種・多機関の連携により、幅広く、きめ細やかな支援を行いました。

また、美作市保健福祉部や関係機関、民生委員、住民から提供された情報をもとに、年齢を問わず、地域生活課題を抱える住民を早期に把握するため、訪問活動による実態把握も総合相談支援業務の一部として行っています。虐待や認知症等の重篤化を予防及び早期に対応できるよう、地域包括支援センターの機能についての啓発活動を、地域・地区ケア会議等を通じ関係機関等へ随時行いました。

#### ■相談件数及び相談形態

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来 所	70	70	66	73	77	49	65	73	54	72	63	71	803
電 話	298	309	305	278	327	307	275	210	244	305	239	213	3,310
訪 問	211	164	180	146	177	157	144	113	164	112	147	115	1,830
そ の 他	10	18	18	13	13	11	12	4	5	7	5	4	120
合 計	589	561	569	510	594	524	496	400	467	496	454	403	6,063

(令和4年度：5,976件)

#### ■相談内容内訳（重複あり）

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護相談	309	277	299	262	316	236	267	183	242	283	238	213	3,125
施設入所	47	46	69	37	36	40	39	32	59	52	30	34	521
介護予防	7	6	10	4	7	8	5	1	—	8	4	—	60
認知症	105	86	94	102	120	115	84	49	59	78	45	42	979
健康医療	161	159	142	115	174	132	134	102	118	130	139	113	1,619
生活問題	35	47	68	48	57	40	70	82	60	43	93	65	708
親族・地域関係	53	73	97	97	103	107	82	63	80	62	77	64	958
虐待権利擁護	4	9	22	30	12	17	9	6	9	2	8	2	130
金銭管理	22	29	32	54	47	42	50	39	48	40	56	35	494
制度・手続き	27	18	38	14	30	22	18	10	9	21	12	21	240
その他	5	10	8	5	10	13	9	5	2	7	4	3	81
高齢者以外	16	20	6	6	23	17	21	14	19	13	22	13	190
実態把握	93	31	29	29	40	32	35	19	27	19	25	29	408
合 計	884	811	914	803	975	821	823	605	732	758	753	634	9,513

地区社協の地区ケア会議や見守り会議で、地域包括支援センターや地域ステーションの役割を伝えることにより、地区社協関係者や民生委員、自治会長からの情報提供が増えています。また、日頃から連携している美作警察署生活安全課、交番、駐在所からの情報提供が増えています。

#### ■関係機関との連携強化

多岐に渡る課題の中で、介護保険サービス事業所や行政機関、医療機関、障害サービス事業所、地区社協など、関係機関との情報を共有しながら、連携強化を図りました。

地域包括支援センター事業

**(2)権利擁護業務**

高齢者の人権や財産を守る権利擁護業務として、高齢者自身が自分の判断で財産等を管理することができなくなった時に活用される成年後見制度や日常生活自立支援事業などを行政機関や弁護士、司法書士、社会福祉協議会（日常生活自立支援事業）につなぎ、高齢者が地域において尊厳のある生活が維持できるように、専門的・継続的な視点から必要な支援を行い、虐待や消費者被害の防止に取組みました。

■権利擁護業務相談内容内訳

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
成年後見制度の利用	2	8	2	5	—	1	2	7	4	4	2	1	38
日援事業の利用支援	5	5	2	2	5	1	—	—	1	—	—	—	21
養護老人福祉施設入所支援	—	—	—	—	1	1	—	5	1	2	7	12	29
高齢者虐待対応	—	—	—	4	8	3	1	1	1	—	1	—	19
その他	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	2
合計	7	13	4	11	14	6	3	14	7	7	10	13	109

■高齢者虐待への対応

高齢者虐待に関連する事例を把握した場合は、速やかに当該高齢者宅を訪問し状況を確認し、虐待認定会議に参加するなど、美作市と協議のうえ適切な対応を行っています。  
権利擁護に関する相談対応は109件ありましたが、支援が入ることで解決するケースが多く、令和5年度の虐待認定による検討件数は9件で、虐待と思われる延べ対応件数は19件でした。

■成年後見制度の活用促進

成年後見制度の利用が必要と思われる高齢者の親族等に対して、制度の説明や申し立てに当たっての関係機関の紹介等を行います。  
市長申し立てに関係する事案については、美作市担当者に進捗状況を報告し、早期解決に向けて協議し対応しています。  
また、地域包括支援センター職員の実務研修や地区社協や民生児童委員など関係機関に対して、成年後見制度の啓発活動を行いました。

■消費者被害の防止

地域ケア会議（6地域）で、美作警察署生活安全課及び各駐在所警察官に、消費者被害の状況や振込詐欺の手法などの情報提供を依頼し、住民や民生委員、関係機関等に対して消費者被害防止の啓発活動に努めました。

■困難事例への対応

美作市権利擁護センターと連携し、困難事例等について必要な支援を検討しました。  
また、毎月開催している地域ケア個別会議では、作業療法士（OT）、理学療法士（PT）、医療職等の専門職を交え、ケアプランの困難事例への対応方法を検討しました。

地域包括支援センター事業

地域包括支援センター事業

**(3) 包括的・継続的ケアマネジメント業務**

高齢者は健康、身体機能、認知機能、家族関係などにおいて、複数の課題を抱えながら生活している場合が多く、そのため介護支援専門員の業務も複雑多様になっています。地域包括支援センターでは、介護支援専門員に対する個別の相談対応を行い、主任介護支援専門員を中心に、サービス計画の作成技術等の助言・指導、サービス担当者会議の開催支援等を行いました。

令和5年度の介護支援専門員の個別相談・指導は574件ありました。各事業所の介護支援専門員との情報交換を行うため、地域の介護支援専門員連絡会にも積極的に出席し、困難事例には職員が同行して訪問する等の対応をしています。

また、介護支援専門員の資質向上を図るために、個人のケアプランを医療関係の専門職を交えて検討する個別ケア会議を開催している他、岡山県指定の「法定外の研修（主任介護支援専門員更新研修の受講要件の研修）」を、令和6年度も引き続き開催します。

■介護支援専門員への個別相談・指導 (単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和5年度	48	56	55	54	62	40	51	44	30	45	58	31	574

令和4年度実績：684件

**(4) 介護予防ケアマネジメント**

指定介護予防支援事業者として、要支援認定者（要支援1又は要支援2）に対するアセスメントを行い、心身の状況や置かれている環境等に応じて、本人が自立した生活を送ることができるよう介護予防サービス・支援計画書を作成しました。

介護予防サービス・支援計画書は、総合事業（訪問型・通所型サービス）のみの利用に対する介護予防ケアマネジメントと、介護予防支援のサービス（訪問看護・福祉用具・リハビリテーション等）を利用するサービスの2種類に分かれており、居宅介護支援事業所に一部委託することができます。

令和5年度の介護予防サービス・支援計画書作成件数は、年間5,588件で、その内739件を外部委託しています。

■指定介護予防支援事業所の概要

事業所名	美作市指定介護予防支援事業所
所在地	美作市北山390-2 美作保健センター内
職員体制	管理者1名、介護支援専門員8名

■介護予防プラン（介護予防ケアマネジメント・介護予防支援）作成件数

区分	美作市指定介護予防支援事業所	外部委託	合計
介護予防ケアマネジメント	1,470件	214件	1,684件
介護予防支援	3,379件	525件	3,904件
合計	4,849件	739件	5,588件

■委託先居宅介護支援事業所（14事業所）

介護支援センターふくだ、ケアプランセンターすまいる、居宅介護支援事業所さら、ゆうゆうの里ケアプランセンター、指定居宅介護支援事業所いきいきケア石田、ケアプランセンターなでしこ、在宅介護相談室きらら、居宅介護支援事業所英田、美作市立作東老人保健施設指定居宅介護支援事業所、ケアシールド、居宅介護支援事業所なごみ、ケアプランセンターさくら、川崎ケアプランセンター、居宅介護支援事業所こもれび

## 2. 生活支援体制整備事業

住民の支え合いの地域づくりを目指して、地域の福祉ニーズや地域資源を把握し、互助を基本とした生活支援等サービスを創出するために、定期的な情報共有及び連携強化の中核となる「第1層協議体」を市内全体で1カ所設置し、生活支援コーディネーターを配置しています。

また、生活圏域の各地域ステーションにも第2層協議体（支え合い委員会）と生活支援コーディネーターを配置し、住民同士の支え合い活動づくりを展開しています。

### (1) 第1層協議体（生活支援体制整備協議体）

#### ■第1層協議体の役割・活動

- ・市全域でのサービス開発
- ・住民によるサービス提供主体への活動支援
- ・行政からの情報提供や意見交換の促進

#### ■第1層協議体の構成員

美作大学教授、美作市民生児童委員協議会長、美作市自治振興協議会長、各地域社協代表、薬剤師会、美作市、美作市社協

#### ■第1層協議体の開催状況

	期日	会場	協議内容
第1回	令和5年 5月26日	世代交流 多目的 ホール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急医療情報キットについての報告（社会福祉協議会・消防署）</li> <li>・あんしんシートの普及啓発について</li> </ul>
第2回	令和5年 8月4日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急医療情報キットと訪問診療患者基本情報について</li> <li>・救急の日の取り組みについて</li> </ul>
第3回	令和5年 11月10日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルツハイマー月間、救急の日の取り組みについて</li> <li>・救急医療情報キットの各会議の協議内容について（各地域での見守りをテーマとした内容）</li> </ul>
第4回	令和6年 2月2日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急医療情報キット助成事業の現状と方向性について</li> <li>・見守りの現状について</li> <li>・美作市高齢者見守りネットワーク事業について</li> </ul>

### (2) 第2層協議体（市内6地域：支え合い委員会）

#### ■第2層協議体の役割・活動

- ・生活支援サービスについてのニーズ把握
- ・地域の活動団体、社会資源の把握
- ・地域に必要なサービスや活動（社会参加、活動の場、居場所等）の開発
- ・地域への情報提供と利用者のサービスへの結び付け
- ・第1層協議体及び美作市地域包括ケア会議への出席

#### ■第2層協議体の構成員

市内6地域の地域社協の役員である、民生委員、愛育委員、栄養委員、ボランティア、区長等を中心とする福祉関係者で構成。

<p>生活支援体制整備事業</p>	<p><b>(3)生活支援体制整備事業の活動状況</b></p> <p>生活支援体制整備事業の協議体は、市包括ケア会議と合同で開催しました。          令和5年度は、救急医療情報キットの緊急連絡カードを、急な入院や災害に備えることができるよう美作市在宅医療・介護連携推進協議会の訪問診療患者基本情報と統合し、「救急医療情報シート」に名称を変更しました。          また、救急医療情報シートの更新を呼びかけることによって、見守る側、見守られる側をつなぐ見守りのツールとして、救急医療情報キットの活用について協議を行いました。          第2層と第3層協議体では、地域包括ケアシステムを取り入れて、救急医療情報キットの現状と課題を協議し、配布状況や更新方法などの調査、各地域の支え合い委員会や各地域・地区ケア会議にて確認を行いました。          その結果、配付名簿の管理や配付対象者の把握ができていない地区や、救急医療情報シートの更新ができていない地区が多くありました。これらの課題に対応するため、市社協で事業の見直し案を美作市地域社協連絡会に諮り、新たな事業方針（詳細は18ページ）が決定しました。この事業方針を、美作市地域包括ケア会議で報告し、地域・地区ケア会議に下ろし、令和6年度から救急医療情報キットは見守りのツールとして幅広く活用できるような事業内容になりました。          令和6年度は、日常生活や社会生活において孤独を感じていたり、社会から孤立していることによって心身に有害な影響を受けている人々への支援を強化することが、「孤独孤立対策推進法」で示されていることから、引き続き地域の見守りについて協議することとしています。</p>
<p>地域ケア会議推進事業</p>	<p><b>3. 地域ケア会議推進事業</b></p> <p>高齢者が住み慣れた地域で日常生活を送ることができるよう、地域全体で支援するために、各地域ケア会議や個別ケースの検討等で共有された地域課題を、地域づくりや政策提言に結び付け、地域包括ケアシステムの構築に向けた施策を推進するために必要な検討を行いました。</p> <p><b>(1) 各地域の地域ケア会議</b></p> <p>地区ケア会議で出てきた課題から、地域内の共通した課題を取り上げ、6地域のケア会議で協議を行いました。          その結果、買い物の問題がある地域では、全地域を対象に聞き取りによる実態把握を行い、来年度引き続き協議することとなりました。          また、サロンについて協議した地域では、サロンの現状を把握するとともに、参加しやすくするための条件や続けるための工夫などについて話し合い、各団体や組織に働きかけることになりました。その他、災害時における独居高齢者のための、防災メモ、非常持ち出し品の一覧表を作成した地域もありました。          また、地域ケア会議の共通テーマとして地域包括ケアシステムの説明と、救急医療情報キットの現状と課題について協議を行いました。          尚、令和4年度は毎月開催しておりましたが、令和5年度より隔月開催とした為、延べ開催回数、延べ参加者数共に減少しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度地域ケア会議延べ開催数：36回（令和4年度：71回）</li> <li>・令和5年度地域ケア会議延べ参加者数：524名（令和4年：878名）</li> </ul> <p><b>(2) 地域ケア個別会議</b></p> <p>自立支援に資する適切なケアプランの作成及び資質の向上を目的に、各ケースの個別課題を抽出し、理学療法士、作業療法士、薬剤師、地域包括支援センター及び地域ステーション職員、介護支援専門員等の多職種による個別ケースの検討を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度地域ケア個別会議開催数：12回（令和4年度：11回）</li> <li>・令和5年度個別検討ケース数：35件（令和4年度：32件）</li> <li>・令和5年度地域ケア個別会議参加者数：149名（令和4年度：140名）</li> </ul>

<p>任意事業</p>	<p><b>4. 任意事業</b></p> <p><b>(1) 家族介護支援事業</b></p> <p>要介護高齢者を自宅で介護している家族等を支援するために、介護に関する知識・技術の提供、介護者同士の情報交換・交流等を図り、相談し合えるような介護者同士のつながりをつくることで、介護者の身体的・精神的負担が軽減し、安心感を持って介護ができることを目的に市内5地域で「介護者の集い」を開催しています。</p> <table border="1" data-bbox="395 510 1350 649"> <thead> <tr> <th></th> <th>勝田</th> <th>大原・東</th> <th>美作</th> <th>作東</th> <th>英田</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>6回</td> <td>6回</td> <td>6回</td> <td>6回</td> <td>6回</td> <td>30回</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>29人</td> <td>60人</td> <td>38人</td> <td>33人</td> <td>30人</td> <td>190人</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">令和4年度：実施回数27回、参加人数187人</p> <p><b>(2) 福祉用具購入費・住宅改修費支援事業</b></p> <p>介護サービスを利用しない在宅の要介護者・要支援者を対象に、福祉用具購入、住宅改修に関する相談、情報提供、連絡調整、助言、福祉用具購入費、住宅改修費の支給申請書類等の作成を支援しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度福祉用具購入費支援件数：33件（令和4年度：28件）</li> <li>令和5年度住宅改修費支援件数：47件（令和4年度：57件）</li> </ul> <p><b>(3) 地域自立生活支援事業（食の自立支援事業）</b></p> <p>65歳以上の高齢者等を対象に、配食サービスの対象となる者の調査分析（アセスメントシートの作成）を実施しました。</p>		勝田	大原・東	美作	作東	英田	合計	実施回数	6回	6回	6回	6回	6回	30回	参加人数	29人	60人	38人	33人	30人	190人
	勝田	大原・東	美作	作東	英田	合計																
実施回数	6回	6回	6回	6回	6回	30回																
参加人数	29人	60人	38人	33人	30人	190人																
<p>単市地域支援事業</p>	<p><b>5. 単市地域支援事業</b></p> <p><b>(1) 食の自立支援事業</b></p> <p>65歳未満の市民等を対象に、配食サービスの対象となる者の調査分析（アセスメントシートの作成）を実施しました。</p> <p>65歳以上の高齢者等及び65歳未満の市民等を実施した、調査分析（アセスメントシートの作成）は、年間39件（令和4年度：47件）になりました。</p> <p><b>(2) 生活管理指導員派遣事業（申請支援）</b></p> <p>在宅の高齢者等に対して、自立支援を図るため日常の生活相談・指導を行い、生活支援員の派遣を行うための申請手続きの援助を行う事業になります。</p> <p>生活支援が必要な場合は、総合事業の生活支援サービスを利用されるため、令和5年度は新規で本事業を利用する対象者はありませんでした。</p> <p><b>(3) 生活管理指導短期宿泊事業（申請支援）</b></p> <p>生活環境、経済的、家庭内の事情により、在宅での生活が困難になった高齢者に対し、特別養護老人ホーム等に一時的に宿泊させ、生活の支援、指導、家族の介護負担の軽減を行うための支援及び書類作成の支援を行う事業になります。</p> <p>利用の対象となる希望者は急な対応や、身体には問題がない場合も多く、利用条件がある本事業では利用が難しいため、病院・老人保健施設への入院・入所やサービス付高齢者住宅の利用などで対応しています。</p>																					

<p>事業概要</p>		<p>美作市からの受託事業で、小学校就学前の乳幼児をもつ保護者に、子どもを安心して遊ばせながら育児相談や子育て中の親が気軽に集い、語り合えるような場（子育てサロン）を提供することにより保護者の育児に対する不安・負担の緩和を図るために、市内7ヶ所で「子育てサロン」の活動支援を行っています。</p> <p>市社協は、各サロンへ助成金交付や子育てに関する講習やボランティア等の派遣を行っています。令和5年度は、多目的ホールを会場に親子で楽しめるヨガ教室やリトミック、料理教室を開催し、子育てサロンの充実を図りました。</p> <p>サロンの開催時は、マスクの着用や手指消毒など感染予防に配慮しました。</p>								
<p>事業内容</p>		<p>業務の目的</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子育て親子の交流と集いの場を提供する。</li> <li>2. 子育てアドバイザーが、子育ての悩み等に相談に応じる。</li> <li>3. 地域の子育て関連情報を、集まってきた親子に提供する。</li> <li>4. 子育て及び子育て支援に関する講習を実施する。</li> </ol>							
<p>開所時間</p>		<p>1日（回）あたり概ね3時間以上開催</p>								
<p>利用料</p>		<p>無料</p>								
<p>子育てサロン活動状況内訳</p>		<p>サロン名称</p>	<p>開催場所</p>	<p>開催日</p>	<p>令和3年度</p>		<p>令和4年度</p>		<p>令和5年度</p>	
				<p>開所日</p>	<p>利用人数</p>	<p>開所日</p>	<p>利用人数</p>	<p>開所日</p>	<p>利用人数</p>	
		<p>ちびゆりクラブ</p>	<p>高齢者福祉センター「やまゆり苑」</p>	<p>毎月第2・第4金曜日</p>	<p>18日</p>	<p>226人</p>	<p>23日</p>	<p>159人</p>	<p>36日</p>	<p>274人</p>
		<p>まめっこ</p>	<p>大原保健センター</p>	<p>毎週火曜日</p>	<p>31日</p>	<p>38人</p>	<p>40日</p>	<p>45人</p>	<p>51日</p>	<p>61人</p>
		<p>こっこ</p>	<p>いきいきゆうゆうの里 世代交流多目的ホール</p>	<p>毎週月・木曜日</p>	<p>70日</p>	<p>892人</p>	<p>87日</p>	<p>1,208人</p>	<p>93日</p>	<p>1,413人</p>
		<p>えんぜる</p>	<p>いきいきゆうゆうの里 世代交流多目的ホール</p>	<p>奇数月第2水曜日</p>	<p>4日</p>	<p>32人</p>	<p>6日</p>	<p>127人</p>	<p>6日</p>	<p>163人</p>
		<p>さくらハウス</p>	<p>旧巨勢小学校</p>	<p>毎月第1・第3水曜日</p>	<p>14日</p>	<p>106人</p>	<p>21日</p>	<p>71人</p>	<p>21日</p>	<p>134人</p>
		<p>ぱれっと</p>	<p>作東長寿センター</p>	<p>毎月第2・第4金曜日</p>	<p>16日</p>	<p>170人</p>	<p>24日</p>	<p>257人</p>	<p>24日</p>	<p>141人</p>
		<p>つくしんぼ</p>	<p>生涯学習センター 英田保健センター</p>	<p>毎月第1・第3金曜日</p>	<p>14日</p>	<p>222人</p>	<p>19日</p>	<p>166人</p>	<p>18日</p>	<p>89人</p>
		<p>合 計</p>				<p>167日</p>	<p>1,686人</p>	<p>220日</p>	<p>2,282人</p>	<p>249日</p>

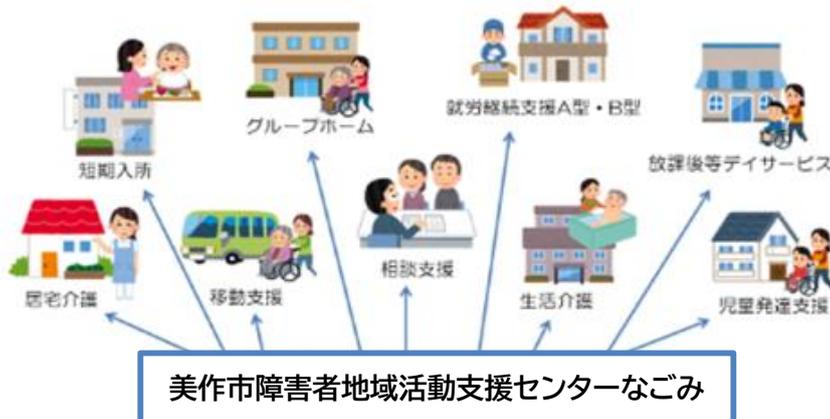
## 各種団体助成事業

事業概要	美作市から補助金を受け、老人クラブ連合会、身体障害者福祉協会、遺族会、保護司会の事務局を担当し、自主運営に向けた福祉団体の支援を行っています。令和6年度は団体の適正な事務局業務を行うために、事務委託契約の締結に向けた協議を行います。						
活動状況と助成金	団体名	会員数				役員会の開催状況	助成金額
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	老人クラブ連合会	7,224人	6,979人	6,743人	6,579人	4回	6,472,000円
	身体障害者福祉協会	202人	178人	159人	151人	4回	810,000円
	遺族会	634人	585人	530人	492人	2回	990,000円
	保護司会	23人	24人	24人	23人	2回	450,000円
合		計				8,722,000円	
支部助成金内訳	団体名	勝田	大原	東栗倉	美作	作東	英田
	老人クラブ連合会	776,160円	1,093,080円	171,120円	1,373,880円	1,498,560円	628,690円
	身体障害者福祉協会	—	151,000円	—	113,500円	119,500円	122,500円
	遺族会	50,500円	97,760円	25,160円	195,430円	128,860円	52,570円
	保護司会	—	—	—	—	—	—
事務局の取り組み内容	団体名	事務局の取り組み内容					
	老人クラブ連合会	各支部・連合会の事務局として事業企画や事務運営の指導援助を行う。					
	身体障害者福祉協会	各支部・連合会の事務局として事業企画や事務運営の指導援助を行う。					
	遺族会	各支部・連合会の事務局として事業企画や事務運営の指導援助を行う。					
	保護司会	事業企画や事務運営の指導援助を行う。					

## 施設管理事業

事業概要	美作市公の施設の指定管理者指定に伴い、市内1ヶ所の福祉施設の管理を行っています。				
管理施設	施設名		住所		所轄
	美作市いきいきゆうゆうの里世代交流多目的ホール (多目的運動広場・遊歩自然公園)		美作市北山401		美作地域 アソシエーション
施設管理状況		年度	開所日数	利用延人数	管理料
		令和元年	264日	9,279人	2,018,519円
		令和2年	274日	7,847人	2,038,000円
		令和3年	273日	7,584人	2,102,000円
		令和4年	270日	8,302人	2,100,000円
		令和5年	266日	8,297人	2,100,000円

事業概要



美作市障害者地域活動支援センター「なごみ」は、平成30年度より美作市から事業受託し、地域で生活する身体障害者、知的障害者、精神障害者及び障害児が、自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう、精神保健福祉士等の専門職による日常生活の困り事等の相談支援や訪問活動、福祉サービスの利用援助、地域ボランティアの育成及び障害に対する理解を促す普及啓発等を行っています。

通所（通いの場）による創作的活動等の機会の提供や社会との交流の促進等、当事者活動の支援も行っており、地域社会との交流を促進する役割を担っています。令和元年7月1日には、活動拠点を作東長寿センターに移設し、幅広い活動を展開しています。また、令和3年度には、大原居宅介護支援事業所に併設していた特定相談支援事業所「みらい」を「なごみ」に移転するとともに、令和4年度からは美作市より基幹相談支援センター業務を受託し、地域における相談支援の中核的な役割を担う機関として、障害者相談支援事業及び成年後見制度利用支援事業並びに身体障害者、知的障害者及び精神障害者に対する相談等の業務を総合的に行っています。

事業内容

施設名称	美作市障害者地域活動支援センター「なごみ」
事業所形態	地域活動支援センター I 型・基幹相談支援センター
場所	作東長寿センター内（美作市江見280番地）
開所日	毎週月～金曜日（土日、祝祭日、年末年始は休館）
開館時間	8：30～17：15
事業内容	① 障害児・者の日常生活に関する相談及び情報の提供 ② 地域における障害児・者の自主的な活動に関する支援 ③ 地域における障害児・者との交流の機会の提供
利用料	無料
職員の配置	施設長：1名（社会福祉士・精神保健福祉士・初任者研修修了） 相談支援専門員：1名（社会福祉士・初任者研修修了） 1名（嘱託職員・社会福祉主事） 指導員：3名（嘱託職員1名・臨時職員2名）

相談支援実施状況

※ふれあいホール利用者相談含

地域で生活する障害児・者やその家族が、安心して生活ができるように、困ったことやわからないことを気軽に相談できる窓口として、相談支援専門員、精神保健福祉士などの専門職員が相談に対応し情報提供や訪問活動等の生活支援を行いました。

1)相談支援を利用している障害者等の実人数

	身体障害	重症心身	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能	その他	令和5年合計	令和4年合計
障害者	15人	1人	51人	85人	5人	3人	9人	169人	164人
障害児	—	—	4人	2人	2人	—	2人	10人	12人
合計	15人	1人	55人	87人	7人	3人	11人	179人	176人

## 障害者地域活動支援センター I 型「なごみ」②

相談支援 実施状況  ※ふれあいホール 利用者相談含	<b>2)支援方法</b> (単位：件)	<b>3)支援内容(3,568件の対応内訳)</b> ※重複あり																																																																																										
	<table border="1"> <tr><td>訪問</td><td>427</td></tr> <tr><td>来所相談</td><td>746</td></tr> <tr><td>本人に同行</td><td>116</td></tr> <tr><td>電話相談</td><td>894</td></tr> <tr><td>電子メール</td><td>15</td></tr> <tr><td>個別支援会議</td><td>113</td></tr> <tr><td>関係機関</td><td>1,128</td></tr> <tr><td>団体支援</td><td>85</td></tr> <tr><td>その他</td><td>44</td></tr> <tr><td>令和5年度合計</td><td>3,568</td></tr> </table> 令和4年度合計：3,601件	訪問	427	来所相談	746	本人に同行	116	電話相談	894	電子メール	15	個別支援会議	113	関係機関	1,128	団体支援	85	その他	44	令和5年度合計	3,568	<table border="1"> <tr><td>福祉サービス利用（年金・社会資源）</td><td>1,738件</td></tr> <tr><td>不安解消・情緒安定（生活上の悩み）</td><td>1,587件</td></tr> <tr><td>健康・医療（病気・服薬・受診）</td><td>1,551件</td></tr> <tr><td>家族・対人関係に関する支援</td><td>1,351件</td></tr> <tr><td>就労に関する支援（仕事・作業関係）</td><td>1,020件</td></tr> <tr><td>家計（金銭管理）に関する支援</td><td>486件</td></tr> <tr><td>障害や病気の理解に関する支援</td><td>1,350件</td></tr> <tr><td>生活技術に関する支援（生活支援）</td><td>605件</td></tr> <tr><td>社会参加・余暇活動に関する支援</td><td>762件</td></tr> <tr><td>保育・教育に関する支援</td><td>40件</td></tr> <tr><td>権利擁護に関する支援</td><td>28件</td></tr> <tr><td>その他（情報提供等）</td><td>1,492件</td></tr> <tr><td>令和5年度合計</td><td>12,010件</td></tr> </table> 令和4年度合計：13,790件	福祉サービス利用（年金・社会資源）	1,738件	不安解消・情緒安定（生活上の悩み）	1,587件	健康・医療（病気・服薬・受診）	1,551件	家族・対人関係に関する支援	1,351件	就労に関する支援（仕事・作業関係）	1,020件	家計（金銭管理）に関する支援	486件	障害や病気の理解に関する支援	1,350件	生活技術に関する支援（生活支援）	605件	社会参加・余暇活動に関する支援	762件	保育・教育に関する支援	40件	権利擁護に関する支援	28件	その他（情報提供等）	1,492件	令和5年度合計	12,010件																																												
訪問	427																																																																																											
来所相談	746																																																																																											
本人に同行	116																																																																																											
電話相談	894																																																																																											
電子メール	15																																																																																											
個別支援会議	113																																																																																											
関係機関	1,128																																																																																											
団体支援	85																																																																																											
その他	44																																																																																											
令和5年度合計	3,568																																																																																											
福祉サービス利用（年金・社会資源）	1,738件																																																																																											
不安解消・情緒安定（生活上の悩み）	1,587件																																																																																											
健康・医療（病気・服薬・受診）	1,551件																																																																																											
家族・対人関係に関する支援	1,351件																																																																																											
就労に関する支援（仕事・作業関係）	1,020件																																																																																											
家計（金銭管理）に関する支援	486件																																																																																											
障害や病気の理解に関する支援	1,350件																																																																																											
生活技術に関する支援（生活支援）	605件																																																																																											
社会参加・余暇活動に関する支援	762件																																																																																											
保育・教育に関する支援	40件																																																																																											
権利擁護に関する支援	28件																																																																																											
その他（情報提供等）	1,492件																																																																																											
令和5年度合計	12,010件																																																																																											
美作市障害者地域活動支援センター「なごみ」には、美作市在住の障害児・者を対象に、日中活動の場の提供や創作活動、地域交流などの機会を提供する「ふれあいホール（通いの場）」を開設しており、当事者主体の活動拠点として事業を行っています。令和元年7月1日の作東長寿センターへの移転後は、入浴設備や調理室もあり、ふれあいホールの活動の幅が広がりました。																																																																																												
ふれあいホール （通いの場） 利用状況  創作的活動と 生産活動の 機会の提供	<b>1)ふれあいホール利用人数(利用登録者数:72人)</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>開所 日数</th> <th>延べ 人数</th> <th>送迎 日数</th> <th>入浴 者数</th> <th></th> <th>開所 日数</th> <th>延べ 人数</th> <th>送迎 日数</th> <th>入浴者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>20日</td><td>132人</td><td>12日</td><td>5人</td><td>10月</td><td>21日</td><td>153人</td><td>12日</td><td>10人</td></tr> <tr><td>5月</td><td>20日</td><td>135人</td><td>12日</td><td>10人</td><td>11月</td><td>20日</td><td>168人</td><td>12日</td><td>10人</td></tr> <tr><td>6月</td><td>22日</td><td>152人</td><td>13日</td><td>11人</td><td>12月</td><td>20日</td><td>169人</td><td>12日</td><td>8人</td></tr> <tr><td>7月</td><td>20日</td><td>155人</td><td>12日</td><td>10人</td><td>1月</td><td>19日</td><td>143人</td><td>11日</td><td>7人</td></tr> <tr><td>8月</td><td>22日</td><td>148人</td><td>12日</td><td>10人</td><td>2月</td><td>19日</td><td>130人</td><td>10日</td><td>9人</td></tr> <tr><td>9月</td><td>20日</td><td>142人</td><td>12日</td><td>11人</td><td>3月</td><td>20日</td><td>151人</td><td>12日</td><td>9人</td></tr> <tr><td colspan="5">令和5年度平均利用人数7.3人/日</td><td>R5合計</td><td>243日</td><td>1,778人</td><td>142日</td><td>110人</td></tr> <tr><td colspan="5">令和4年度平均利用人数7.8人/日</td><td>R4合計</td><td>244日</td><td>1,915人</td><td>148日</td><td>121人</td></tr> </tbody> </table>			開所 日数	延べ 人数	送迎 日数	入浴 者数		開所 日数	延べ 人数	送迎 日数	入浴者数	4月	20日	132人	12日	5人	10月	21日	153人	12日	10人	5月	20日	135人	12日	10人	11月	20日	168人	12日	10人	6月	22日	152人	13日	11人	12月	20日	169人	12日	8人	7月	20日	155人	12日	10人	1月	19日	143人	11日	7人	8月	22日	148人	12日	10人	2月	19日	130人	10日	9人	9月	20日	142人	12日	11人	3月	20日	151人	12日	9人	令和5年度平均利用人数7.3人/日					R5合計	243日	1,778人	142日	110人	令和4年度平均利用人数7.8人/日					R4合計	244日	1,915人	148日	121人
	開所 日数	延べ 人数	送迎 日数	入浴 者数		開所 日数	延べ 人数	送迎 日数	入浴者数																																																																																			
4月	20日	132人	12日	5人	10月	21日	153人	12日	10人																																																																																			
5月	20日	135人	12日	10人	11月	20日	168人	12日	10人																																																																																			
6月	22日	152人	13日	11人	12月	20日	169人	12日	8人																																																																																			
7月	20日	155人	12日	10人	1月	19日	143人	11日	7人																																																																																			
8月	22日	148人	12日	10人	2月	19日	130人	10日	9人																																																																																			
9月	20日	142人	12日	11人	3月	20日	151人	12日	9人																																																																																			
令和5年度平均利用人数7.3人/日					R5合計	243日	1,778人	142日	110人																																																																																			
令和4年度平均利用人数7.8人/日					R4合計	244日	1,915人	148日	121人																																																																																			
<b>2)行事・レクリエーション活動</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>回数</th> <th>利用者</th> <th>職員</th> <th>その他</th> <th>令和5年 合計</th> <th>令和4年 合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ミーティング</td><td>12回</td><td>155人</td><td>68人</td><td>8人</td><td>231人</td><td>254人</td></tr> <tr><td>七宝焼き作り</td><td>10回</td><td>133人</td><td>57人</td><td>6人</td><td>196人</td><td>257人</td></tr> <tr><td>レディース（料理教室・創作活動）</td><td>12回</td><td>106人</td><td>67人</td><td>21人</td><td>194人</td><td>216人</td></tr> <tr><td>調理の日</td><td>12回</td><td>186人</td><td>72人</td><td>14人</td><td>272人</td><td>144人</td></tr> <tr><td>囲碁ボール（地区住民との交流）</td><td>11回</td><td>135人</td><td>63人</td><td>13人</td><td>211人</td><td>223人</td></tr> <tr><td>課外活動・見学他</td><td>20回</td><td>244人</td><td>104人</td><td>76人</td><td>424人</td><td>411人</td></tr> </tbody> </table>			回数	利用者	職員	その他	令和5年 合計	令和4年 合計	ミーティング	12回	155人	68人	8人	231人	254人	七宝焼き作り	10回	133人	57人	6人	196人	257人	レディース（料理教室・創作活動）	12回	106人	67人	21人	194人	216人	調理の日	12回	186人	72人	14人	272人	144人	囲碁ボール（地区住民との交流）	11回	135人	63人	13人	211人	223人	課外活動・見学他	20回	244人	104人	76人	424人	411人																																										
	回数	利用者	職員	その他	令和5年 合計	令和4年 合計																																																																																						
ミーティング	12回	155人	68人	8人	231人	254人																																																																																						
七宝焼き作り	10回	133人	57人	6人	196人	257人																																																																																						
レディース（料理教室・創作活動）	12回	106人	67人	21人	194人	216人																																																																																						
調理の日	12回	186人	72人	14人	272人	144人																																																																																						
囲碁ボール（地区住民との交流）	11回	135人	63人	13人	211人	223人																																																																																						
課外活動・見学他	20回	244人	104人	76人	424人	411人																																																																																						

<p>地域交流の場の提供</p>	<p>美作保健センターや美作市社協各支所など、不特定多数の地域住民が出入りする場所で、ふれあいホール利用者の七宝焼き等の作品を展示しました。                  今年度はコロナ禍で中止が続いていた「元気になるうやフェスタ」や地区で開催された福祉祭りに参加し、創作物の展示販売を行いました。                  また、障害者週間に向けてクリスマスモニュメントや、プラ板を作成し、勝英管内の市町村窓口等へ配布しました。</p>																														
<p>広報活動</p>	<p>1)美作市社協広報誌「はい！社協です」になごみの活動を掲載                  ①11月号P7 (No.145)                  8月22日(火)                  勝田中学校の福祉教育に「美作えがお広め隊」が参加し障害理解の啓発を行いました。</p> <p>2)「なごみ通信」の発行                  なごみの行事やお知らせを周知するために「なごみ通信」を毎月発行し、利用者や関係機関等に配布しました。</p> 																														
<p>地域住民ボランティア育成事業</p>	<p>■ 障害理解を広めるボランティアの養成 ～「美作えがお広め隊」の活動</p> <p>令和4年度に、市内の小中学生に向けた障害理解を広げる市民ボランティアを養成する「障害理解を広めるボランティアさん養成講座」を開催し、現在講座を修了した11名の会員で組織する「美作えがお広め隊」として活動中です。</p> <p>令和5年度は、美作市社協ボランティアセンターや社協地域ステーションの職員と市内の小中学校で行われている福祉教育に3回参加し、障害に対する理解啓発活動に取り組みました。障害を持たれた当事者の方もメンバーとして活動しており、活動することに喜びややりがいを感じるという感想が聞かれました。</p>  <table border="1" data-bbox="359 1556 1487 2094"> <thead> <tr> <th>期 日</th> <th>活 動 内 容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月20日(木)</td> <td>定例会(勝田中学の福祉教育に向けた事前準備)</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>8月17日(木)</td> <td>定例会(勝田中学の福祉教育に向けた事前準備)</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>8月22日(火)</td> <td>勝田中学校の福祉教育に参加(盲導犬の話・視覚障害者疑似体験)</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>8月30日(水)</td> <td>定例会(勝田中学校の福祉教育の振り返り)</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>10月11日(水)</td> <td>定例会(勝田小学校の福祉教育に向けた事前準備)</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>11月7日(火)</td> <td>定例会(勝田小学校の福祉教育に向けた事前準備)</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>11月11日(土)</td> <td>勝田小学校4年生の福祉教育に参加(車いす体験)</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>11月30日(木)</td> <td>定例会(英田中学校の福祉教育に向けた事前準備)</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>12月7日(木)</td> <td>英田中学校1年生の福祉教育に参加(車いす体験・視覚障害者疑似体験)</td> <td>7人</td> </tr> </tbody> </table>	期 日	活 動 内 容	参加者	7月20日(木)	定例会(勝田中学の福祉教育に向けた事前準備)	7人	8月17日(木)	定例会(勝田中学の福祉教育に向けた事前準備)	9人	8月22日(火)	勝田中学校の福祉教育に参加(盲導犬の話・視覚障害者疑似体験)	8人	8月30日(水)	定例会(勝田中学校の福祉教育の振り返り)	8人	10月11日(水)	定例会(勝田小学校の福祉教育に向けた事前準備)	9人	11月7日(火)	定例会(勝田小学校の福祉教育に向けた事前準備)	9人	11月11日(土)	勝田小学校4年生の福祉教育に参加(車いす体験)	8人	11月30日(木)	定例会(英田中学校の福祉教育に向けた事前準備)	6人	12月7日(木)	英田中学校1年生の福祉教育に参加(車いす体験・視覚障害者疑似体験)	7人
期 日	活 動 内 容	参加者																													
7月20日(木)	定例会(勝田中学の福祉教育に向けた事前準備)	7人																													
8月17日(木)	定例会(勝田中学の福祉教育に向けた事前準備)	9人																													
8月22日(火)	勝田中学校の福祉教育に参加(盲導犬の話・視覚障害者疑似体験)	8人																													
8月30日(水)	定例会(勝田中学校の福祉教育の振り返り)	8人																													
10月11日(水)	定例会(勝田小学校の福祉教育に向けた事前準備)	9人																													
11月7日(火)	定例会(勝田小学校の福祉教育に向けた事前準備)	9人																													
11月11日(土)	勝田小学校4年生の福祉教育に参加(車いす体験)	8人																													
11月30日(木)	定例会(英田中学校の福祉教育に向けた事前準備)	6人																													
12月7日(木)	英田中学校1年生の福祉教育に参加(車いす体験・視覚障害者疑似体験)	7人																													

地域住民  
ボランティア  
育成事業

■「農福連携」による新たな住民ボランティアの育成

「農福連携」は、障害者等の農業分野での活躍を通じて自信や生きがいを創出し、社会参画を促す取組で、今年度は福山地区の方から農業体験の誘いを受け、地区で管理しているドリームファームで、苗植えや収穫の体験をしました。

福山地区の方と一緒に農業体験をしながら親睦を深め、障害者に対する理解を深める機会になりました。この活動を通じて、障害のある人も地域で役割を持って生活することができる事例となり参加した障害者も自己肯定感を高めることができました。



期 日	行 事	場 所	利用者	地域住民
6月8日（木）	玉ねぎ収穫体験	ドリーム ファーム (福山地区)	12人	13人
10月23日（月）	サツマイモ掘り体験		10人	8人
11月20日（月）	玉ねぎの苗植え体験		14人	10人
3月27日（金）	ジャガイモの苗植え体験		9人	10人

■ 招(商)福連携による移動販売モデル事業への参画

美作市社協は、高齢者等の買い物困難者への支援と障害者やニート・引きこもり等の社会参加・障害者理解、市民が気軽に困り事を相談できる環境づくりの3つの異なる課題解決を、商業と福祉が連携して行う「招(商)福連携による移動販売モデル事業」を令和3年7月13日から開始し、障害者地域活動支援センターなごみも本事業に参画しています。



毎月第2・第4火曜日に、東栗倉地域を運行するマルナカ美作店の移動販売車になごみの利用者も同行し、販売や接客の補助（買い物客の商品の袋詰めや、お茶出し等の接待等）を行っています。移動販売を通じて社会参加や就労体験ができ、人と関わることの楽しさや喜び、自己肯定感を感じられる大変貴重な機会となっています。

参加回数：21回      参加延人数：56人（内なごみ利用者34人）

障害理解の  
促進を図る  
普及啓発活動



運営協議会の  
開催状況

■ 令和5年度美作市障害者地域活動支援センターなごみ運営協議会委員名簿

(令和6年3月31日現在)

役職	氏名	選出区分
会長	山本 敏子	知的障害者関係の代表（美作市知的障害者相談員）
副会長	丸尾 克己	精神障害者関係の代表（みまさかクローバーの会会長）
	黒石 初枝	ボランティア関係の代表（みまさかクローバーの会会員）
委員	池上 正登	身体障害者関係の代表（美作市身障協会副会長）
	森安由美子	障がいをもつ児童関係の代表（愛夢皆の会副会長）
	柴山英津子	知的障害者関係の代表（美作市知的障害者相談員）
	山本 勉	ボランティア関係の代表（作東地域社協会長）
	中原 三希	その他の保健・医療関係者（美作県民局）
	松本 隆大	その他の福祉・医療関係者（美作市発達支援センター）
	小守 正人	その他の福祉・医療関係者（美作市福祉政策課）

運営協議会は、障害者団体等の代表者を中心に組織し、美作市障害者地域活動支援センター「なごみ」の事業の検討及び事業実施上の諸問題について協議を行うために設置しており、令和5年度は2回の運営協議会を開催しました。

第1回運営協議会

期 日：令和5年7月13日（木） 出席人数：8人  
協議事項：1) 役員体制について  
2) 令和4年度事業報告について

第2回運営協議会

期 日：令和6年3月26日（火） 出席人数：6人  
協議事項：1) 令和5年度の活動状況について  
2) 次年度の活動について

# 基幹相談支援センター①

<p>事業概要</p>	<p>美作市障害者地域活動支援センター「なごみ」は、令和4年度から美作市より基幹相談支援センター事業を受託し、地域活動支援センターI型の機能に加え基幹、相談支援センターとしての役割を担い、専門的な相談支援の実施や相談支援事業所からの相談等に対応するための専門性の向上を図っています。</p>																																																																																																																																											
<p>事業内容</p>	<p>①地域の相談支援体制の強化に関する業務                  ②地域移行及び地域定着の促進に関する業務                  ③権利の擁護及び虐待の防止に関する業務                  ④地域生活支援拠点等の整備に関する業務</p>																																																																																																																																											
<p>相談支援の実施</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p><b>① 相談者</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>実人数</th> <th>相談件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">本人</td> <td>12人</td> <td>45件</td> </tr> <tr> <td colspan="2">家族・親族</td> <td>11人</td> <td>27件</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">各分野の 関係機関</td> <td>医療関係</td> <td>2人</td> <td>8件</td> </tr> <tr> <td>高齢者関係</td> <td>1人</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>子ども関係</td> <td>6人</td> <td>25件</td> </tr> <tr> <td>生活困窮関係</td> <td>2人</td> <td>9件</td> </tr> <tr> <td>障害者関係</td> <td>21人</td> <td>165件</td> </tr> <tr> <td>美作市社協</td> <td>6人</td> <td>111件</td> </tr> <tr> <td colspan="2">その他</td> <td>2人</td> <td>7件</td> </tr> <tr> <td colspan="2">令和5年合計</td> <td>63人</td> <td>402件</td> </tr> <tr> <td colspan="2">令和4年合計</td> <td>43人</td> <td>293件</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="width: 48%;"> <p><b>② 相談支援を利用する障害者等実人数</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>障害児</th> <th>障害者</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>身体障害</td> <td>—</td> <td>3人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>重度心身障害</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>知的障害</td> <td>—</td> <td>12人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>精神障害</td> <td>—</td> <td>4人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>発達障害</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>高次機能障害</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>令和5年合計</td> <td>1人</td> <td>20人</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>令和4年合計</td> <td>1人</td> <td>12人</td> <td>13人</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>③ ケースにつながった実人数</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td>令和5年合計</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>令和4年合計</td> <td>13人</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div> <p><b>④ 支援方法</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>訪問</th> <th>来所</th> <th>同行</th> <th>電話</th> <th>メール</th> <th>個別 支援会議</th> <th>その他</th> <th>R5合計</th> <th>R4合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>53件</td> <td>22件</td> <td>33件</td> <td>140件</td> <td>4件</td> <td>150件</td> <td>—</td> <td>402件</td> <td>293件</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>⑤ 支援内容(全402件対応の内訳)</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>支援内容</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福祉サービス利用(年金・社会資源)</td> <td>256件</td> </tr> <tr> <td>障害や病気の理解に関する支援</td> <td>229件</td> </tr> <tr> <td>健康・医療(病気・服薬・受診)</td> <td>111件</td> </tr> <tr> <td>不安解消・情緒安定(生活上の悩み)</td> <td>112件</td> </tr> <tr> <td>保育・教育に関する支援</td> <td>103件</td> </tr> <tr> <td>家族・対人関係に関する支援</td> <td>338件</td> </tr> <tr> <td>家計(金銭管理)に関する支援</td> <td>242件</td> </tr> <tr> <td>生活技術に関する支援(生活支援)</td> <td>103件</td> </tr> <tr> <td>就労に関する支援(仕事・作業関係)</td> <td>168件</td> </tr> <tr> <td>社会参加・余暇活動に関する支援</td> <td>50件</td> </tr> <tr> <td>権利擁護に関する支援</td> <td>40件</td> </tr> <tr> <td>その他(関係機関との情報共有等)</td> <td>298件</td> </tr> </tbody> </table>											実人数	相談件数	本人		12人	45件	家族・親族		11人	27件	各分野の 関係機関	医療関係	2人	8件	高齢者関係	1人	5件	子ども関係	6人	25件	生活困窮関係	2人	9件	障害者関係	21人	165件	美作市社協	6人	111件	その他		2人	7件	令和5年合計		63人	402件	令和4年合計		43人	293件		障害児	障害者	合計	身体障害	—	3人	3人	重度心身障害	—	—	—	知的障害	—	12人	12人	精神障害	—	4人	4人	発達障害	1人	1人	2人	高次機能障害	—	—	—	その他	—	—	—	令和5年合計	1人	20人	21人	令和4年合計	1人	12人	13人	令和5年合計	21人	令和4年合計	13人	訪問	来所	同行	電話	メール	個別 支援会議	その他	R5合計	R4合計	53件	22件	33件	140件	4件	150件	—	402件	293件	支援内容	件数	福祉サービス利用(年金・社会資源)	256件	障害や病気の理解に関する支援	229件	健康・医療(病気・服薬・受診)	111件	不安解消・情緒安定(生活上の悩み)	112件	保育・教育に関する支援	103件	家族・対人関係に関する支援	338件	家計(金銭管理)に関する支援	242件	生活技術に関する支援(生活支援)	103件	就労に関する支援(仕事・作業関係)	168件	社会参加・余暇活動に関する支援	50件	権利擁護に関する支援	40件	その他(関係機関との情報共有等)	298件
		実人数	相談件数																																																																																																																																									
本人		12人	45件																																																																																																																																									
家族・親族		11人	27件																																																																																																																																									
各分野の 関係機関	医療関係	2人	8件																																																																																																																																									
	高齢者関係	1人	5件																																																																																																																																									
	子ども関係	6人	25件																																																																																																																																									
	生活困窮関係	2人	9件																																																																																																																																									
	障害者関係	21人	165件																																																																																																																																									
	美作市社協	6人	111件																																																																																																																																									
その他		2人	7件																																																																																																																																									
令和5年合計		63人	402件																																																																																																																																									
令和4年合計		43人	293件																																																																																																																																									
	障害児	障害者	合計																																																																																																																																									
身体障害	—	3人	3人																																																																																																																																									
重度心身障害	—	—	—																																																																																																																																									
知的障害	—	12人	12人																																																																																																																																									
精神障害	—	4人	4人																																																																																																																																									
発達障害	1人	1人	2人																																																																																																																																									
高次機能障害	—	—	—																																																																																																																																									
その他	—	—	—																																																																																																																																									
令和5年合計	1人	20人	21人																																																																																																																																									
令和4年合計	1人	12人	13人																																																																																																																																									
令和5年合計	21人																																																																																																																																											
令和4年合計	13人																																																																																																																																											
訪問	来所	同行	電話	メール	個別 支援会議	その他	R5合計	R4合計																																																																																																																																				
53件	22件	33件	140件	4件	150件	—	402件	293件																																																																																																																																				
支援内容	件数																																																																																																																																											
福祉サービス利用(年金・社会資源)	256件																																																																																																																																											
障害や病気の理解に関する支援	229件																																																																																																																																											
健康・医療(病気・服薬・受診)	111件																																																																																																																																											
不安解消・情緒安定(生活上の悩み)	112件																																																																																																																																											
保育・教育に関する支援	103件																																																																																																																																											
家族・対人関係に関する支援	338件																																																																																																																																											
家計(金銭管理)に関する支援	242件																																																																																																																																											
生活技術に関する支援(生活支援)	103件																																																																																																																																											
就労に関する支援(仕事・作業関係)	168件																																																																																																																																											
社会参加・余暇活動に関する支援	50件																																																																																																																																											
権利擁護に関する支援	40件																																																																																																																																											
その他(関係機関との情報共有等)	298件																																																																																																																																											

相談支援事業所への  
助言・支援

① 相談支援事業所からの相談件数

相談支援事業所数	4事業所
相談延件数	12人
ケース事例数	4件

② 相談を受けたケースの障害種別

	身体	重症 心身	知的	精神	発達	高次 脳機能	その他	合計
障害児	—	—	6人	4人	1人	—	1人	12人
障害者	—	—	—	—	1人	—	—	1人
合計	—	—	6人	4人	2人	—	1人	13人

③ 相談を受けたケースの障害種別

当事者との関わり方	7件
制度理解	—
社会資源利用	7件
障害理解	7件
関係機関調整	3件
計画作成	2件
再犯防止	—
権利擁護	1件
その他	—
合計	27件

④ 支援方法

訪問	3件
来所相談	5件
同行	—
電話	3件
メール	—
個別支援会議	1件
調整	—
その他	—
合計	12件

■ 相談員連絡会の開催

勝英管内の相談支援事業所を対象に、事例検討を通じてグループスーパービジョンを行っています。一人（事業所）での抱え込みの防止や、支援の幅や広がり、質の向上を図ることを目的としています。

開催日：毎月第1火曜日

構成員：勝田郡地域生活支援センター虹、相談支援センターほのか美作  
地域生活支援センターみまさか、相談支援事業所コネクト、  
相談支援事業所山河、相談支援事業所つばめ、  
美作市障害者地域活動支援センターなごみ、相談支援事業所みらい

開催回数：11回（6月中止）

参加延人数：113人

相談支援事業者  
の人材育成支援

<p>関係機関との連携強化の取り組み</p>	<p>■ 勝英地域自立支援協議会への参画と相談支援連絡会の運営</p> <p>勝英地域自立支援協議会は、個別支援会議や部会活動から出てきた地域のニーズや課題を整理し、障害の有無に関わらず誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指して、様々な立場の人が協働し考える場として、美勝英の市町村が持ちまわりで事務局を運営しています。</p> <p>現在4つの部会が活動しており、「なごみ」はすべての部会に参画しています。また、「なごみ」は、④相談支援連絡会の事務局として、地域の相談支援体制（介護保険・医療機関等連携含む）の充実や、地域生活支援拠点の整備・機能充実に向けて連携、調整及び協議を進めています。</p> <p>部 会 名：①ぐんぐん育てよう部会      ②地域生活サポート部会          ③元気になろうや部会      ④相談支援連絡会</p> <p>開 催 日：毎月第3火曜日</p> <p>構 成 員：美作市福祉政策課、勝央町健康福祉部、奈義町こども長寿課、西粟倉村保健福祉課、勝田郡地域生活支援センター虹、相談支援センターほのか美作、地域生活支援センターみまさか、相談支援事業所コネクト、相談支援事業所山河、相談支援事業所つばめ、美作市障害者地域活動支援センターなごみ、相談支援事業所みらい</p> <p>開 催 回 数：12回          参加延人数：194人</p>																																							
<p>関係機関との連携強化の取り組み</p>	<p>●相談支援連絡会の活動</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日 時</th> <th>内 容</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月18日(火)</td> <td>令和5年度の取り組みについて</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>5月16日(火)</td> <td>定例会（情報交換等）</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>6月20日(火)</td> <td>定例会（情報交換等）</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>7月18日(火)</td> <td>業務継続計画策定に関する勉強会 講師：津山市障害者基幹相談支援センター 笹井氏・安部氏</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>8月22日(火)</td> <td>定例会（情報交換等）</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>9月19日(火)</td> <td>定例会（情報交換等）</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>10月17日(火)</td> <td>性教育について勉強会 講師：フリー助産師 まつだゆきこ氏</td> <td>31人</td> </tr> <tr> <td>11月21日(火)</td> <td>定例会（情報交換等）</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>12月19日(火)</td> <td>定例会（情報交換等）</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>1月16日(火)</td> <td>定例会（情報交換等）</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>2月21日(火)</td> <td>介護保険との連携について介護支援専門員との交流会</td> <td>39人</td> </tr> <tr> <td>3月19日(火)</td> <td>年度の振り返り、次年度に向けて</td> <td>11人</td> </tr> </tbody> </table>	日 時	内 容	参加人数	4月18日(火)	令和5年度の取り組みについて	13人	5月16日(火)	定例会（情報交換等）	12人	6月20日(火)	定例会（情報交換等）	13人	7月18日(火)	業務継続計画策定に関する勉強会 講師：津山市障害者基幹相談支援センター 笹井氏・安部氏	13人	8月22日(火)	定例会（情報交換等）	8人	9月19日(火)	定例会（情報交換等）	16人	10月17日(火)	性教育について勉強会 講師：フリー助産師 まつだゆきこ氏	31人	11月21日(火)	定例会（情報交換等）	12人	12月19日(火)	定例会（情報交換等）	12人	1月16日(火)	定例会（情報交換等）	14人	2月21日(火)	介護保険との連携について介護支援専門員との交流会	39人	3月19日(火)	年度の振り返り、次年度に向けて	11人
日 時	内 容	参加人数																																						
4月18日(火)	令和5年度の取り組みについて	13人																																						
5月16日(火)	定例会（情報交換等）	12人																																						
6月20日(火)	定例会（情報交換等）	13人																																						
7月18日(火)	業務継続計画策定に関する勉強会 講師：津山市障害者基幹相談支援センター 笹井氏・安部氏	13人																																						
8月22日(火)	定例会（情報交換等）	8人																																						
9月19日(火)	定例会（情報交換等）	16人																																						
10月17日(火)	性教育について勉強会 講師：フリー助産師 まつだゆきこ氏	31人																																						
11月21日(火)	定例会（情報交換等）	12人																																						
12月19日(火)	定例会（情報交換等）	12人																																						
1月16日(火)	定例会（情報交換等）	14人																																						
2月21日(火)	介護保険との連携について介護支援専門員との交流会	39人																																						
3月19日(火)	年度の振り返り、次年度に向けて	11人																																						

<p>事業概要</p>	<p>美作市からの受託事業で、在宅で生活する障害等のある人が、軽作業を通じて生活のリズムを作り、対人関係の改善や社会に適応する力を養いながら社会復帰を目指すための障害者作業所の運営を行っています。 近年では利用者の高齢化が進み体調面での不安が増加していますが、平成30年度より障害者地域活動支援センター「なごみ」を受託したことにより情報の共有等、連携したサービス提供を行っています。利用者の中にはB型作業所と併用したり、「むぎの会」の利用を経てB型作業所へ移行された方がありました。</p>																							
<p>事業内容</p>	施設名称	美作市障害者共同作業所「むぎの会」																						
	事業所形態	地域活動支援センターⅢ型																						
	場所	世代交流多目的ホール（美作市社会福祉協議会美作支所）																						
	開所日	毎週火～金曜日：週4日開所（祝祭日・お盆、年末年始を除く）																						
	開所時間	13：00～16：00																						
<p>作業内容</p>	作業内容	フルーツキャップの梱包																						
		牛乳パックを使用したリサイクルはがき作り																						
		新聞紙を使った包装資材の加工（市内特産物販売業者へ納入）																						
	利用料	無料	指導員の配置	2人/日																				
<p>利用状況推移</p>	<table border="1" style="display: none;"> <caption>利用延人数推移表</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成29年</td> <td>1,172人</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>1,384人</td> </tr> <tr> <td>令和元年</td> <td>947人</td> </tr> <tr> <td>令和2年</td> <td>1,295人</td> </tr> <tr> <td>令和3年</td> <td>882人</td> </tr> <tr> <td>令和4年</td> <td>1,018人</td> </tr> <tr> <td>令和5年</td> <td>868人</td> </tr> </tbody> </table>								年度	利用延人数	平成29年	1,172人	平成30年	1,384人	令和元年	947人	令和2年	1,295人	令和3年	882人	令和4年	1,018人	令和5年	868人
年度	利用延人数																							
平成29年	1,172人																							
平成30年	1,384人																							
令和元年	947人																							
令和2年	1,295人																							
令和3年	882人																							
令和4年	1,018人																							
令和5年	868人																							
		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年																
	登録人数※1	12人	12人	11人	14人	12人	11人	10人																
	利用延人数	1,172人	1,384人	947人	1,295人	882人	1,018人	868人																
	開所日数	190日	190日	190日	190日	190日	190日	190日																
	※1.登録人数は、当該年度3月の人数を記載																							
<p>令和5年度 月別利用状況</p>		4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計																
	開所日数	16日	15日	18日	16日	16日	17日	868人																
	利用人数	78人	73人	81人	84人	81人	77人																	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月																	
	開所日数	17日	16日	15日	14日	16日	16日																	
	利用人数	70人	61人	76人	57人	64人	66人																	

## 福祉移送サービス事業

事業概要	<p>要介護高齢者及び障害者等、公共交通機関での移動が困難な方を対象に、リフト付自動車等の福祉車輛を使用して外出を支援し、社会参加を促進する有償運送事業を社協の自主財源を使った単独事業として行っています。</p> <p>ここ数年は、美作市タクシー利用補助事業（令和2年4月～）の利用が増えたことにより、利用件数が減少し横ばい状況にあります。令和6年度は、ガソリン代や人件費の高騰により、事業の収支バランスが悪化しているため、現行の利用料を改定します。</p>								
事業内容	運送主体	美作市社会福祉協議会							
	運送対象者	外出時に車椅子の使用が必要か歩行介助者が必要な方で、単独では公共交通機関の利用が困難な移動制約者として、あらかじめ登録した方及び介助者・付き添いをされる方							
	運送区域	市内を発着点とし、社協営業時間内で往復可能な区域							
	運行事務所	大原・東栗倉地域ステーション、作東地域ステーション							
	運行日	月曜日から金曜日（祝祭日及び12月29日から1月3日除く）							
	運行時間	午前9時から午後5時まで							
	使用車輛	美作市社会福祉協議会所有の福祉車輛							
	運転者	普通第二種免許を有する者及び指定講習受講修了者							
	利用料	基本料金：30分まで1,100円～以後30分毎に1,100円追加 迎車料金50円/km ※最寄りの社協地域STから初乗り場所まで							
令和5年度	登録者数推移		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	
		大原地域ST	9人	12人	12人	16人	17人	9人	
		作東地域ST	13人	8人	8人	9人	9人	6人	
		合計	22人	20人	20人	25人	26人	15人	
	登録者内訳		要介護認定者	身障手帳所持者	その他				合計
		大原地域ST	3人	5人	1人				9人
		作東地域ST	—	5人	1人				6人
		合計	3人	10人	2人				15人
	利用件数推移		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	
		大原地域ST	4件	15件	11件	11件	7件	10件	
		作東地域ST	21件	9件	1件	69件	146件	147件	
		合計	25件	24件	12件	80件	153件	157件	
	利用内容内訳		通院	社会参加					合計
		大原地域ST	10件	—					10件
		作東地域ST	141件	6件					147件
	合計	151件	6件					157件	
利用者の実態	利用実人数	7人（内訳）身障4人、要介護認定者2人、精神1人							
	利用者住所地	大原地域2人、東栗倉地域3人、英田地域2人							
	移送先	津山市143件、市内9件、佐用町3件、西栗倉村2件							

事業概要

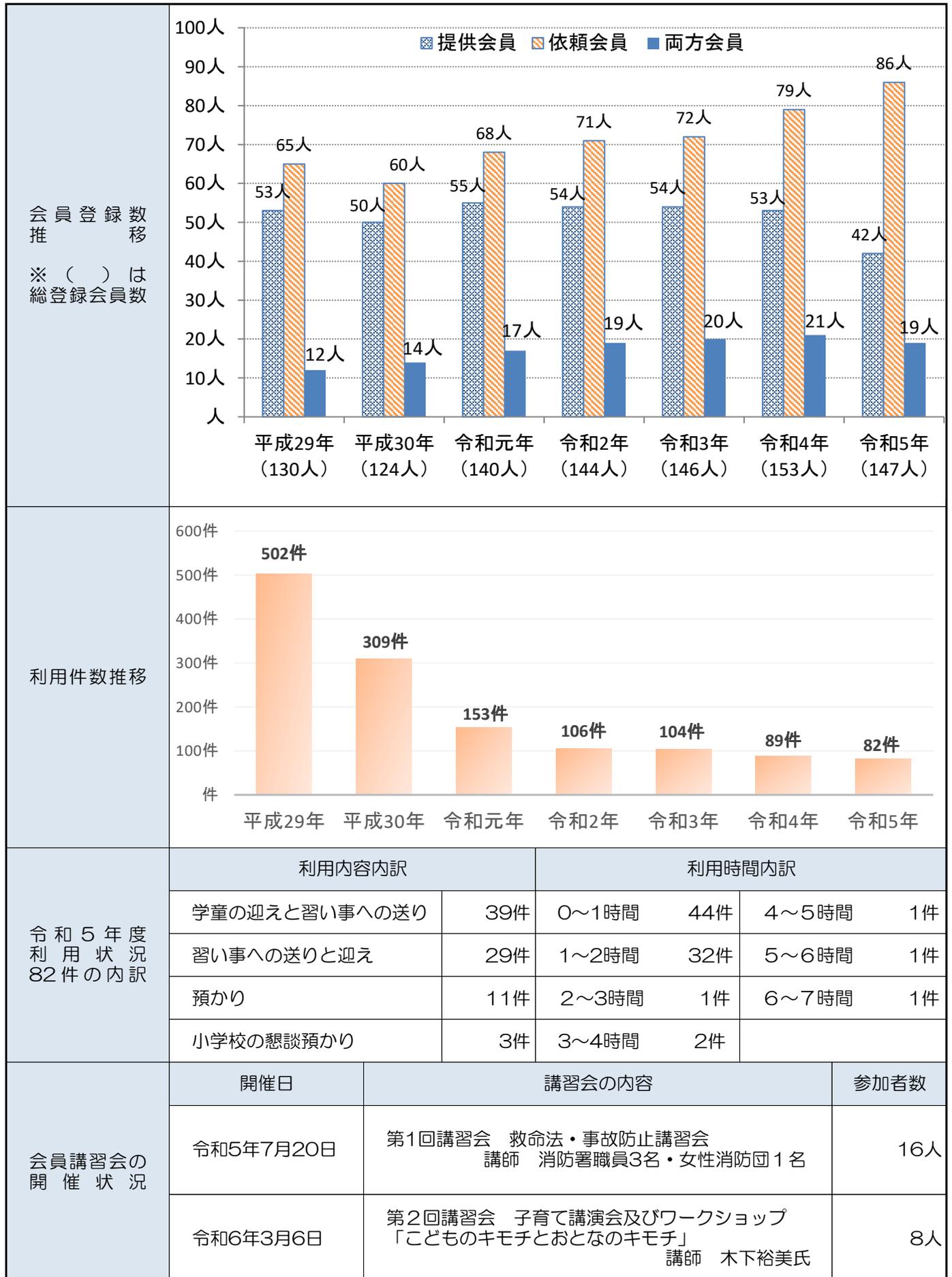


美作市の受託事業で、保護者の子育てと就労支援を目的に、育児の援助を受けたい人（依頼会員）と、子育てのお手伝いができる人（提供会員）が会員となり、相互の信頼と了解の上で一時的にお子さんを預る、子育ての相互援助事業を行っています。美作地域ステーションに、美作市ファミリーサポートセンターを設置し、仲介斡旋業務を行うアドバイザーが、会員の紹介、援助活動の依頼など会員間の調整等を行っています。

事業内容

名 称	美作市ファミリー・サポート・センター			
センター事務局	美作地域ステーション内（世代交流多目的ホール）			
センター受付日時	月～金曜日（祝祭日・お盆、年末年始を除く）9：00～17：00			
会 員 区 分	依頼会員：美作市在住で子育ての援助を受けたい保護者			
	提供会員：美作市在住で子育ての援助活動ができる人：資格不問			
	両方会員：美作市在住で依頼・提供会員の両方の活動が可能な人			
援 助 の 対 象	依頼会員の同居親族で、概ね生後3か月以上10歳未満の乳幼児及び児童			
援 助 活 動 の 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育施設の保育開始時まで、保育終了後の子どもの預かり</li> <li>・ 保育施設までの子どもの送迎</li> <li>・ 小学校の放課後、放課後児童クラブ終了後の子どもの預かり</li> <li>・ 仕事と育児の両立のために援助が必要な場合の子どもの預かり</li> </ul>			
利 用 料			1時間まで	以降30分毎
	平日	午前7時～午後7時まで	500円	250円
		午後7時～午前7時まで	700円	350円
	土・日曜日、祝日及びセンターが定める別の日		700円	350円
年 会 費	500円	会 員 登 録 料	無料	
補 償 保 険	サービス提供会員傷害保険・賠償責任保険・依頼子供傷害保険			

## ファミリー・サポート・センター事業 ②



<p>事業概要</p>	<p>美作市の受託事業で、在宅の高齢者等が安心して健康で自立した生活を送ることができるよう、食生活の自立、健康の増進等を図り、併せて安否確認を行うことにより、在宅生活での自立を支援しています。令和5年度より勝田地域も事業実施区域になりました。</p>						
<p>事業内容</p>	<p>対象者</p>	<p>1. 概ね65歳以上の一人暮らしで、身体機能が低下している方</p>					
		<p>2. どちらか一方が虚弱な高齢者夫婦世帯</p>					
		<p>3. その他、市長が「食」の自立支援を必要と認める方</p>					
	<p>利用料</p>	<p>400円／1食</p>					
	<p>提供日・配達方法</p>	<p>勝田地域ST</p>	<p>月～金曜日（週5回）</p>	<p>臨時配達員</p>			
<p>大原・東地域ST</p>		<p>月～日曜日（週7日）</p>	<p>シルバー人材センター</p>				
<p>作東地域ST</p>		<p>月～金曜日（週5回）</p>	<p>臨時配達員</p>				
<p>英田地域ST</p>		<p>月～金曜日（週5回）</p>	<p>弁当業者</p>				

<p>（令和6年利用実数3月末推現在）</p>																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成29年</th> <th>平成30年</th> <th>令和元年</th> <th>令和2年</th> <th>令和3年</th> <th>令和4年</th> <th>令和5年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>勝田地域ST</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>34人</td> </tr> <tr> <td>大原・東地域ST</td> <td>36人</td> <td>41人</td> <td>42人</td> <td>39人</td> <td>30人</td> <td>28人</td> <td>29人</td> </tr> <tr> <td>作東地域ST</td> <td>28人</td> <td>27人</td> <td>28人</td> <td>45人</td> <td>39人</td> <td>51人</td> <td>54人</td> </tr> <tr> <td>英田地域ST</td> <td>17人</td> <td>14人</td> <td>10人</td> <td>11人</td> <td>15人</td> <td>14人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>81人</td> <td>82人</td> <td>80人</td> <td>95人</td> <td>84人</td> <td>93人</td> <td>127人</td> </tr> </tbody> </table>		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	勝田地域ST	—	—	—	—	—	—	34人	大原・東地域ST	36人	41人	42人	39人	30人	28人	29人	作東地域ST	28人	27人	28人	45人	39人	51人	54人	英田地域ST	17人	14人	10人	11人	15人	14人	10人	合計	81人	82人	80人	95人	84人	93人	127人
		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年																																									
	勝田地域ST	—	—	—	—	—	—	34人																																									
	大原・東地域ST	36人	41人	42人	39人	30人	28人	29人																																									
	作東地域ST	28人	27人	28人	45人	39人	51人	54人																																									
	英田地域ST	17人	14人	10人	11人	15人	14人	10人																																									
合計	81人	82人	80人	95人	84人	93人	127人																																										

<p>配食利用数推移（単位／食）</p>																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成29年</th> <th>平成30年</th> <th>令和元年</th> <th>令和2年</th> <th>令和3年</th> <th>令和4年</th> <th>令和5年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>勝田地域ST</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>5,313食</td> </tr> <tr> <td>大原・東地域ST</td> <td>7,351食</td> <td>7,835食</td> <td>7,544食</td> <td>7,955食</td> <td>7,133食</td> <td>5,942食</td> <td>6,383食</td> </tr> <tr> <td>作東地域ST</td> <td>3,884食</td> <td>4,757食</td> <td>3,943食</td> <td>5,195食</td> <td>6,821食</td> <td>7,671食</td> <td>7,683食</td> </tr> <tr> <td>英田地域ST</td> <td>2,517食</td> <td>2,310食</td> <td>1,865食</td> <td>1,437食</td> <td>1,906食</td> <td>2,522食</td> <td>2,164食</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>13,752食</td> <td>14,902食</td> <td>13,352食</td> <td>14,587食</td> <td>15,860食</td> <td>16,135食</td> <td>21,543食</td> </tr> </tbody> </table>		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	勝田地域ST	—	—	—	—	—	—	5,313食	大原・東地域ST	7,351食	7,835食	7,544食	7,955食	7,133食	5,942食	6,383食	作東地域ST	3,884食	4,757食	3,943食	5,195食	6,821食	7,671食	7,683食	英田地域ST	2,517食	2,310食	1,865食	1,437食	1,906食	2,522食	2,164食	合計	13,752食	14,902食	13,352食	14,587食	15,860食	16,135食	21,543食
		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年																																									
	勝田地域ST	—	—	—	—	—	—	5,313食																																									
	大原・東地域ST	7,351食	7,835食	7,544食	7,955食	7,133食	5,942食	6,383食																																									
	作東地域ST	3,884食	4,757食	3,943食	5,195食	6,821食	7,671食	7,683食																																									
	英田地域ST	2,517食	2,310食	1,865食	1,437食	1,906食	2,522食	2,164食																																									
合計	13,752食	14,902食	13,352食	14,587食	15,860食	16,135食	21,543食																																										

## 生活管理指導員派遣事業・産前産後ヘルパー派遣事業

### 生活管理指導員派遣事業

事業概要	生活管理指導員派遣事業は美作市の受託事業で、概ね65歳以上の高齢者を対象に、基本的な生活習慣が欠如していたり、対人関係が成立しにくいなどの社会適応が困難な高齢者に対して、生活管理指導員（ホームヘルパー等）を派遣し、日常生活に対する指導や支援を行い、要介護状態への進行を予防し、自立した生活の向上を図ります。							
事業内容	対象者	基本的な生活習慣が欠如していたり、対人関係が成立しない等の社会適応が困難な高齢者。「要支援」及び「要介護」認定者は利用できない。						
	サービス内容	1. 日常生活に関する支援・指導（基本的な生活習慣を習得の支援・指導）						
		2. 家事に対する支援と指導						
		3. 対人関係の構築のための支援と指導（近隣住民との関係修復等）						
4. 関係機関との連絡調整								
	利用者負担金	200円/1時間当たり ※委託金額 1時間当たり2,780円						
実人数推移		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
	大原支所	—	—	1人	—	—	—	—
	作東支所	1人	—	—	—			
	合計	1人	—	1人	—	—	—	—
訪問回数推移		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
	大原支所	—	—	5回	—	—	—	—
	作東支所	19回	—	—	—			
	合計	19回	—	5回	—	—	—	—

### 産前産後ヘルパー派遣事業

事業概要	美作市の受託事業で、妊婦及び産後1年以内の産婦を対象に家事の支援や授乳、おむつ交換等の育児に関する支援を行います。							
事業内容	対象者	美作市内に住所を有する妊婦及び産後1年以内の産婦						
	サービス内容	1. 家事に対する支援（食事の準備、洗濯、掃除、買い物、関係機関との連携）						
		2. 育児に対する支援（授乳の手伝い、おむつ交換・着替え、沐浴、育児環境の整備）						
	利用料	500円/1回当たり						
	委託金額	1回当たり2,780円						
派遣回数等	1. 1回の出産ごとの利用上限は15回（多胎児は30回）							
	2. 1回当たりの利用上限は2時間							
利用状況		令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年		
	利用世帯数	2世帯	2世帯	2世帯	1世帯	1世帯		
	訪問回数	25回	12回	11回	11回	3回		

事業概要		<p>●募金期間：10月1日～12月31日 戸別・法人・街頭・学校・職域等で募金活動を展開</p> <p>市民の募金への協力とそれぞれの支所で募金を適切に配分することで、民間財源を有効に活用するとともに、市民の福祉への参加と関心を高めています。</p> <p>共同募金の配分金は、旧町村域の福祉活動の財源として、全て還元することを基本に事業を実施していますが、障害者の当事者団体や家族会への支援の必要性、ボランティアグループの多様な活動や、新たな福祉ニーズに対応するために、令和2年度より配分内容を見直し、従来の地域配分に市域枠配分を加え（配分額1,165,000円）活用しました。</p>							
		<p>●募金期間：10月1日～12月31日 戸別・法人・街頭・学校・職域等で募金活動を展開</p>							
募金額推移 (単位：円)			平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
		目標額	5,000,000円	4,900,000円	4,800,000円	4,800,000円	4,800,000円	4,800,000円	4,700,000円
		実績額	4,280,730円	4,459,708円	4,305,592円	4,260,918円	4,229,353円	4,050,449円	3,968,152円
		達成率	85.6%	91.0%	89.7%	88.8%	88.1%	84.4%	84.4%
地域別実績額 (単位：円)			勝田地域	大原地域	東栗倉地域	美作地域	作東地域	英田地域	合計
		目標額	470,000円	620,000円	170,000円	2,020,000円	980,000円	440,000円	4,700,000円
		実績額	558,001円	516,795円	157,532円	1,519,506円	865,201円	351,117円	3,968,152円
		達成率	118.7%	83.4%	92.7%	75.2%	88.3%	79.8%	84.4%
募金ボランティア				勝田地域	大原地域	東栗倉地域	美作地域	作東地域	英田地域
		募金ボランティア団体名		民生委員	日赤協賛員会	民生委員	福祉委員	区長	部落長
配分事業内訳		決算額	主  な  実  施  事  業						
	勝  田	164,000円	地域社協助成、介護者家族の会助成、勝田ひまわり園、勝田小・東小学校、勝田地域ボランティア連						
	大  原	106,000円	地域社協助成、むさしこども園・大原小学校						
	東栗倉	39,000円	地域社協助成、サロンへの消毒液配布						
	美  作	306,000円	地域社協助成、美作地域一人暮らしの会助成、地区社協一人暮らしの会助成						
			美作地域ボランティア連絡協議会助成						
	作  東	179,000円	地域社協助成						
	英  田	71,000円	地区社協助成						
市域枠	1,165,000円	<p>1) 障害児者福祉活動費 みまさかクローバーの会、がんばろう会、障害児者親の会、愛夢皆の会、むぎの会、にこにこ会、作東親の会、岡山県視覚障害者協会美作支部</p> <p>2) 児童・青少年福祉活動費 子ども食堂助成、居場所づくり助成</p> <p>3) ボランティア活動育成事業費 勝田サロンの会、お話の会このゆびとまれ、介護予防サポーターつくし会、交流し理解から支援につなぐ会「こりす」、ささゆり会、日赤協賛員会、すみれ会ボランティアサークル「ぼけっと」、でこぼん、あすなる会、要約筆記サークルおおはら語りの会「昔こっぶり」、ほがらか会、手話サークルあおぞら、グリーンハンド観光ボランティアガイドの会、民話の会ほっこり、たんぼほの会、かぼちゃの馬車、日本語支援みまさかの会、みまさか朗読の会、みまさか子育てサポートっこ、栗井福祉ボランティア、吉野福祉ボランティア、福山福祉ボランティア、サポーター作東、手話サークル「きらら」、なのはなクラブ、美作えがお広め隊ボランティアグループ「なでしこ英田」</p> <p>4) 老人福祉活動費 友愛訪問支援事業</p>							
赤い羽根まちづくり福祉活動助成事業		岡山県共同募金会が公募する地域住民の地域福祉活動を支援する助成事業に、本会からも申請し60万円の助成金が交付された。助成金は、「福祉ネットワークづくり事業」の財源に充当。							

# ボランティア活動推進事業 ①

<p>事業概要</p>	<p>美作市の補助金を受け、ボランティアの育成・支援を行っています。少子高齢化により支える側が減少し支えられる側が増加している美作市において、市民参加による助け合い活動を推進するためには、ボランティアを中心に新たな担い手を増やすことが重要です。</p> <p>市内のボランティア人口を増やすために、ボランティア活動に関する情報発信やボランティア登録を促進するとともに、全ての市民に向けた福祉教育や講座等の学習の場を提供し、誰もがボランティア活動に参加し、活動ができる環境づくりを支援することを目的に令和2年4月1日に美作市社協ボランティアセンターを設立しました。</p> <p>また、平時より災害に備えた仕組みとして常設型の災害ボランティアセンターを設置し活動についての広報・啓発・情報発信、また運営協力者の事前登録・育成、資機材整備等様々な事業を行いながら災害に備えてまいります。令和5年度は、長引くコロナ禍により低迷しているボランティア活動の再開と、活動の普及を目的に、9月21日「ボランティアを楽しもう！新たな気持ちで」と題した講演会を開催しました。</p>			
<p>美作市社協ボランティアセンター</p>	<p><b>■ 美作市社協ボランティアセンターの機能充実に向けた計画</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 社協地域ステーションと連携したボランティアセンターのコーディネート機能の充実</li> <li>② ボランティアグループの育成・支援             <ul style="list-style-type: none"> <li>・分野別（高齢者、障害者、子育て、地域福祉）の部会開催（グループ同士の情報交換、交流会：年1回）</li> <li>・ボランティア登録と活動保険の加入斡旋</li> </ul> </li> <li>③ 人材の育成（各種養成講座・研修会等の開催）             <ul style="list-style-type: none"> <li>・手話奉仕員養成講座の開催</li> <li>・「障害理解を広めるボランティアさん」養成講座の開催</li> <li>・ボランティア講演会の開催（2年に1回開催：次回令和7年度）</li> <li>・市社協広報誌を通じたボランティア紹介：「輝くボランティア」</li> </ul> </li> <li>④ 「夏のボランティア体験事業」の実施</li> <li>⑤ 市内の小・中・高校生に向けた体験型福祉教育の開催とメニュー作成</li> <li>⑥ 市内地区社協に向けた「地域福祉講座」の開催</li> <li>⑦ 常設災害ボランティアセンターの設置             <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害ボランティアセンターの研修（毎年開催）</li> <li>・災害ボランティアセンター模擬訓練（毎年開催）</li> <li>・災害ボランティアセンター運営協力登録者の募集と育成</li> <li>・災害ボランティアセンターの広報、啓発及び情報提供</li> </ul> </li> </ol>			
<p>ボランティアセンター登録グループ一覧</p>	<p>登録団体数</p>	<p>31団体</p>	<p>登録会員数</p>	<p>577人</p>
<p>地域名</p>	<p>グループ名</p>	<p>会員数</p>	<p>主な活動</p>	
<p>勝田 (4)</p>	<p>勝田サロンの会</p>	<p>19名</p>	<p>勝田地区内の高齢者サロン活動</p>	
<p></p>	<p>お話の会 このゆびとまれ！</p>	<p>7名</p>	<p>絵本の読み聞かせ</p>	
<p></p>	<p>介護予防サポーターつくし会</p>	<p>17名</p>	<p>高齢者の介護予防体操</p>	
<p></p>	<p>交流し理解から支援につなぐ会「こりす」</p>	<p>8名</p>	<p>障害者等との交流・支援</p>	
<p>大原 (6)</p>	<p>ささゆり会</p>	<p>6名</p>	<p>高齢者加の手伝い、子育てサロン</p>	
<p></p>	<p>ボランティアサークル「ぼけっと」</p>	<p>7名</p>	<p>絵本の読み聞かせ・託児・サロン等</p>	
<p></p>	<p>日赤岡山県支部大原分区協賛員会</p>	<p>73名</p>	<p>救護ボランティア</p>	
<p></p>	<p>でこぼん</p>	<p>13名</p>	<p>介護予防体操教室のサポート</p>	
<p></p>	<p>あすなろ会</p>	<p>5名</p>	<p>男性料理教室の手伝い</p>	
<p></p>	<p>おおはら語りの会 昔こっぴり</p>	<p>8名</p>	<p>民話の語り部</p>	

地区名	グループ名	会員数	主な活動
ボランティアセンター登録グループ一覧	美作手話サークル あおぞら	15名	手話サークル（昼の部）
	みまさか子育て клуб「こっこ」	17名	参加日の預かり保育・乳幼児サロン
	美作要約筆記サークル	7名	講演会等での要約筆記
	みまさか朗読の会	9名	地域との交流・読み聞かせ
	たんぼぼの会	9名	高齢者サロン支援・友愛訪問等
	美作傾聴ボランティア ほがらか会	6名	高齢者宅等での傾聴訪問活動
	すみれ会	52名	高齢者の介護予防体操
	美作マジック同好会	14名	手品の披露
	みまさか民話の会 ほっこり	10名	民話の語り部
	美作市観光ボランティアガイドの会	13名	市内の各所旧跡、神社仏閣等の観光ガイド
	日本語支援 みまさかの会	8名	外国出身者への日本語支援
	手話サークル geen hand	7名	聴覚障害者への理解普及・啓発・支援
作東(8)	吉野福祉ボランティアの会	60名	一人暮らし高齢者の見守り・ふれあい活動
	粟井福祉ボランティアの会	21名	見守り訪問活動・手作りお弁当の配付
	福山地区ボランティアの会	37名	小学校・なごみとの交流・地域の行事
	サポーター作東	64名	介護予防体操の普及
	かぼちゃの馬車	9名	人形劇、ペープサート、読み聞かせ他
	手話サークル「きらら」	8名	手話学習・ろう者との交流・施設訪問
	なのはなクラブ	11名	健康福祉ボランティア・地域活性化調査研究
	美作えがお広め隊（新規）	11名	障害の理解啓発を目的とした福祉教育
英田(1)	ボランティアグループ「なでしこ英田」	26名	介護予防体操の普及

ボランティア育成活動

■ 2023夏のボランティア体験事業

市内の中・高校生が、夏休み期間を利用してボランティア体験をする「2023夏のボランティア体験事業」は新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより参加者、受入れ施設共に増加しました。

コロナ禍で今までボランティア活動に参加したことのない生徒にとっては初めての貴重な体験になりました。

実施期間：令和5年7月21日～8月31日

参加者：140人

受入施設：39施設



## ボランティア活動推進事業 ③

<p>ボランティア養成講座の開催</p>	<p>■ <b>令和5年度 手話奉仕員養成講座 基礎課程</b>（会場：美作市民センター）</p> <p>受講者：21名                      修了者：14名</p> <p>令和5年5月8日～12月18日手話奉仕員の養成講座基礎課程を全28回開催</p>
<p>ボランティアグループ支援</p>	<p>■ <b>託児ボランティア「みまさか子育てサポートっこ」の事務局</b></p> <p>こども園の行事や、美作市主催の教室や講演会、子育てサロン等で託児ボランティアをする「みまさか子育てサポートっこ」の事務局として、美作市社協ボランティアセンターが依頼先と会員との調整を行っています。新型コロナウイルス感染症による行動制限も緩和され、行事も増えてきましたが、会員の人材不足や高齢化などで調整対応に追われました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 託児依頼件数：73件（R4年度：98件）</li> <li>② 活動件数：37件（R4年度：57件）</li> <li>③ キャンセル：36件（令和4年度：41件）</li> <li>④ 託児人数：106人（R4年度：140人）</li> <li>⑤ 活動人数：78人（R4年度：135人）</li> <li>⑥ 依頼先：美作北こども園・湯郷こども園・市子ども政策課・市教育委員会・子育てサロン他</li> </ul>
<p>福祉教育ガイドブックの作成</p>	<p>■ <b>「福祉教育ガイドブック(小学校編・中学校編)」</b></p> <p>美作市内の小学生・中学生を対象に「将来の地域福祉の担い手を地域ぐるみで育む」ことを目的に福祉教育の充実に取り組んでいます。</p> <p>従来から行っていた高齢者疑似体験やアイマスク体験、車いす体験に新たなプログラムを加えた「福祉教育ガイドブック」の小学校編・中学校編を作成しました。</p> <p>ガイドブックは小中学校の先生と協議し、福祉教育を通じて、子供の自主性を育み、自ら考え行動するアクティブラーニングや実際に自分たちが住む地域でボランティア活動を実践するサービスラーニングの手法を取り入れたプログラムになっています。</p> <p>このガイドブックを活用することによって、限られた時間の中でより効果的に福祉教育を進めていくことが出来るようになりました。</p> 
<p>ボランティア講演会の開催</p>	 <p>9月21日（木）かつた市民センターにおいて、美作市社協主催による「ボランティア講演会」を開催し、市内のボランティアグループやボランティアに関心を寄せる市民約90名の参加がありました。</p> <p>本講演会は、コロナ禍により以前のようなボランティア活動ができていない状況が見受けられる中、改めてボランティア活動の楽しさを感じ、新たな気持ちで活動に取り組んでいただくために、mottoひょうご事務局長 栗木剛氏を講師にお招きし「ボランティアを楽しもう！新たな気持ちで～」と題し、ご講演いただきました。</p>

所轄地域 区-ン	期 日	開催場所	対 象	人数	内 容
勝 田	令和5年8月22日	勝田中学校	全校生徒	42名	視覚障害者講演・アイマスク体験
	令和5年11月11日	勝田小学校	小学2年生 PTA	10名	聴覚障害理解
	令和5年11月11日	勝田小学校	小学4年生 PTA	20名	障害理解・車椅子体験
大 原	令和5年11月10日	大原中学校	中学1年生	26名	車椅子・高齢者疑似体験
	令和5年12月14日	大原小学校	小学4年生	24名	高齢者疑似体験・施設訪問
美作	令和5年6月26日	美作北 小学校	小学4年生	65名	福祉について
	令和5年9月4日		小学4年生	65名	車椅子・アイマスク体験
	令和5年9月15日		小学4年生	65名	視覚障害者との交流・手話
	令和6年2月9日	美作第一 小学校	小学4年生	36名	聴覚障害者との交流・手話
	令和6年2月13日		小学4年生	31名	車椅子・アイマスク体験
作 東	令和5年11月8日	作東中学校	中学1年生	15名	視覚障害者の講演・交流
	令和5年11月17日		中学1年生	15名	車椅子体験、高齢者疑似体験 アイマスク体験・白杖体験
英 田	令和5年11月17日	英田中学校	中学1年 生	9名	聴覚障害について・手話
	令和5年12月7日		保護者	9名	車椅子・アイマスク・ 白杖体験



大原中学校で行ったやすらぎ荘職員と美作市社協職員による車椅子体験



勝田中学校で行った「美作えがお広め隊」と美作市社協による視覚障害についての福祉教育

# 日常生活自立支援事業 ①

<p>事業概要</p>	<p>判断能力の不十分な認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等が地域で自立した生活が送れるよう、美作市社協と利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助、日常の金銭管理、書類預か等のサービスを行っています。平成27年から各地で事業説明会や関係機関との連携強化を図り、困難事例についても積極的な契約を行った結果、人口当たりの事業利用者数が、県内で最も多く県平均の5倍の利用者数となっています。令和5年度も、コロナの規制・制限が緩和されたこともあり、施設や自宅での面会が増え、支援員の稼働時間が増加しました。問合せ件数も年々増加しており、利用者の増加が見込まれます。</p> <p>【人口千人当たりの利用者数：2.47人（県内平均0.49人）          県内の実利用者数：1位 倉敷市・津山市（68人）、3位 美作市（61人）          数字は、令和6年3月末現在 ※岡山市は、政令指定都市のため除く】</p>							
<p>事業内容</p>	<p>サービス内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>福祉サービスの利用援助             <ul style="list-style-type: none"> <li>福祉サービスの利用や利用を止める手続き</li> <li>福祉サービスの利用料を支払う手続き</li> <li>福祉サービスの苦情解決制度を利用する手続き</li> </ul> </li> <li>日常的な金銭管理             <ul style="list-style-type: none"> <li>年金や福祉手当などの受領に必要な手続き</li> <li>税金、社会保険料、医療費、公共料金の支払手続き</li> <li>日常的な生活費の払戻し、預け入れなどの手続き</li> </ul> </li> <li>書類等の管理             <ul style="list-style-type: none"> <li>金融機関の貸金庫で、預貯金通帳、年金証書、権利証、契約書類、保険証書、印鑑の大切な書類の預かり</li> </ul> </li> </ol> 						
	<p>対象者</p>	<p>認知症高齢者、知的・精神障害者の方で、日常生活を営むのに必要な判断などが本人のみでは適切に行うのが困難な方。</p>						
	<p>利用料</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>福祉サービスの利用援助・日常的な金銭管理サービス 1,100円/1時間＋交通費 ※1時間を超える場合は30分毎に550円加算</li> <li>書類等の預かりサービス：年間5,000円</li> </ol>						
	<p>サービス提供頻度</p>	<p>福祉サービス利用援助・日常的な金銭管理サービスの定期的な支援頻度は、概ね月1～4回程度</p>						
	<p>日援事業専門員</p>	<p>相談の受け付けや支援計画の作成、定期的な訪問、関係機関等との調整等のコーディネイト業務をする専門職を1名配置</p>						
	<p>生活支援員</p>	<p>支援計画に基づき日援事業専門員の指示を受けて、支払い代行や生活費等のお届け等、具体的なサービスを提供する生活支援員を14名配置</p>						
<p>サービス開始までの流れ</p>	 <table border="1" data-bbox="341 1825 1485 2098"> <tr> <td data-bbox="341 1825 558 1921"> <p>審査会</p> </td> <td data-bbox="558 1825 1485 1921"> <p>利用・契約に関して、学識経験者、医師、弁護士、福祉・行政関係者による「契約締結審査会」を県社協が開催し審査（年6回開催）</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="341 1921 558 2018"> <p>契約</p> </td> <td data-bbox="558 1921 1485 2018"> <p>本人のサービス内容についての理解や利用の意思について確認等を行い本人と美作市社協が契約を締結</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="341 2018 558 2098"> <p>支援計画の作成</p> </td> <td data-bbox="558 2018 1485 2098"> <p>支援計画を作成し、金銭の支払いや振込み、生活費のお届けなどのサービス内容や頻度を決定</p> </td> </tr> </table>		<p>審査会</p>	<p>利用・契約に関して、学識経験者、医師、弁護士、福祉・行政関係者による「契約締結審査会」を県社協が開催し審査（年6回開催）</p>	<p>契約</p>	<p>本人のサービス内容についての理解や利用の意思について確認等を行い本人と美作市社協が契約を締結</p>	<p>支援計画の作成</p>	<p>支援計画を作成し、金銭の支払いや振込み、生活費のお届けなどのサービス内容や頻度を決定</p>
<p>審査会</p>	<p>利用・契約に関して、学識経験者、医師、弁護士、福祉・行政関係者による「契約締結審査会」を県社協が開催し審査（年6回開催）</p>							
<p>契約</p>	<p>本人のサービス内容についての理解や利用の意思について確認等を行い本人と美作市社協が契約を締結</p>							
<p>支援計画の作成</p>	<p>支援計画を作成し、金銭の支払いや振込み、生活費のお届けなどのサービス内容や頻度を決定</p>							

令和5年度 利用状況		認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計				
	令和5年度 新規契約件数	3名	2名	—	—	5名				
	令和5年度末 実利用者数	12名	37名	10名	2名	61名				
※契約終了件数10件 死亡2件、成年後見移行1件、転居2件、他市町村へ移管1件、施設入所1件、家族管理3件										
令和5年度 支所別利用 契約者内訳										
利用契約者 区分推移		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
	認知症高齢者	9名	8名	7名	7名	8名	9名	13名	10名	12名
	知的障害者	21名	27名	33名	31名	34名	38名	43名	40名	37名
	精神障害者	4名	7名	7名	7名	6名	10名	9名	12名	10名
	その他	—	—	—	—	—	2名	2名	3名	2名
	合計	34名	42名	47名	45名	48名	59名	67名	65名	61名
活動状況推移		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
日援事業 専門員	問合せ事業説明	16件	25件	16件	21件	31件				
	相談援助	1,225件	1,680件	2,268件	1,939件	1,914件				
	合計	1,241件	1,705件	2,284件	1,960件	1,945件				
生活支援員	稼働状況	603回	464回	321回	394回	467回				
会議・相談会 開催状況	会議名	開催日	内容			参加者等				
	生活支援員連絡会議	偶数月の 22日	生活支援員の業務内容の確認と 情報交換			社協職員3名 生活支援員 13名				

## 法人後見事業 ①

事業概要	<p>認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等、判断能力の低下した方が、地域で自立した生活が送れるよう、また、様々な権利が侵害されないよう、成年後見制度の利用を促進し、市社協が法人として成年後見人、保佐人もしくは補助人になることにより、本人の財産管理や身上監護を行い、適切かつ効果的に援助を行います。なお、適正運営を担保するために、弁護士1名・司法書士2名と顧問契約を締結しています。</p>								
事業の開始	平成27年2月4日から本会独自事業として開始								
職員体制	法人後見専門員（社会福祉士・精神保健福祉士等）：3名 法人後見支援員：13名								
後見業務の利用要件等	<p>美作市内に在住する方で、他に適切な後見人等が得られない方で、紛争性が無く、身上監護と日常的な金銭管理が中心の方で、次のいずれかに該当する方</p> <p>① 市長申立てをする方で、他に適切な後見人等が得られない方          ② 原則として、高額な財産を所有せず、他に適切な後見人等が得られない方          ③ 日常生活自立支援事業利用者で、判断能力が低下した方のうち、①か②に該当する方          ④ 本会及び法人後見運営委員会が特に必要と認める場合</p>								
受任状況	受任中：14件（後見4件・補佐9件・補助1件） 終了：1件 延受任件数：29件								
法人後見受任状況		性別	年齢	類型	申立人	区分	審判を受けた年月	居所	利用経緯
	1	女性	90代	後見	市長	認知症	平成27年8月	介護医療施設	日援事業
	2	男性	80代	保佐	本人	認知症	平成27年10月	ケアハウス	日援事業
	3	女性	80代	補助	市長	知的	平成29年6月	在宅	市長申立
	4	女性	80代	後見	市長	精神	平成29年12月	特養	市長申立
	5	男性	60代	保佐	本人	知的	平成30年2月	グループホーム	日援事業
	6	女性	60代	保佐	保佐人	知的	平成30年6月	自宅	日援事業
	7	女性	40代	保佐	保佐人	知的	平成30年10月	グループホーム	日援事業
	8	女性	70代	保佐	町長	認知症	平成31年4月	養護	町長申立
	9	男性	50代	後見	市長	知的	令和元年5月	障害者施設	市長申立
	10	男性	50代	保佐	市長	知的	令和元年6月	障害者施設	市長申立
	11	女性	60代	保佐	市長	精神	令和元年11月	自宅	市長申立
	12	女性	80代	保佐	市長	認知症	令和2年7月	特養	市長申立
	13	女性	70代	保佐	親族	認知症	令和3年10月	特養	日援事業
14	女性	80代	後見	市長	認知症	令和4年8月	サービス付き高齢者向け住宅	市長申立	
関係機関・団体等との連携	<p>①みまさかネットワークへの参加（コロナ禍のため中止）          ②勝英地域自立支援協議会への参加          ③岡山県社会福祉協議会法人後見連絡会への参加</p>								
会議・研修会参加状況	<p>①成年後見制度利用促進に係る市町村研修会（7月4日）          ②成年後見制度利用促進に係る意思決定支援研修会（8月1日）          ③美勝英権利擁護センターフォーラム（10月28日）          ④岡山県社協主催 権利擁護フォーラム（12月18日）          ⑤K-ねっとセミナー 福祉関係者のための任意後見等の基礎知識（2月26日）          ⑥権利擁護支援シンポジウム 市民後見人の育成・活躍支援（3月8日リーガルサポート）          ⑦岡山県社協主催「法人後見連絡会」</p>								

<p>成年後見制度 広報活動</p>	<p>地区社協関係者や市民、関係団体等を対象に、制度活用に関する広報・啓発活動を実施 (平成28年からの延べ実績：50団体1,067人)</p>		
<p>市民後見人等 養成講座開催</p>	<p>美作市・勝央町・奈義町・西粟倉村の住民を対象に、判断能力が不十分な人の権利と財産を保護する成年後見制度の担い手として、地域住民の視点で支援を行う市民後見人等の養成を目的とする「市民後見人等養成講座」を開催しました。本年度は2名が研修を修了し、法人後見支援員等として活躍していただきます。(H28からの延修了者数：37名)</p>		
	<p>事業 説明会</p>	<p>1回目</p>	<p>期 日：令和5年9月13日(水) 会 場：世代交流多目的ホール 参加者：2名</p>
	<p>2回目</p>	<p>期 日：令和5年9月22日(金) 会 場：世代交流多目的ホール 参加者：2名</p>	
	<p>講 座 内 容</p>	<p>1. 岡山県主催市民後見人養成研修 日 程：令和5年10月14日～12月3日(7日間) 会 場：津山総合福祉会館 2. 美作市等が実施する研修 日 程：令和5年12月5日(火)12月22日(金) 内 容：1) 奈義町の高齢者・障害者サービスに関する講座 2) 障害支援施設あすなろ園、特別養護老人ホームなぎみ苑視察 3) 日常生活自立支援事業生活支援員との同行訪問</p>	
<p>試 験 面 接</p>	<p>市民後見人バンク登録の意思確認面接(面接者：3名) 期 日：令和6年1月26日(金) 会 場：世代交流多目的ホール 面接官：大山弁護士、奈義町こども・長寿課課長、社協事務局長 合格者：3名</p>		
<p>市民後見人等 育 成 事 業</p>	<p>判断能力が不十分な人の権利と財産を保護する「成年後見制度」の担い手である市民後見人等が、安心して活動できる環境を整えるため、弁護士等専門職を講師に迎え、市民後見人活動に必要な知識の講義、グループワーク、情報交換会を行いました。 対象者：美作市・勝央町・奈義町・西粟倉村に登録している市民後見人</p>		
	<p>第1回</p>	<p>日 時：令和5年7月19日(水) 13時30分～15時30分 会 場：世代交流多目的ホール 参加者：市民後見人9人、関係専門職等5人、担当職員3人 講 義：年金について 講師 津山年金事務所 お客様相談室 古谷今日子氏</p>	
	<p>第2回</p>	<p>期 日：令和5年9月21日(木) 会 場：世代交流多目的ホール 参加者：市民後見人9人、関係専門職等4人、担当職員2人 講 義：献体について 講師 川崎医科大学解剖学 教授 樋田一徳氏</p>	
	<p>第3回</p>	<p>期 日：令和5年11月22日(水) 会 場：総合福祉会館 参加者：市民後見人10人、関係専門職等1人、担当職員2人 市民後見人交流会(美作市・奈義町・鏡野町・美咲町・津山市) 講 義：意思決定支援について 講師 社会福祉士 真木佐江子氏</p>	
	<p>第4回</p>	<p>期 日：令和6年1月16日(火) 会 場：世代交流多目的ホール内 参加者：市民後見人10人、関係専門職等1人、担当職員3人 講 義：相続・相続放棄について 講師 弁護士法人ゆずりは 大山知康氏</p>	

# 生活福祉資金貸付事業

事業概要	<p>生活福祉資金貸付制度は、低所得者世帯、障害者世帯、高齢者世帯等に対し、資金の貸し付けと必要な援助指導を行うことにより、その世帯の自立更正等を図ることを目的としています。</p> <p>市町村社協は、貸付と償還の事務委託を受けて、窓口指導等を担っています。</p> <p>令和5年度の新規貸付けは、ありませんでした。</p> <p>また、令和2年3月25日から、新型コロナウイルス感染症の影響による休業等により、収入の減少があった世帯の資金需要に対応するため、生活福祉資金緊急小口資金（特例貸付）の貸付手続きを行いました。（次ページに詳細を掲載）</p> <p>【資金種類】 総合支援資金・更正・福祉・住宅・教育支援・療養介護・災害援護・離職者支援・長期生活支援・緊急小口資金・緊急小口資金（特例貸付）</p>								
協働の対象	民生委員児童委員								
貸付件数推移	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
	46件	40件	35件	35件	39件	39件	39件	39件	35件
令和5年度未継続貸付件数			勝田地域	大原地域	東栗倉地域	美作地域	作東地域	英田地域	合計
	総合支援資金		1件	—	—	—	—	—	1件
	更生資金		1件	2件	—	1件	3件	—	7件
	生活資金		—	—	—	—	—	—	—
	福祉資金		—	—	—	1件	2件	2件	5件
	住宅資金		2件	6件	—	1件	2件	—	11件
	教育支援資金		—	—	—	—	2件	3件	5件
	離職者支援資金		—	—	—	1件	—	—	1件
	緊急小口資金		—	1件	1件	3件	—	—	5件
	合計		4件	9件	1件	7件	9件	5件	35件
令和5年度地域別相談件数（特例貸付含）			勝田地域	大原地域	東栗倉地域	美作地域	作東地域	英田地域	合計
	延べ相談件数		2件	—	—	29件	2件	—	33件
令和5年度新規貸付状況内訳			勝田地域	大原地域	東栗倉地域	美作地域	作東地域	英田地域	合計
緊急小口資金	貸付件数		—	—	—	—	—	—	—
	貸付額		—	—	—	—	—	—	—
教育支援資金（就学支度金）	貸付件数		—	—	—	—	—	—	—
	貸付額		—	—	—	—	—	—	—
福祉資金（福祉費）	貸付件数		—	—	—	—	—	—	—
	貸付額		—	—	—	—	—	—	—
合計	貸付件数		—	—	—	—	—	—	—
	貸付額		—	—	—	—	—	—	—

## 生活福祉資金特例貸付事業

事業概要	<p>令和2年3月から令和4年9月までの期間、新型コロナウイルス感染症の影響により、収入減少があった世帯の資金需要に対応するため、生活福祉資金貸付制度の緊急小口資金及び総合支援資金(生活支援費)について、特例措置が設けられました。</p> <p>2年半に渡った美作市における特例貸付は、貸付件数477件、貸付世帯延べ281世帯、貸付総額：185,260,000円となりました。</p> <p>コロナ禍からの経済・社会活動が回復傾向である一方、未だその影響から抜け出す事が出来ない世帯や、急激な物価高騰の影響を受けている世帯も多くあります。</p> <p>令和5年度から、特例貸付を受けた世帯に対して生活再建に向けた支援を行う「市町村社協相談体制強化推進事業」を岡山県社会福祉協議会から受託し、市町村社協は借受世帯のその後の生活状況を確認し、支援が必要な世帯に適切な相談・助言を行っています。</p>			
	<p>①緊急小口資金 緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった世帯に上限20万円を貸付</p> <p>②総合支援資金 生活再建までの間に必要な生活費用として上限月20万円を3か月以内貸付</p>			
	美作市の生活福祉資金 特例貸付事業貸付状況 令和2年3月～令和4年9月	緊急小口資金	35,650,000円	(182件)
		総合支援資金	85,670,000円	(171件)
		総合支援資金延長貸付	30,800,000円	(60件)
総合支援資金再貸付		33,140,000円	(64件)	
	合計	185,260,000円	(477件)	

## 相談支援体制強化推進事業

事業概要	<p>相談支援体制強化推進事業は、岡山県社会福祉協議会の受託事業で、新型コロナウイルス特例貸付の借受人(世帯)に対し、市町村社会福祉協議会の生活再建相談員が生活再建に向け、きめ細やかな相談支援等を行う事業です。</p> <p>令和5年度は、7月から12月まで、借受世帯全227世帯に対して、訪問、面談、通知の郵送、電話で現在の生活状況の把握を行いました。</p> <p>美作市社協では、生活福祉資金特例貸付事業が開始された当初から、丁寧な聞き取りと早期に継続的な支援を行っていた事もあり、本事業を通じて改めて調査をした結果、生活再建世帯(68件)、支援に繋がっている世帯(63件)が全体の57%あり、支援が必要な世帯には早い段階から関係機関が関わっていることが確認できました。</p> <p>しかし、貸付世帯の多くは、世帯構成員の心身状態や生活状況の変化等により、再び生活困窮状態に陥る可能性があり、今後も長期的な状況把握と伴走支援を行う必要があります。令和6年度も引き続き、借受世帯の生活状況を把握し、必要に応じて支援を行ってまいります。</p> <p>また、来年度より、岡山県社会福祉協議会と借受人の状況や支援内容の情報を共有し、協働で借受世帯へのサポートが行えるよう、クラウドサービスの本格運用を行います。</p>		
	事業実施状況	借受人(世帯)への生活状況の把握	実施期間
聞き取り方法			訪問・面談・郵送・電話
実施世帯数			227世帯
借受人(227世帯)の生活実態内訳			
<p>気になる世帯：21      支援が必要な世帯：1      支援中の世帯：63</p> <p>生活再建世帯：68      転出世帯：23      支援終了世帯(死亡)：4</p> <p>所在不明世帯：2      対応苦慮世帯：1      確認中：33      その他：11</p>			

# 障害者総合支援事業・地域生活支援事業

<p>事業概要</p>	<p>障害者総合支援法により、大原、作東の2事業所で、障がい児・者が障害の種類に関係なく共通の福祉サービスを受けられるよう、居宅介護（訪問介護）事業と地域生活支援事業（市受託事業）に取り組んでいます。令和2年3月31日をもって作東事業所を廃止し、令和2年度からは大原事業所よりサービスを提供しています。</p>																											
<p>実施事業</p>	<p>事業所名</p> <p>大原居宅介護事業所</p>	<p>サービス区分</p> <p>居宅介護（訪問介護：生活援助・身体介護）、地域生活支援事業</p>																										
<p>サービス内容</p>	<p>サービス区分</p>	<p>サービス内容</p>																										
	<p>居宅介護事業（訪問介護）</p>	<p>利用者の自宅にヘルパーが訪問し、入浴や排泄等の介護（身体介護）や食事などの介助（生活援助）を行います。</p>																										
	<p>地域生活支援事業</p>	<p>美作市の受託事業である地域生活支援事業を行っています。障がい児・者の自立した在宅生活を支援するための市町村独自事業で、移動支援・生活サポート・訪問入浴の3事業があり、主に屋外での移動が困難な方に対して外出のための援助をヘルパーが行う移動支援事業を行いました。</p>																										
<p>利用実人数推移 （単位：人）</p>		<p>平成30年</p>	<p>令和元年</p>	<p>令和2年</p>	<p>令和3年</p>	<p>令和4年</p>	<p>令和5年</p>																					
	<p>居宅介護事業</p>	<p>11</p>	<p>9</p>	<p>19</p>	<p>19</p>	<p>21</p>	<p>23</p>																					
	<p>地域生活支援事業</p>	<p>3</p>	<p>3</p>	<p>1</p>	<p>2</p>	<p>0</p>	<p>2</p>																					
<p>訪問時間推移 （単位：時間）</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業区分</th> <th>平成30年</th> <th>令和元年</th> <th>令和2年</th> <th>令和3年</th> <th>令和4年</th> <th>令和5年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>居宅介護事業</td> <td>1,252</td> <td>1,368</td> <td>2,262</td> <td>2,584</td> <td>3,032</td> <td>2,885</td> </tr> <tr> <td>地域生活支援事業</td> <td>160</td> <td>63</td> <td>55</td> <td>10</td> <td>0</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table>							事業区分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	居宅介護事業	1,252	1,368	2,262	2,584	3,032	2,885	地域生活支援事業	160	63	55	10	0	19
事業区分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年																						
居宅介護事業	1,252	1,368	2,262	2,584	3,032	2,885																						
地域生活支援事業	160	63	55	10	0	19																						
<p>事業収入推移 （単位：千円）</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業区分</th> <th>平成30年</th> <th>令和元年</th> <th>令和2年</th> <th>令和3年</th> <th>令和4年</th> <th>令和5年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>居宅介護事業</td> <td>6,245</td> <td>6,209</td> <td>9,385</td> <td>10,980</td> <td>11,941</td> <td>12,085</td> </tr> <tr> <td>地域生活支援事業</td> <td>276</td> <td>104</td> <td>94</td> <td>17</td> <td>0</td> <td>31</td> </tr> </tbody> </table>							事業区分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	居宅介護事業	6,245	6,209	9,385	10,980	11,941	12,085	地域生活支援事業	276	104	94	17	0	31
事業区分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年																						
居宅介護事業	6,245	6,209	9,385	10,980	11,941	12,085																						
地域生活支援事業	276	104	94	17	0	31																						
		<p>平成30年</p>	<p>令和元年</p>	<p>令和2年</p>	<p>令和3年</p>	<p>令和4年</p>	<p>令和5年</p>																					
	<p>居宅介護事業</p>	<p>6,245</p>	<p>6,209</p>	<p>9,385</p>	<p>10,980</p>	<p>11,941</p>	<p>12,085</p>																					
	<p>地域生活支援事業</p>	<p>276</p>	<p>104</p>	<p>94</p>	<p>17</p>	<p>0</p>	<p>31</p>																					

事業内容	大原指定訪問介護事業所で併せて介護予防訪問介護事業も実施しています。 なお、作東事業所は令和2年3月31日をもって事業所を廃止し、令和2年度からは大原事業所よりサービスを提供しています。							
事業所概要	事業所名			営業日		サービス内容		
	大原指定訪問介護事業所			月～日曜日		身体介護、生活援助		
利用実人数推		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
	大原	47人	45人	45人	74人	78人	72人	69人
	作東	46人	39人	32人				
訪問時間実績 (単位：時間)								
		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	前年対比
	大原	7,278	5,770	8,496	9,283	9,241	8,519	92.2%
	作東	4,228	3,611					
	合計	11,506	9,381	8,496	9,283	9,241	8,519	92.2%
事業収入実績 (単位：千円)								
		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	前年対比
	大原	22,163	20,495	31,669	33,475	33,979	30,484	89.7%
	作東	14,623	12,752					
	合計	36,786	33,247	31,669	33,475	33,979	30,484	89.7%